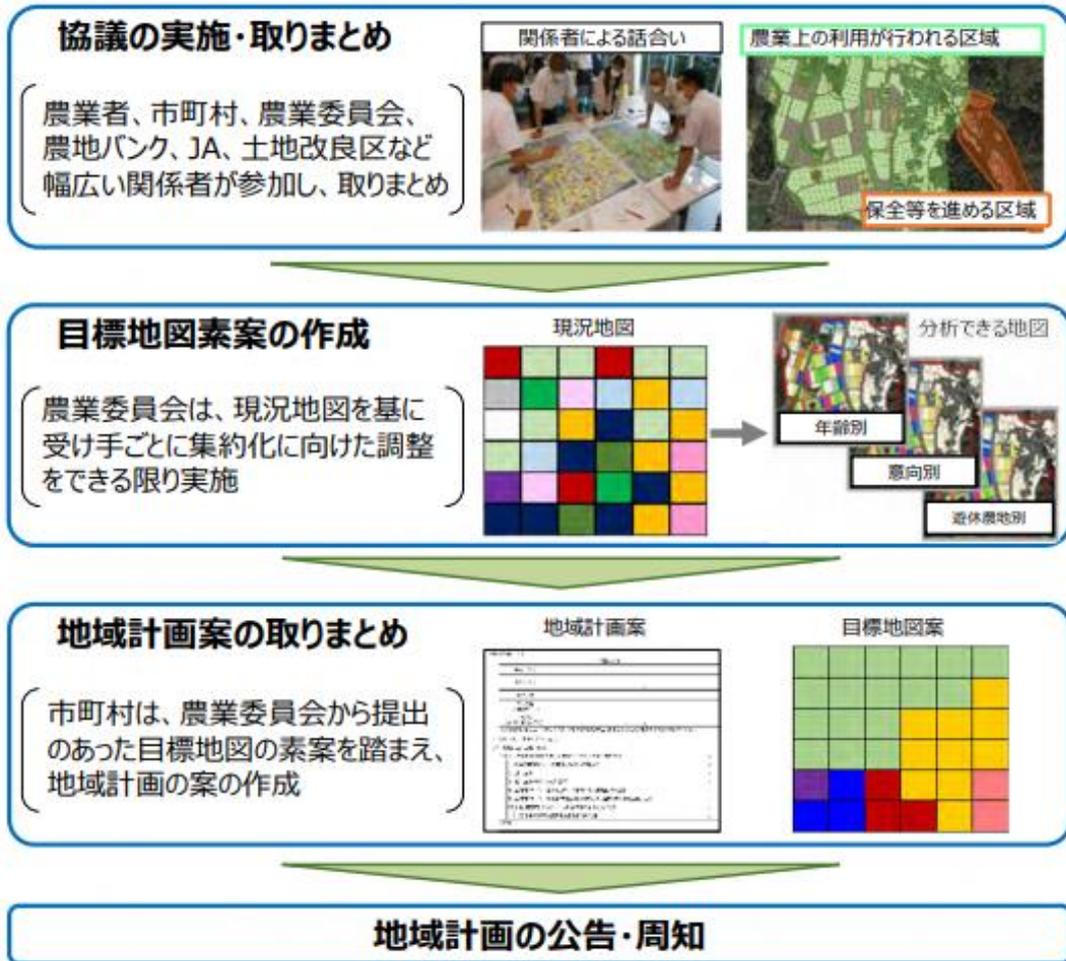


2020 年農林業センサス紫波町農業集落別データブック

～2020 年農林業センサスの農業集落別集計結果をグラフ化したデータブック～



令和 6 年 6 月

紫波町産業部産業政策監

目 次

本報告書のねらい.....	- 1 -
1 農林業センサス農業集落別集計データ項目と分析項目.....	- 2 -
(1) 農林業センサス農業集落別集計データ項目.....	- 2 -
(2) 本報告書で分析している集計データ項目.....	- 3 -
2 集落別農業経営体数.....	- 4 -
3 集落別販売状況別農家数.....	- 7 -
4 集落別法人経営体数.....	- 10 -
5 集落別主副業別農家数.....	- 12 -
6 旧町村別農産物販売金額第1位部門別経営体数.....	- 15 -
7 旧町村別農産物販売金額規模別経営体数.....	- 19 -
8 集落別地目別経営耕地面積（団体経営体+個人経営体）.....	- 22 -
9 集落別個人経営体の経営耕地面積.....	- 25 -
10 集落別経営耕地面積規模別経営体数（団体経営体+個人経営体）.....	- 28 -
11 集落別経営耕地面積規模別経営面積（個人経営体+団体経営体）.....	- 31 -
12 集落別田の借入面積.....	- 34 -
13 集落別田の貸付面積.....	- 37 -
14 集落別耕地面積.....	- 40 -
15 集落別5年以内に引き継ぐ後継者を確保している経営体数.....	- 43 -
16 集落別年齢別基幹的農業従事者数（64歳以下、75歳以上）.....	- 46 -
17 集落別基幹的農業従事者平均年齢.....	- 49 -

※目次の項目と報告書の本文がリンクしているので、報告書の目次項目をクリックすると報告書の本文を見ることができます。

本報告書のねらい

農業経営基盤強化促進法等の改正法が令和5年4月1日から施行され、従来の「人・農地プラン」は地域計画として法制化され、市町村では、令和7年3月までに地域計画を策定し、公表することとなりました。

当町の人・農地プランは、旧町村単位で作成されているものと集落単位に策定されているものが混在しているため、地域での協議の場に集落単位の農業の現状を示す資料が必要になります。

表1 紫波町の人・農地プランの策定範囲とセンサス集落数

旧 町 村	人・農地プラン数	プラン作成範囲	センサス集落数
日詰地区	1	旧町村	4
古館地区	1	旧町村	5
水分地区	1	旧町村	8
志和地区	18	集落	19
赤石地区	1	旧町村	16
彦部地区	3	小学校学区	5
佐比内地区	1	旧町村	18
赤沢地区	1	旧町村	10
長岡地区	1	旧町村	9
合 計	28		94

このため、本報告書では、地域計画と目標地図を作成するうえで必要と考えられる経営体、営農類型、経営規模、土地、担い手に関する情報を2020年農林業センサスの農業集落別集計データを活用して集落ごとにグラフ化し、集落の農業の現状を視覚的に把握できるようにしたものです。

地域計画の作成と本報告書の関係は、次図「地域計画作成と本報告書の位置づけ」のとおりで、地域での協議の場では、地域農業の現状を分析した本報告書の内容と営農意向調査結果を提供し、地域での議論の材料にしていきたいと考えています。

また、今後の地域の農業をどうしていくかを検討する材料として、現在、紫波町で取り組んでいるリーディングプロジェクトの内容と成果についても情報提供していきます。

本報告書が地域計画を作成する議論の場で活用していただければ幸いです。

<本報告書を活用するうえでの留意事項>

- ① 農業集落別に集計すると農家戸数が少なくなり、秘匿の関係から欠測値となっている場合があるため、対象農家数が少ない集落のデータは信頼性が低くなるので注意すること。
- ② センサス集落区分ごとの集計となっているため、農業集落の境界が地名の区域と必ずしも一致していないことから地域の傾向としてとらえること。
- ③ 調査時点が2020年2月1日となっているため、この時点での団体経営体や個人経営体の特殊事情により統計数字が大きく変動する可能性があること。

地域計画作成と本報告書の位置づけ

地域計画作成のフレーム

地域計画

地域計画とは、市町村が、農業者等の協議の結果を踏まえ、農業の将来の在り方や農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標として農業を担う者ごとに利用する農用地等を表示した地図（以下「目標地図」といいます。）などを明確化し、公表したもの

1. 地域農業の将来のあり方
2. 農業の将来のあり方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標
3. 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置
4. 地域の農業を担う者一覧

目標地図

合理的な土地利用（担い手への集積、団地化）

将来の農業の在り方や、地域の農地の効率的かつ総合的な利用を図るために誰がどの農地を利用していくのかを一筆ごとに定めた地図

協議の場

リーディングプロジェクト

担い手確保対策、農地有効活用

今後の営農意向調査

拡大希望、現状維持、縮小希望経営体明確化
農地一筆ごとの利用意向明確化

地域農業の現状分析

<農林業センサス>

農業経営体数と農地の見通し
基幹的農業従事者の見通し
経営耕地面積規模別経営体数
主要品目の栽培状況

<認定農業者経営改善計画>

認定農業者の拡大目標面積

<集落営農実態調査>

経営状況、法人化意向

<集落営農実態調査>

経営状況、法人化意向

1 農林業センサス農業集落別集計データ項目と分析項目

(1) 農林業センサス農業集落別集計データ項目

集落別集計データとして農林水産省から公表されている項目は以下の 39 項目となっています。

- ①農林業経営体_調査客体
- ②農林業経営体_組織形態別経営体数
- ③農業経営体_組織形態別経営体数
- ④農業経営体_農産物販売金額規模別経営体数
- ⑤農業経営体_農産物販売金額 1 位の部門別経営体数
- ⑥農業経営体_農業経営組織別経営体数
- ⑦農業経営体_農業生産関連事業を行っている経営体の事業種類別経営体数
- ⑧農業経営体_経営耕地の状況
- ⑨農業経営体_経営耕地面積規模別経営体数
- ⑩農業経営体_経営耕地面積規模別面積
- ⑪農業経営体_借入耕地のある経営体数と借入耕地面積
- ⑫農業経営体_貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積
- ⑬農業経営体_世帯員、役員・構成員（経営主を含む）の状況
- ⑭農業経営体_常雇
- ⑮農業経営体_臨時雇
- ⑯農業経営体_販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付経営体数
- ⑰農業経営体_販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付面積
- ⑱農業経営体_家畜等を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭羽数
- ⑲農業経営体_農作業を受託した経営体の事業部門別経営体数
- ⑳農業経営体_水稲作受託作業種類別経営体数と受託作業面積
- ㉑農業経営体_有機農業に取り組んでいる経営体の取組品目別作付経営体数と作付面積
- ㉒農業経営体_青色申告を行っている経営体数
- ㉓農業経営体_データを活用した農業を行っている経営体数
- ㉔農業経営体_5 年以内の後継者の確保状況別経営体数
- ㉕個人経営体_主副業別経営体数
- ㉖個人経営体_年齢別の農業従事者数
- ㉗個人経営体_年齢別の基幹的農業従事者数
- ㉘個人経営体_平均年齢
- ㉙総農家等_総農家数等
- ㉚総農家等_経営耕地のある農家数と経営耕地面積(総農家、自給的農家)
- ㉛地域調査_DID までの所要時間
- ㉜地域調査_耕地面積
- ㉝地域調査_寄り合いの開催状況
- ㉞地域調査_行っている地域活動
- ㉟地域調査_都市住民、NPO・学校・企業と連携して活動
- ㊱地域調査_実行組合の有無
- ㊲地域調査_地域資源の保全
- ㊳地域調査_都市住民、NPO・学校・企業と連携して保全
- ㊴地域調査_法制上の地域指定

(2) 本報告書で分析している集計データ項目

本報告書では、農林水産省から公表されている 39 項目の集計データの中から地域計画の作成にあたって必要と考えられる経営体、営農類型、経営規模、土地、担い手に関する 16 項目の集計データを選定し、集落単位や旧町村単位にグラフ化しています。

表2 農林業センサス農業集落別集計データ項目と本報告書の分析項目

	分析区分	本報告書の分析項目	分析範囲	集落別集計項目番号
1	経営体	農業経営体数	集落単位	①.
2	経営体	販売農家と自給農家数	集落単位	⑳
3	経営体	法人経営体数	集落単位	③
4	経営体	主副業別経営体数	集落単位	㉕
5	営農類型	農産物販売金額 1 位部門別経営体数	集落単位	⑤
6	経営規模	農産物販売金額規模別経営体数	旧町村単位	④
7	土地	地目別経営耕地面積（団体経営体＋個人経営体）	集落単位	⑧
8	土地	個人経営体経営耕地面積	集落単位	㉓
9	土地	経営耕地面積規模別経営体数	旧町村単位	⑨
10	土地	経営耕地面積規模別経営面積	旧町村単位	⑩
11	土地	田の借入面積	集落単位	⑪
12	土地	田の貸付面積	集落単位	⑫
13	土地	耕地面積	集落単位	㉒
14	担い手	5 年以内に就農する後継者がいる経営体数	集落単位	㉔
15	担い手	年齢別基幹的農業従事者数（64 歳以下、75 歳以上）	集落単位	㉗
16	担い手	基幹的農業従事平均年齢（男女別）	集落単位	㉘

※集落別集計項目番号とは（1）の農林業センサス農業集落別集計データ項目の番号である。

本報告書では、分析区分順に報告書を作成しているため、農林水産省が公表している集計項目の順番とは異なっている

<本報告書を活用するうえでの留意事項>

- ① 農業集落別に集計すると農家戸数が少なくなり、秘匿の関係から欠測値となっている場合があるため、対象農家数が少ない集落のデータは信頼性が低くなるので注意すること。
- ② センサス集落区分ごとの集計となっているため、農業集落の境界が地名の区域と必ずしも一致していないことから地域の傾向としてとらえること。
- ③ 調査時点が 2020 年 2 月 1 日となっているため、この時点での団体経営体や個人経営体の特殊事情により統計数字が大きく変動する可能性があること。

2 集落別農業経営体数

○地域計画を作成するうえで必要となる集落ごとの対象農家数を示しています。

○集落ごとの経営体数は、最少の1経営体から最大の44経営体と大きな差があります。

図2-1 農業経営体数（日詰）

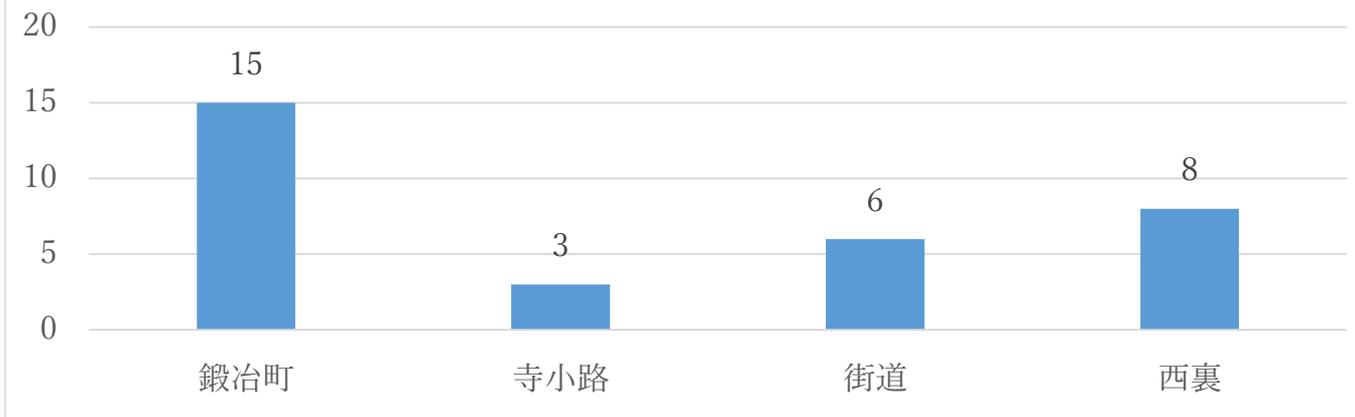


図2-2 農業経営体数（古館）

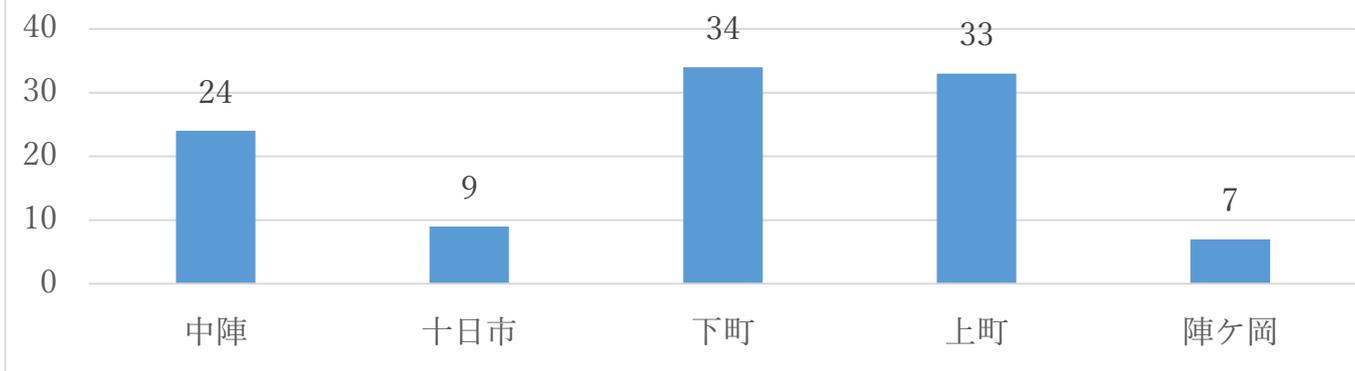


図2-3 農業経営体数（水分）

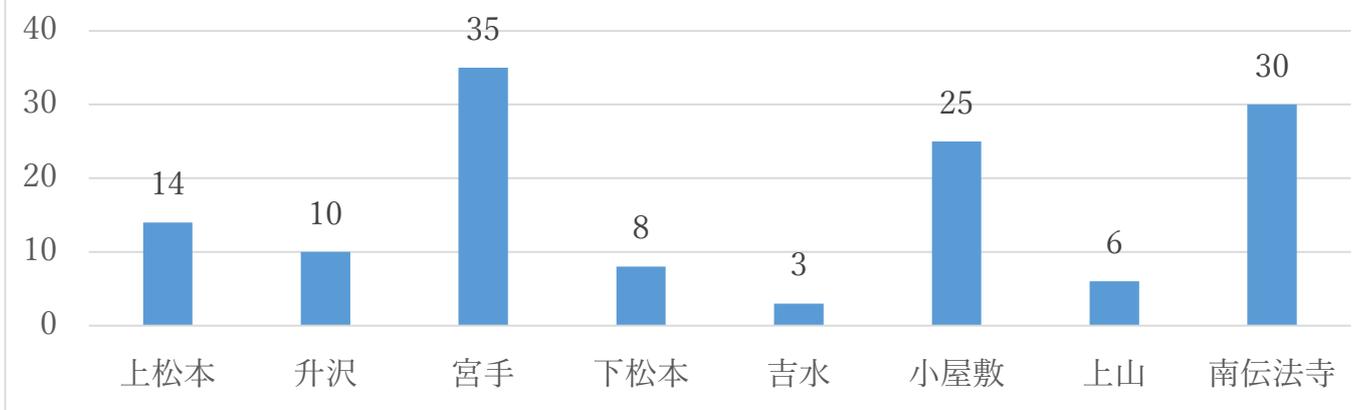


図2-4 農業経営体数（志和）

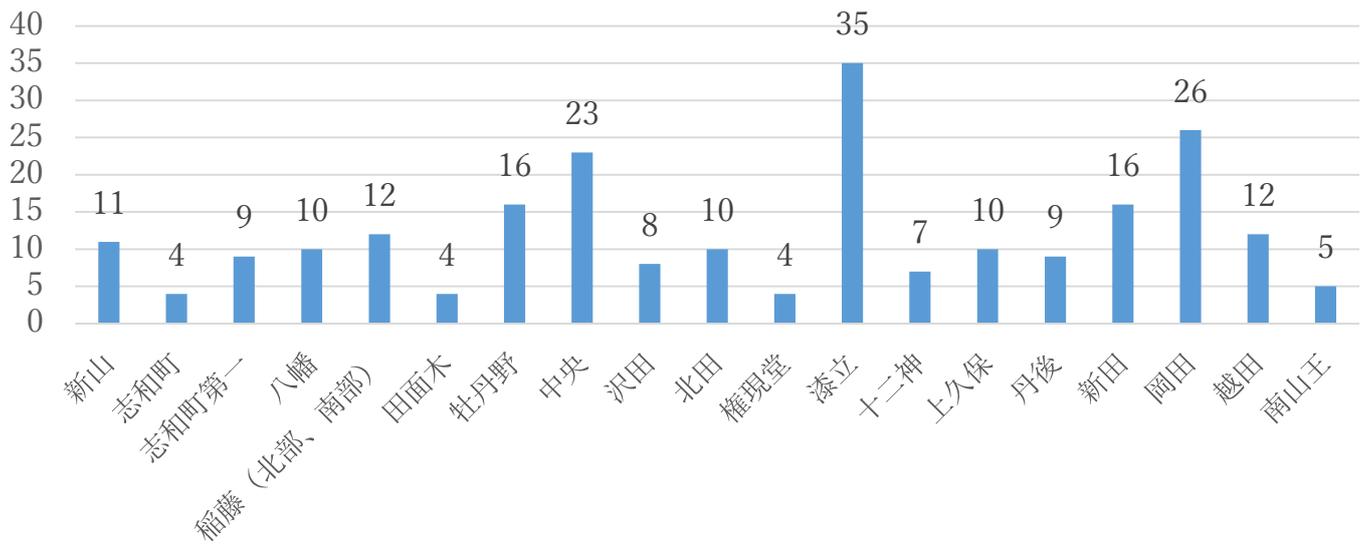


図2-5 農業経営体数（赤石）

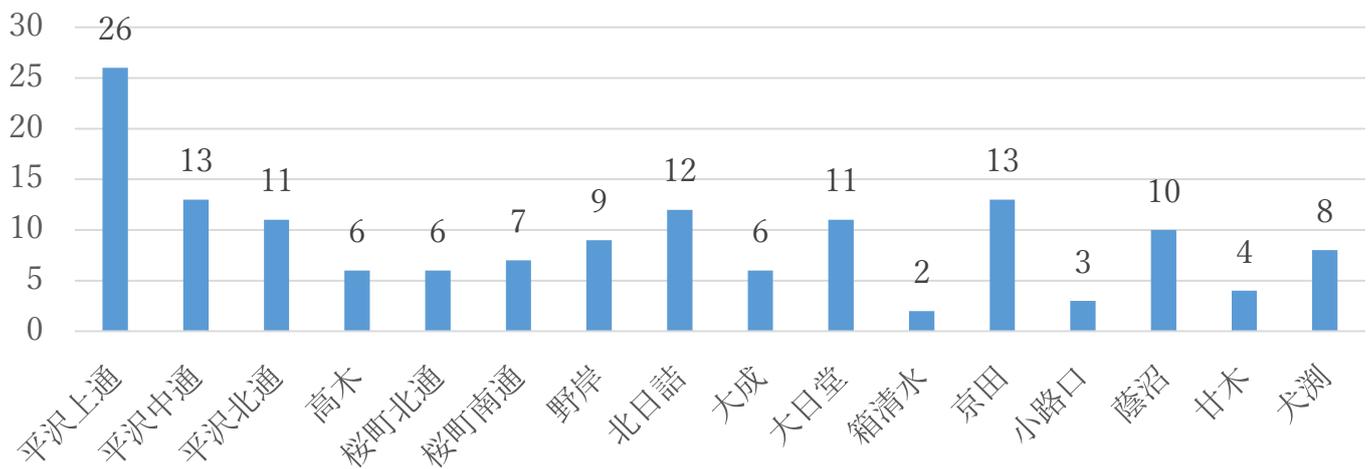


図2-6 農業経営体数（彦部）

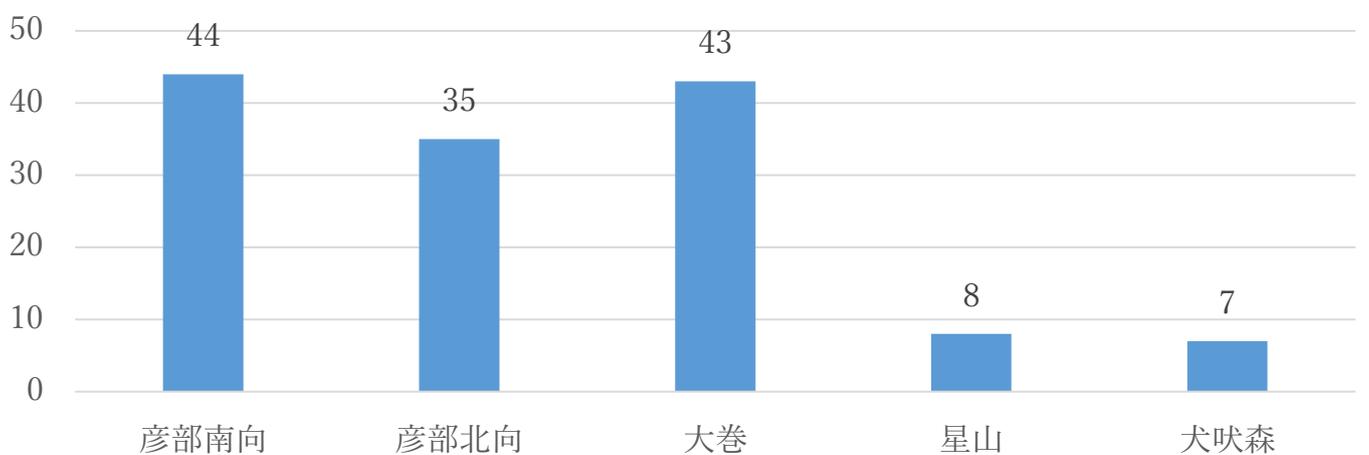


図2-7 農業経営体数（佐比内）

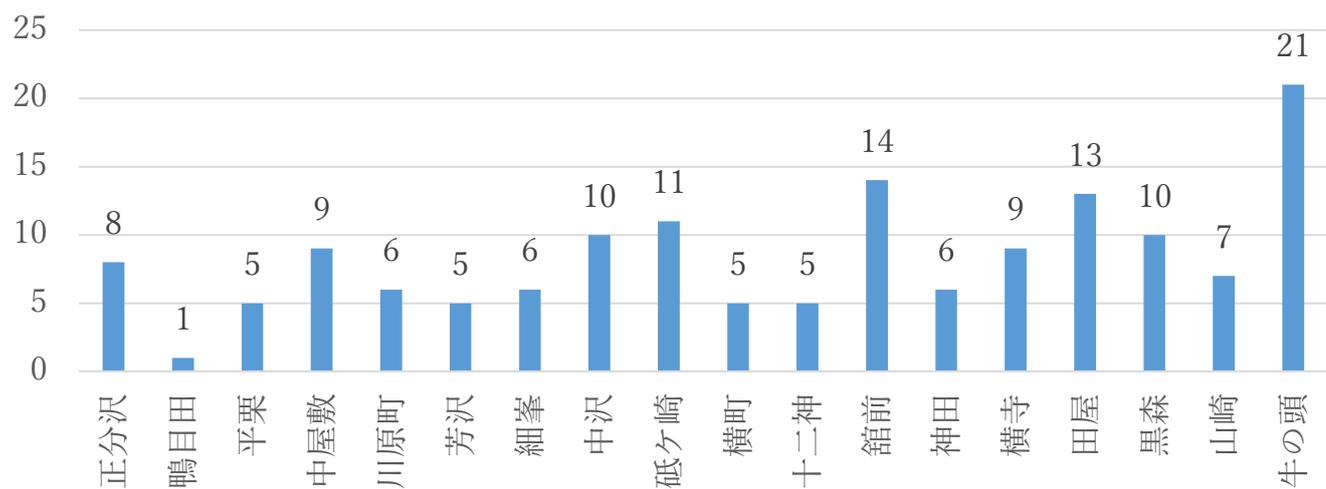


図2-8 農業経営体数（赤沢）

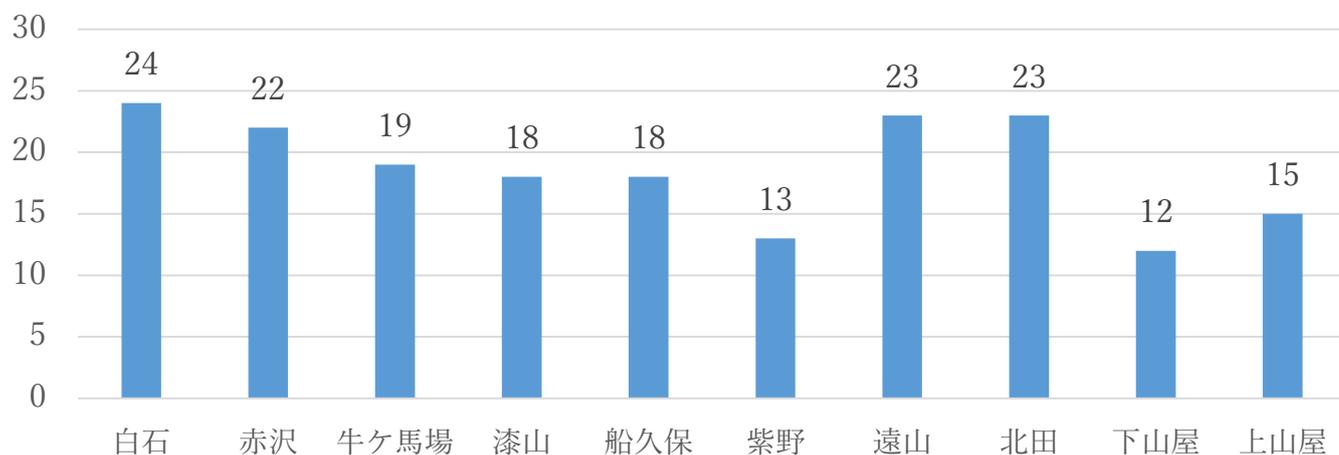
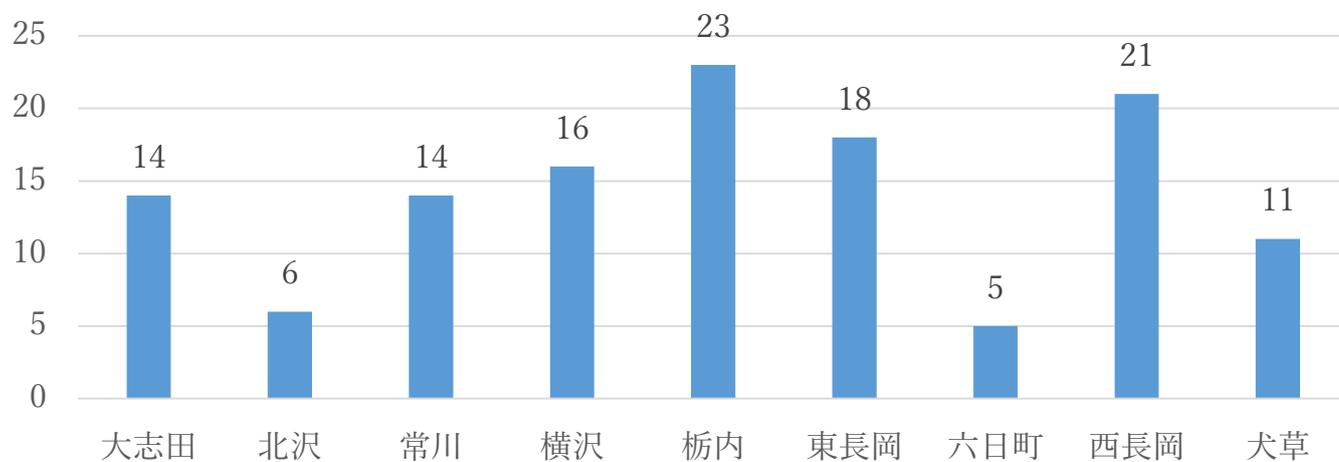


図2-9 農業経営体数（長岡）



3 集落別販売状況別農家数

○農産物を生産し販売している農家数と農産物の販売金額が少なく自給的な生産をしている自給的農家数を示しています。集落内の農家の販売状況が把握できます。

※販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家

自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家

図3-1 販売状況別農家数（日詰）

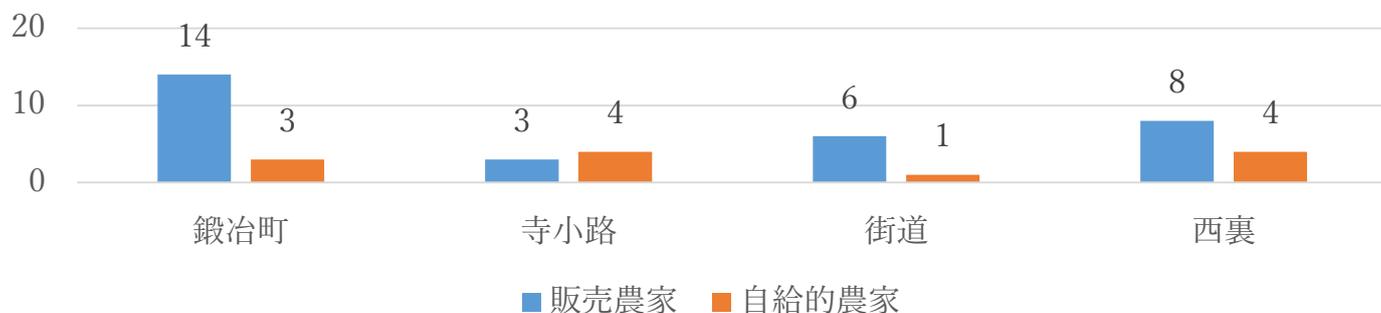


図3-2 販売状況別農家数（古館）

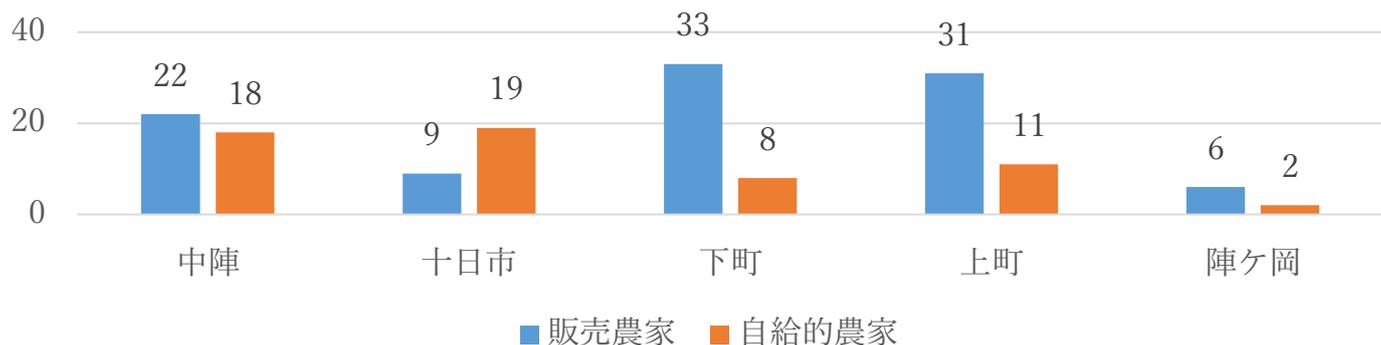


図3-3 販売状況別農家数（水分）

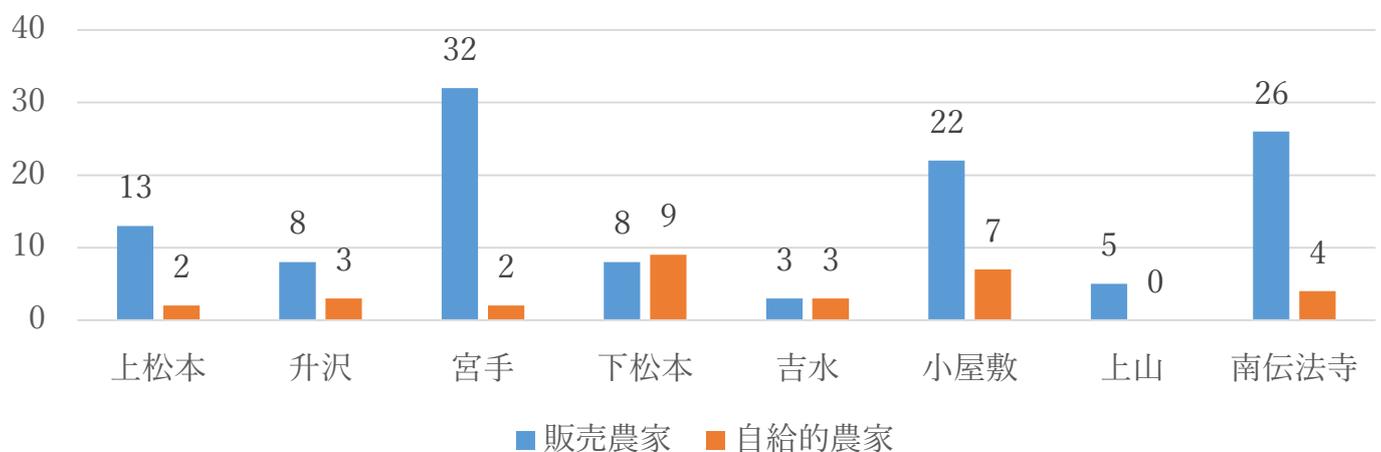


図3-4 販売状況別農家数（志和）

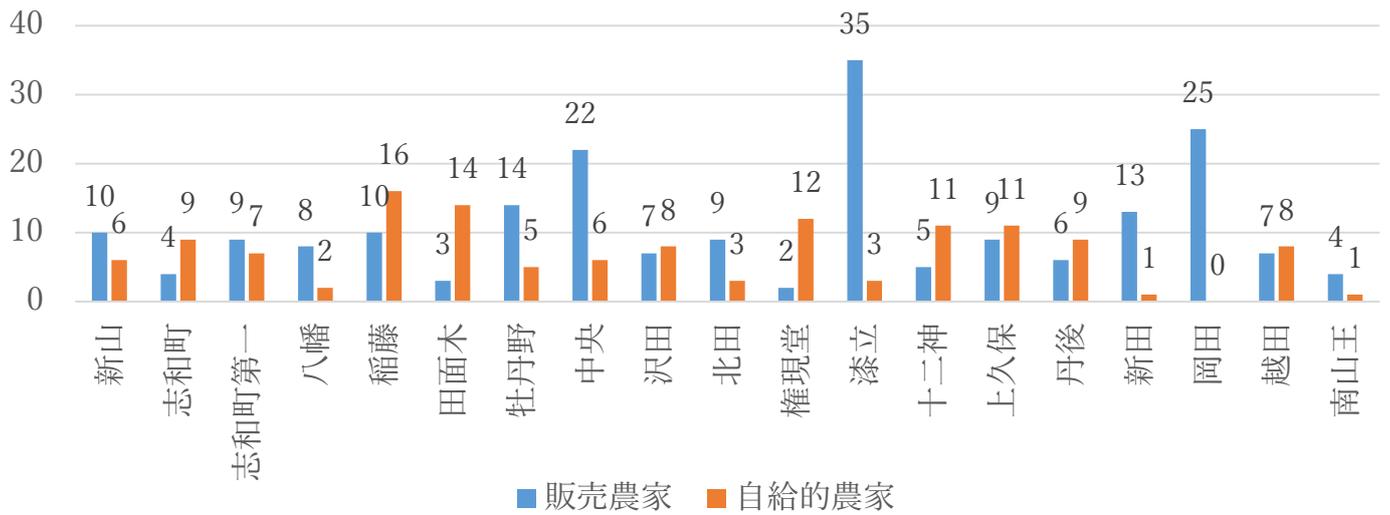


図3-5 販売状況別農家数（赤石）

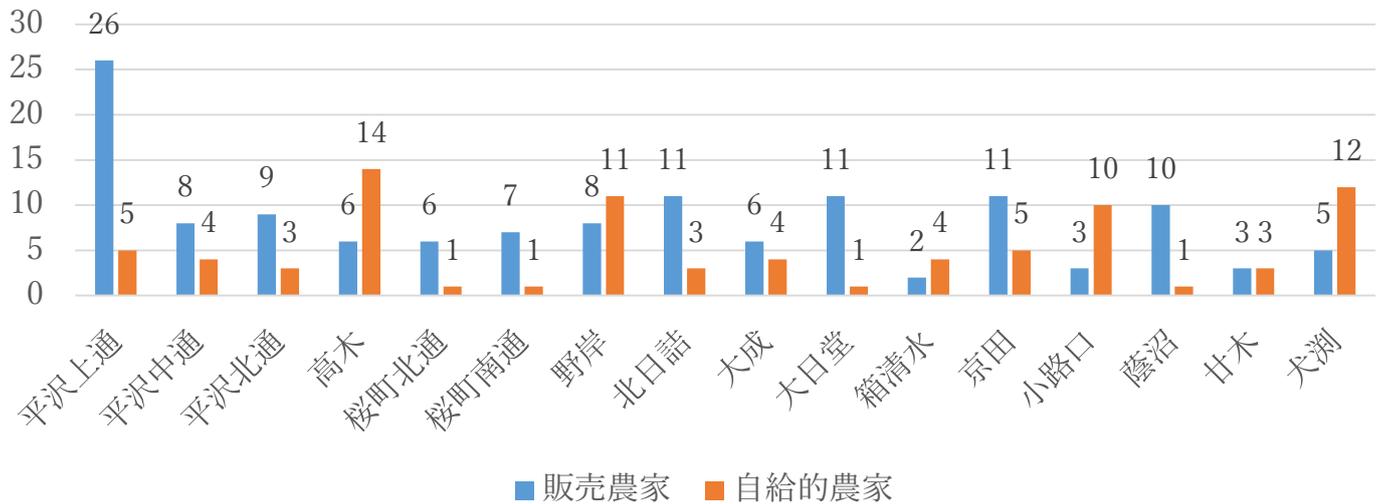


図3-6 販売状況別農家数（彦部）

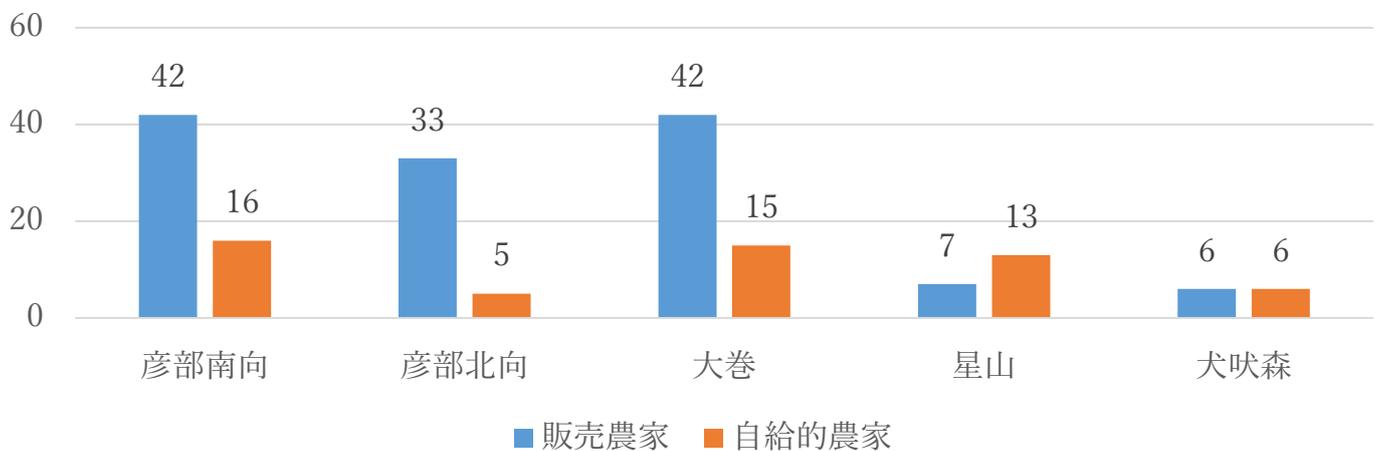


図3-7 販売状況別農家数（佐比内）

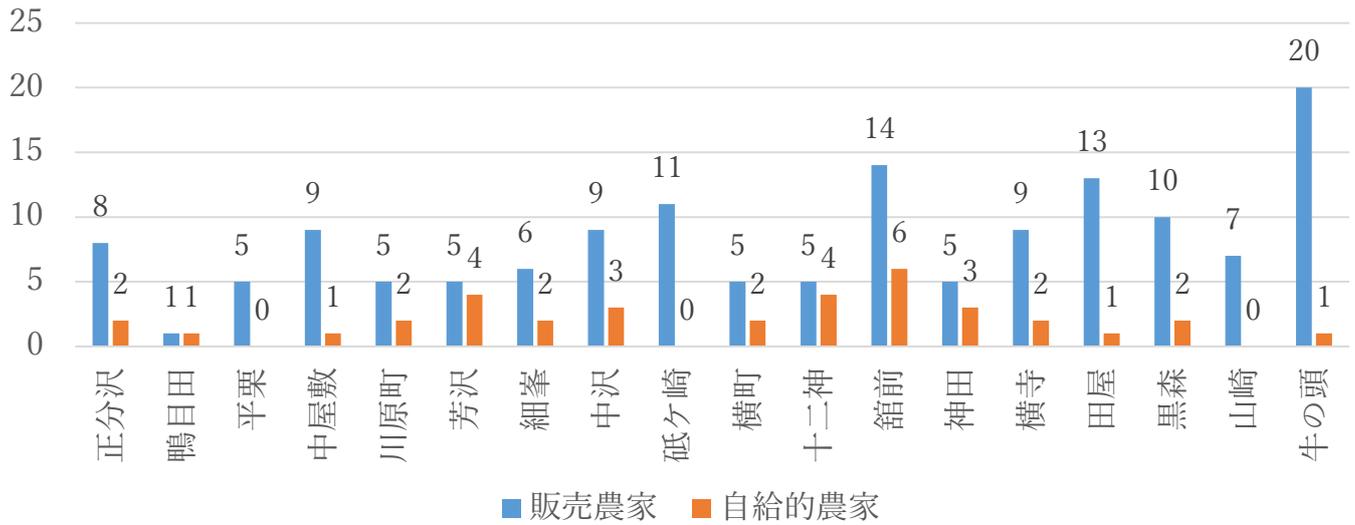


図3-8 販売状況別農家数（赤沢）

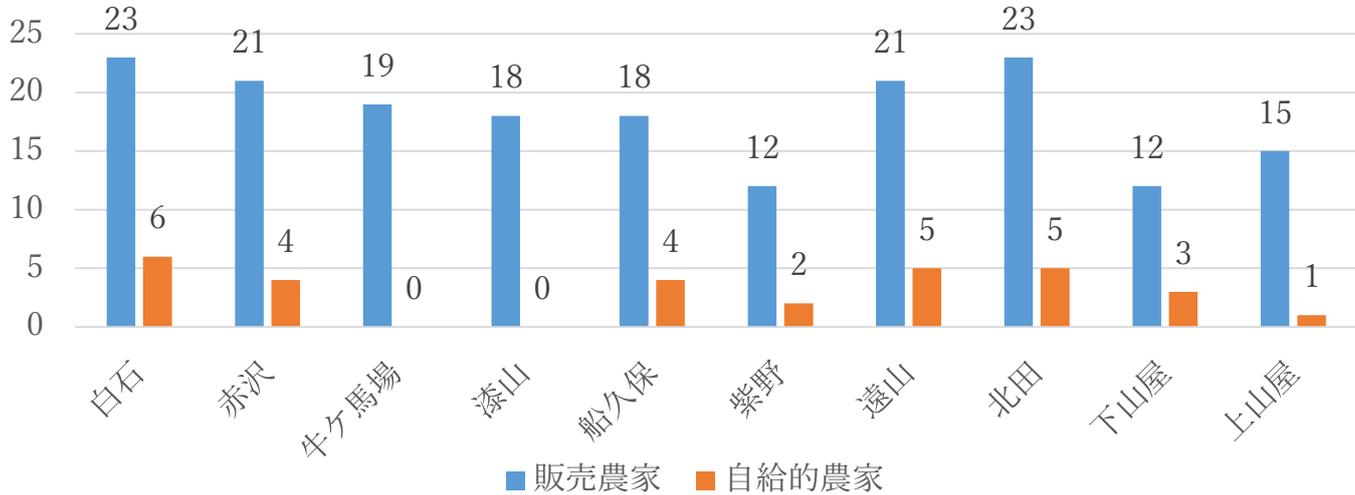
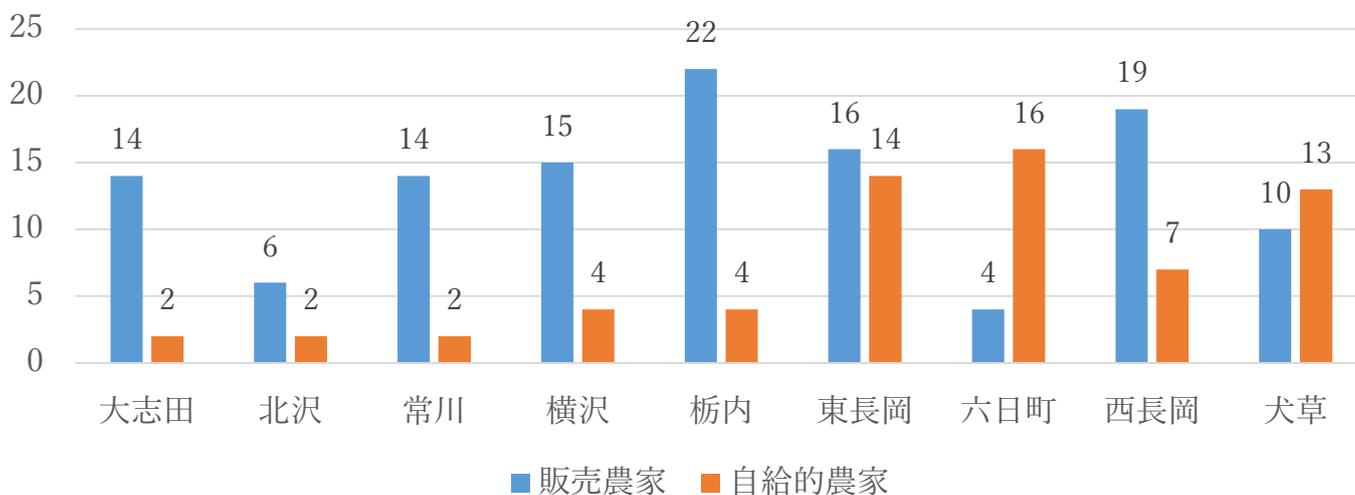


図3-9 販売状況別農家数（長岡）



4 集落別法人経営体数

- 集落別の法人経営体数を示しています。法人がどの集落に設立されているのかが把握できます。
- 紫波町の法人経営体は、農事組合法人 20 法人、株式会社 12 法人、一般社団法人 1 法人となっています。
- 水分地区 8 法人、長岡地区 7 法人、志和地区・赤石地区・彦部地区が 5 法人、佐比内地区・赤沢地区が 1 法人で日詰地区・古館地区には法人経営体はありません。

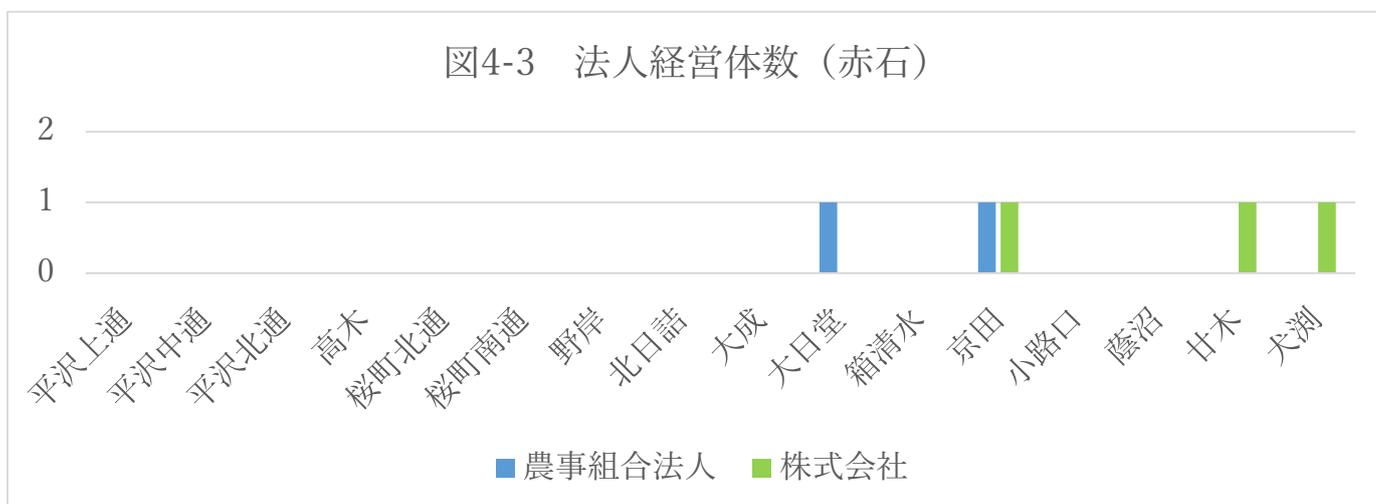
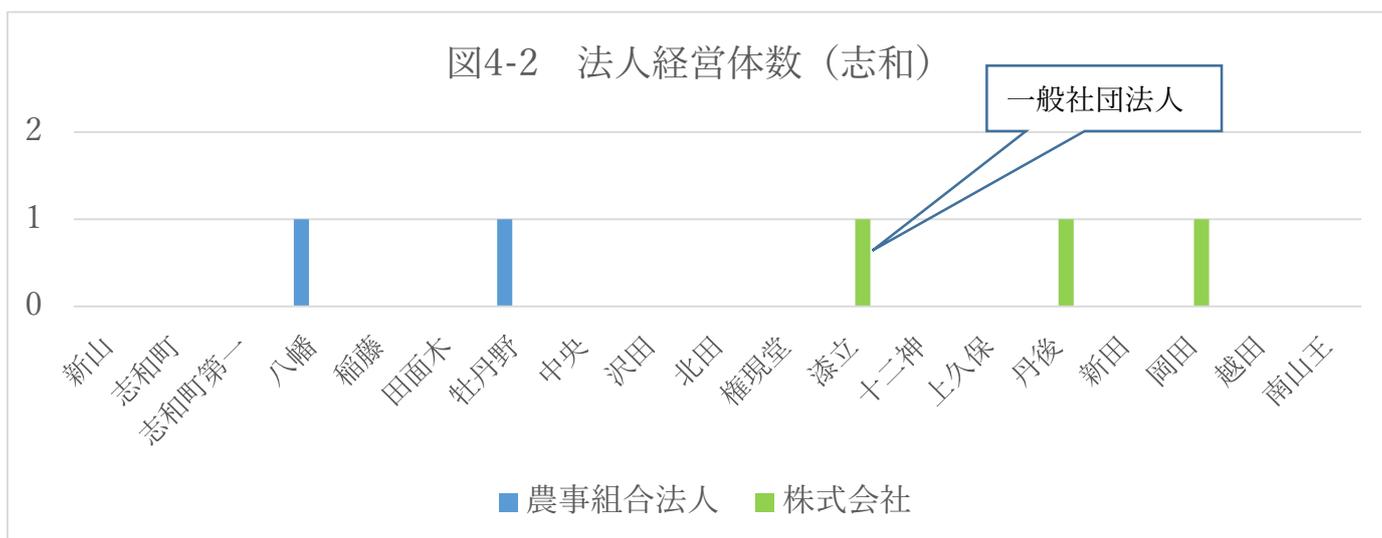
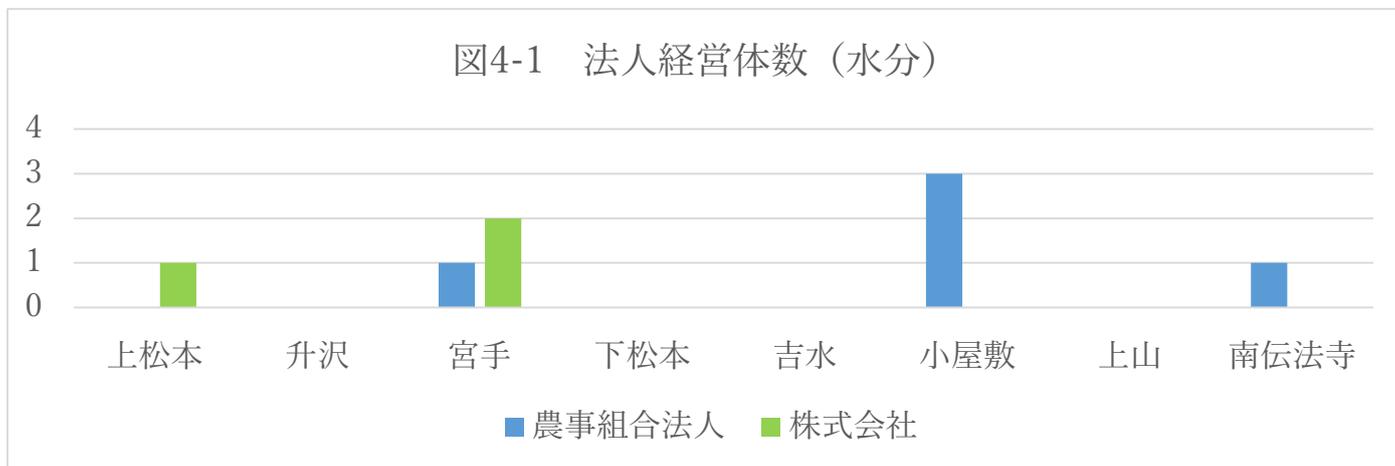


図4-4 法人経営体数（彦部）

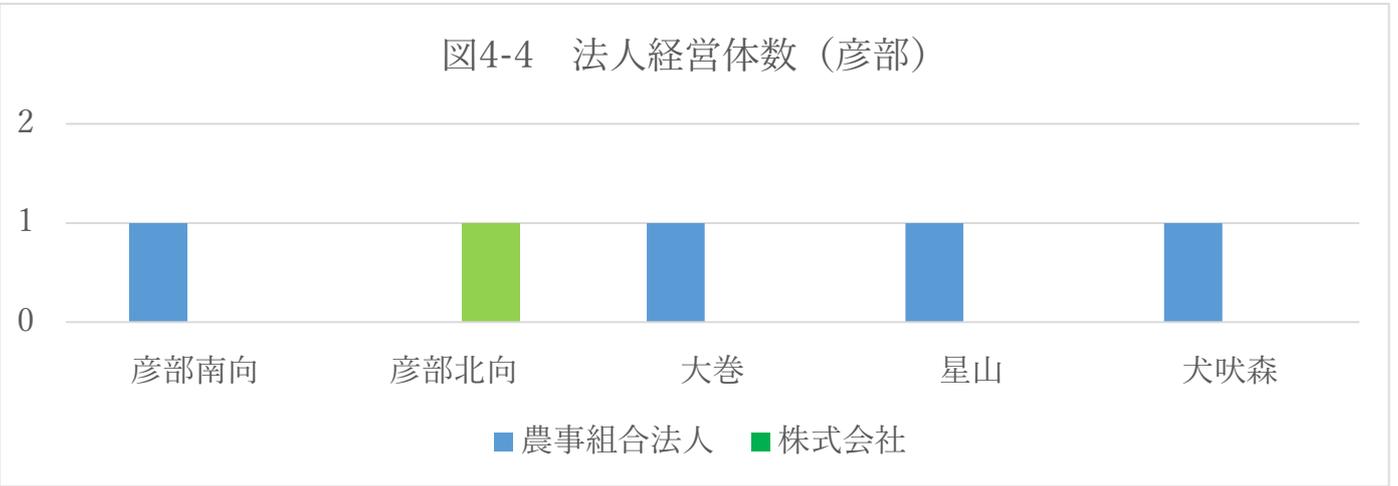


図4-5 法人経営体数（佐比内）

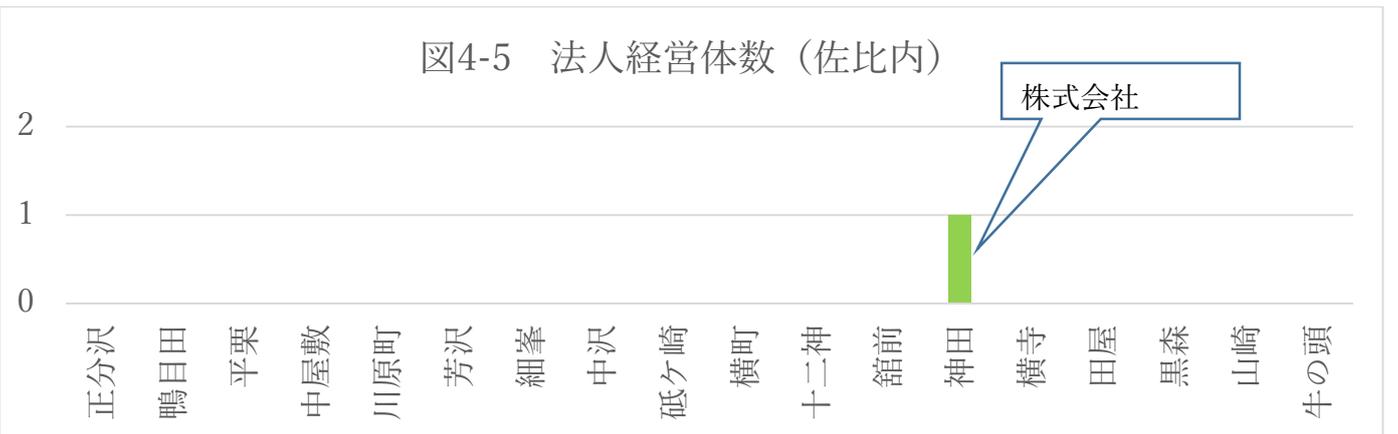


図4-6 法人経営体数（赤沢）

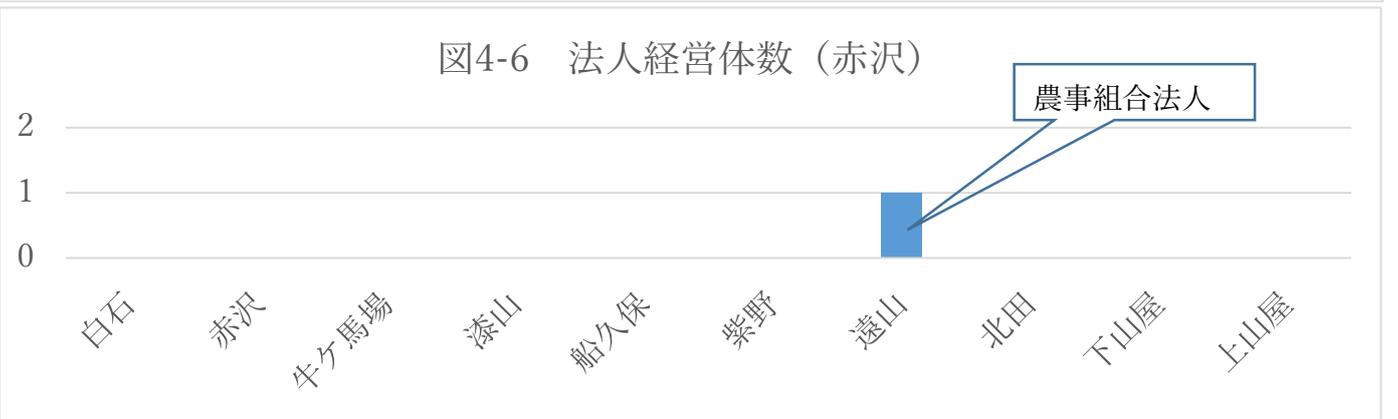
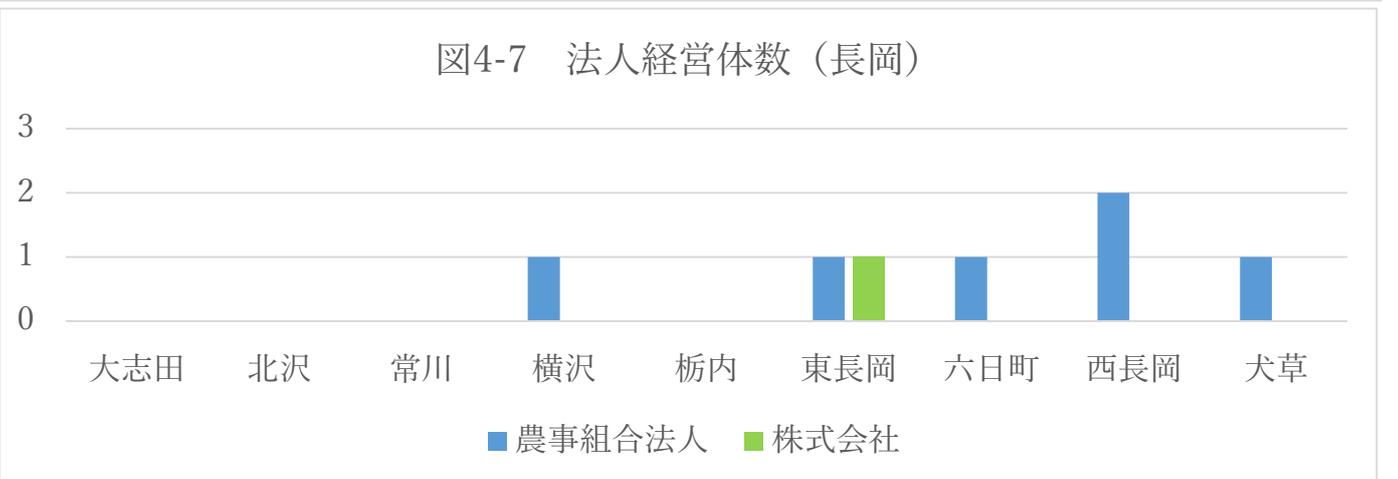


図4-7 法人経営体数（長岡）



5 集落別主副業別農家数

○概ね 10 年後の担い手農家数を想定するため、65 歳以下の農業専従者がいる主業農家と副業的農家数を示しています。(※)

○65 歳以下の農業専従者がいる主業農家は、今後とも地域の担い手として農地の借り手になる農家と考えられます。副業的農家は、兼業先の定年延長や高齢化等により農地の出し手になる可能性がある農家と考えられます。

※主業農家とは、農業所得が 50%以上で 65 歳未満の農業従事 60 日以上の者がいる農家

※副業的農家とは、1 年間に 60 日以上自営農業に従事している 65 歳未満の世帯員がいない農家

図5-1 主副業別農家数（日詰）

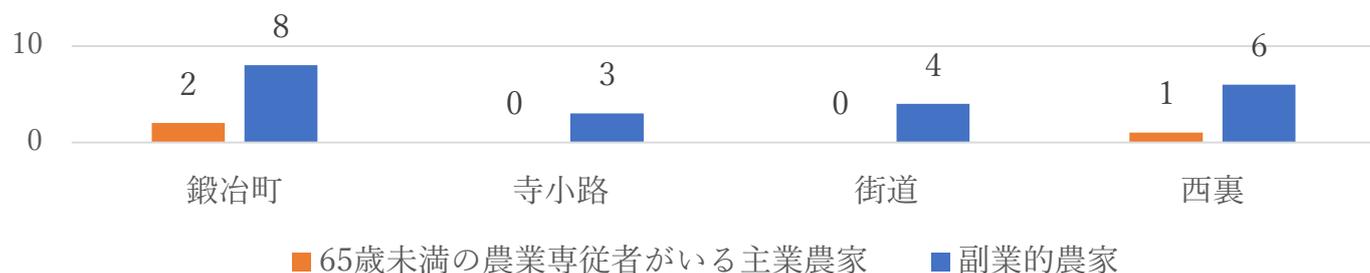


図5-2 主副業別農家数（古館）



図5-3 主副業別農家数（水分）

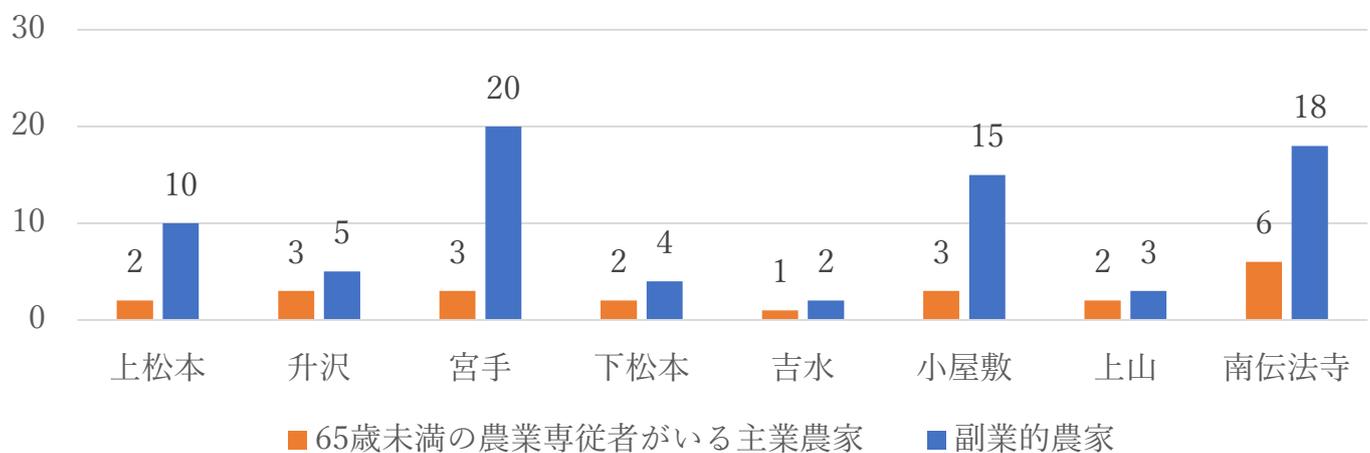


図5-4 主副業別農家数（志和）

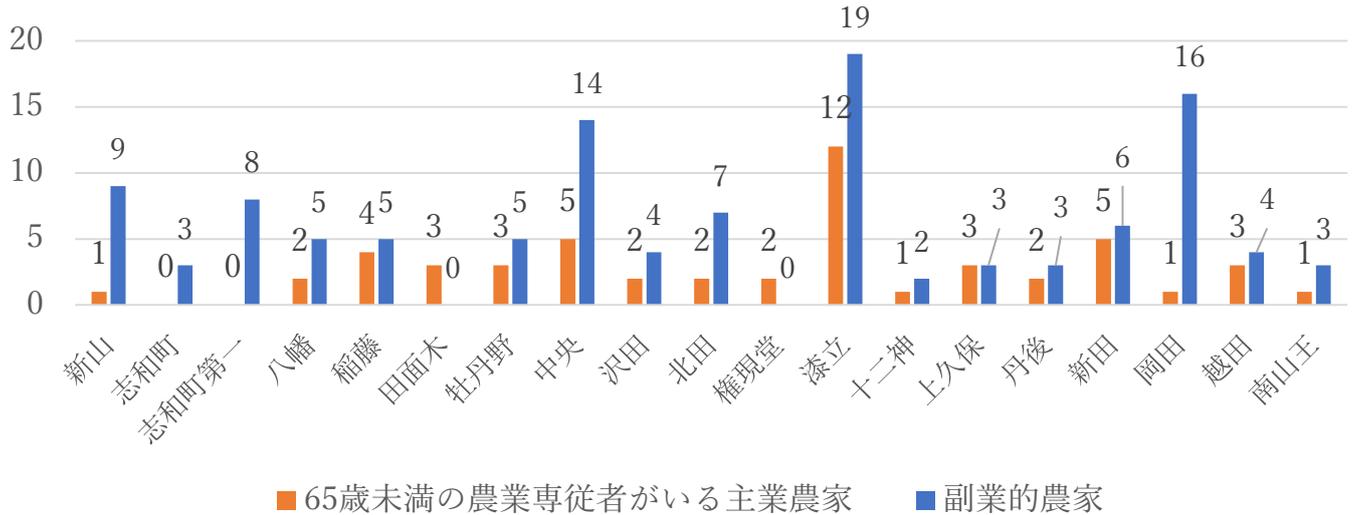


図5-5 主副業別農家数（赤石）

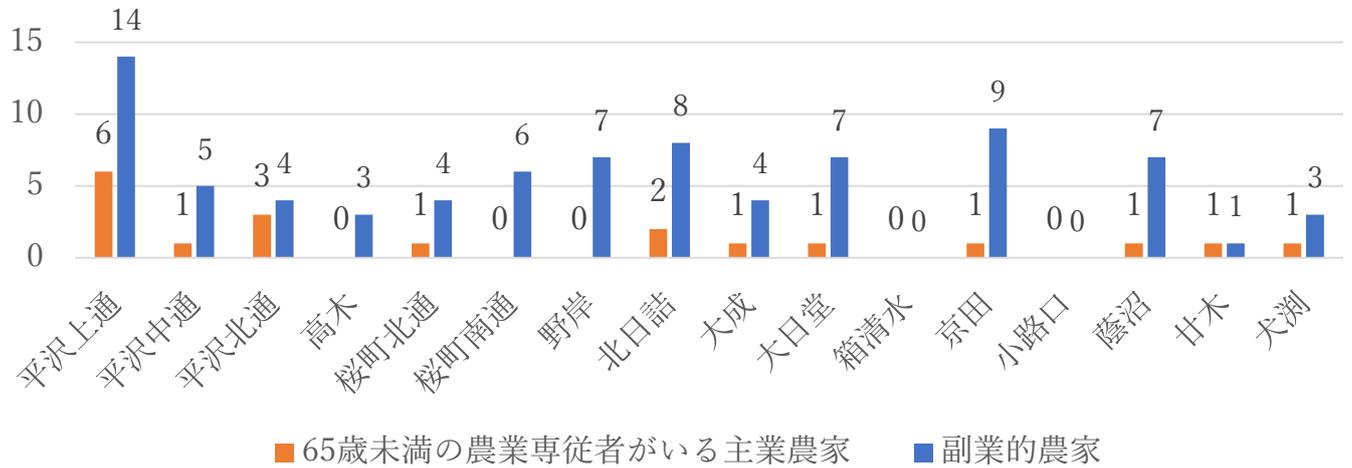


図5-6 主副業別農家数（彦部）

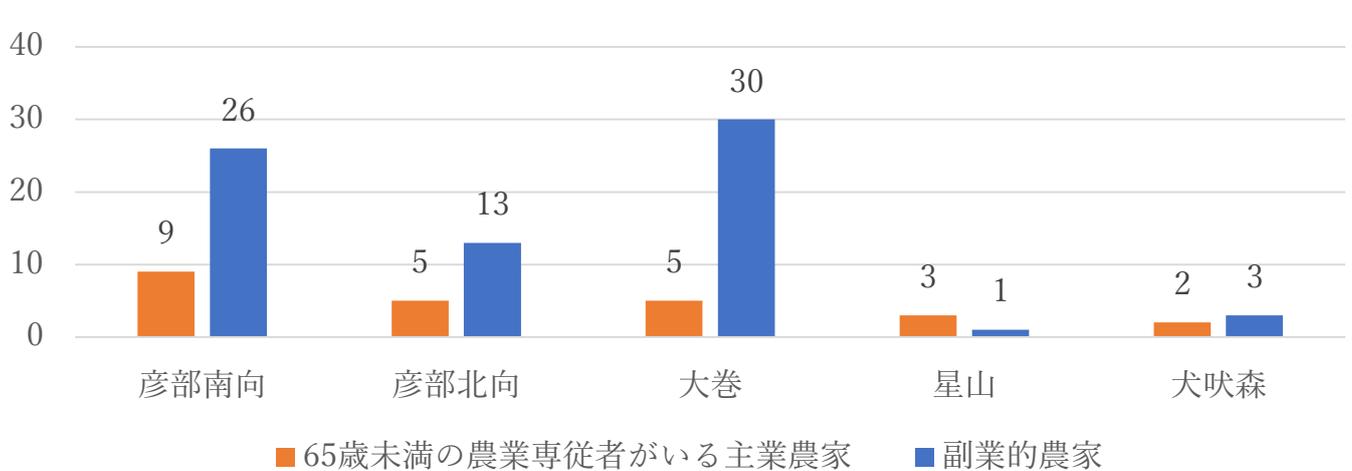


図5-7 主副業別農家数（佐比内）

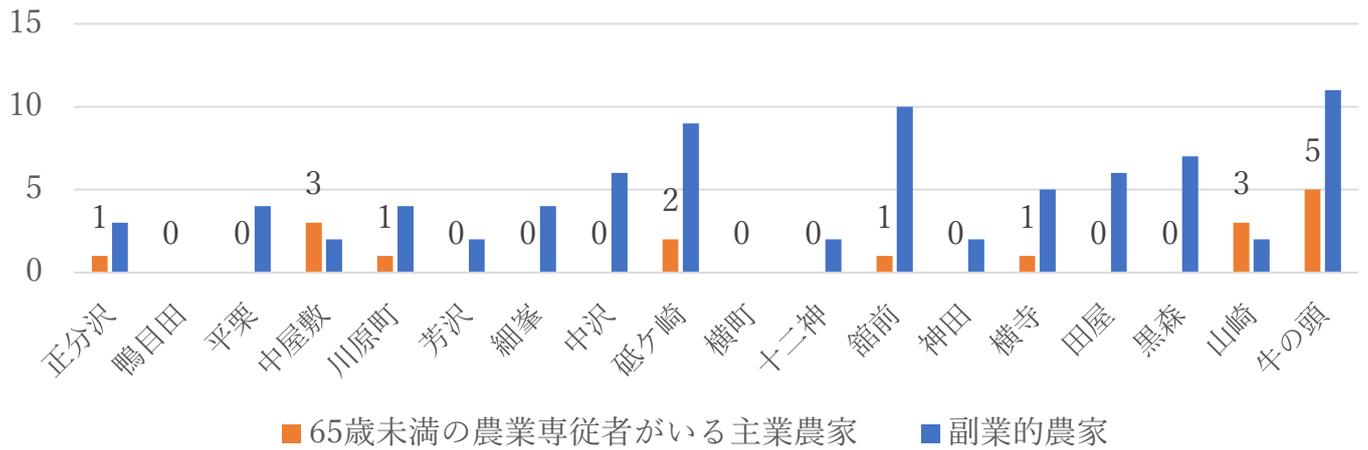


図5-8 主副業別農家数（赤沢）

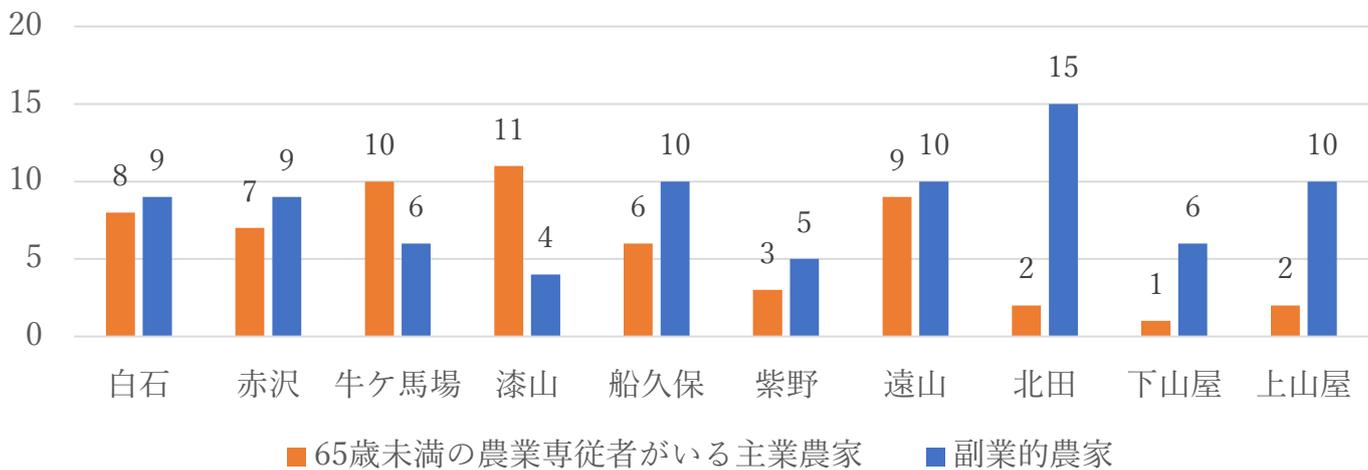
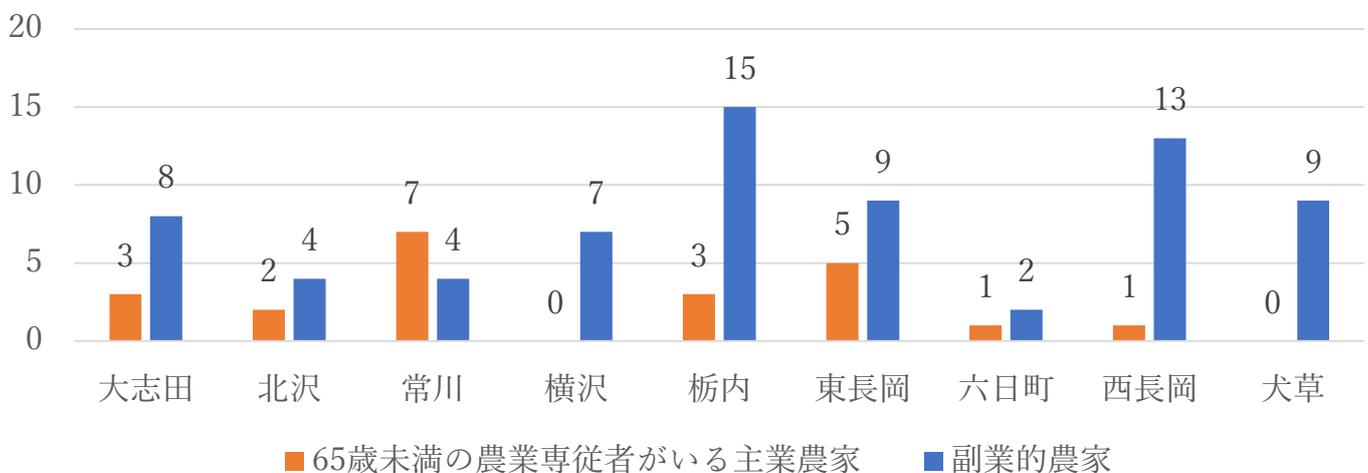


図5-9 主副業別農家数（長岡）



6 旧町村別農産物販売金額第1位部門別経営体数

○地域計画を考える際に、地域の農業振興作物と考えられる農産物販売金額第1位の部門別経営体数を示しています。

○町内全域では、稲作部門を第1位にしている経営体数が最も多くなっています。露地野菜部門が第1位の経営体数が多いのは、志和地区、果樹部門が多いのは、赤沢地区、古館地区、佐比内地区、肉業牛部門が多いのは、志和地区、赤石地区、水分地区となっています。

図6-1 農産物販売金額第1位部門別経営体数（日詰）

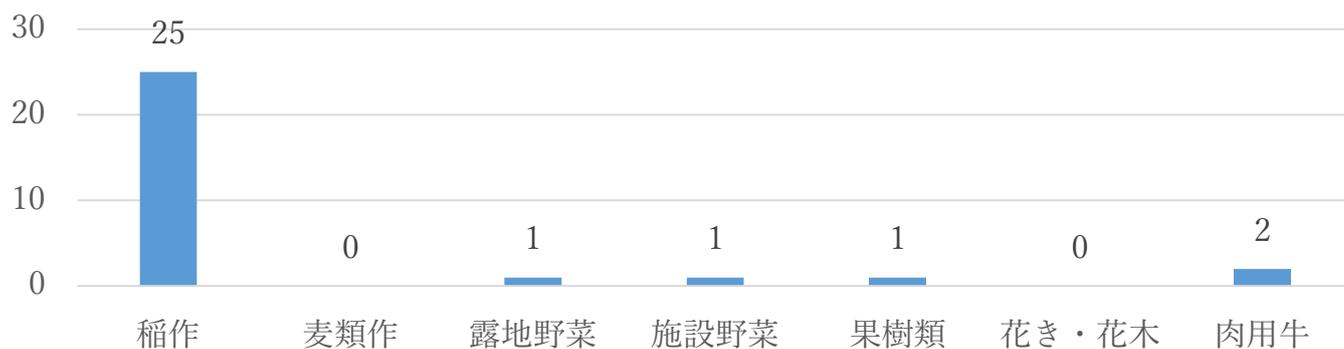


図6-2 農産物販売金額第1位部門別経営体数（古館）

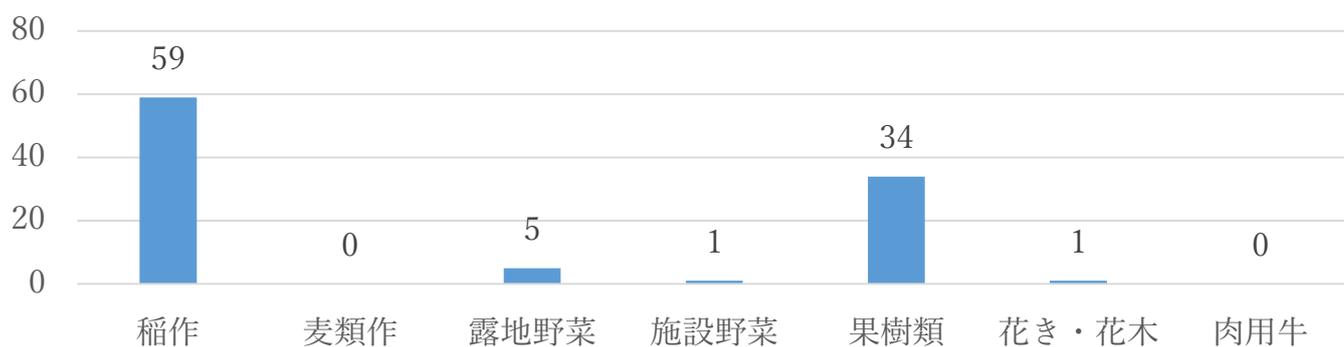


図6-3 農産物販売金額第1位部門別経営体数（水分）

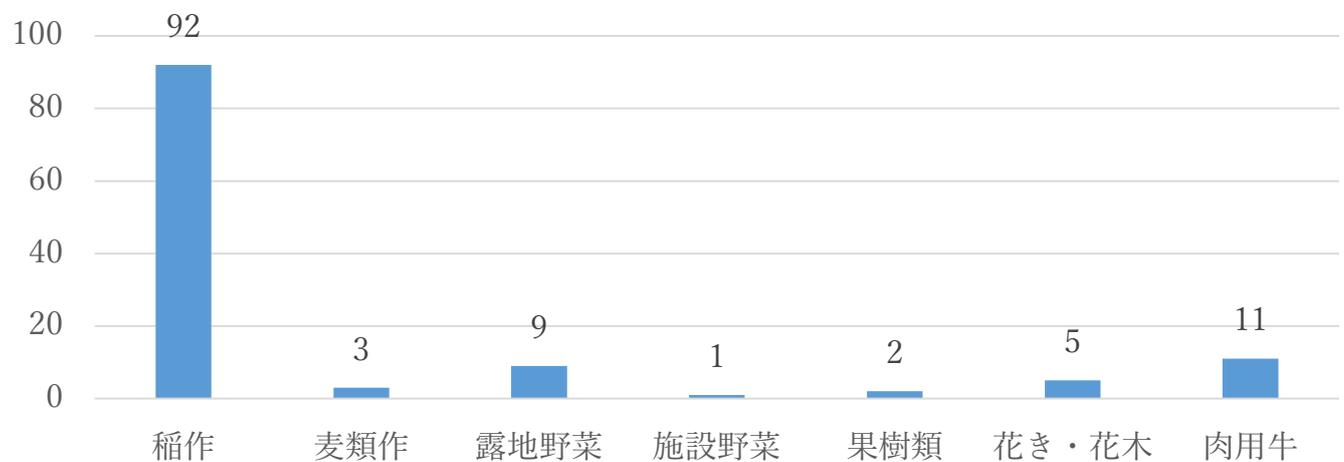


図6-4 農産物販売金額第1位部門別経営体数（志和）

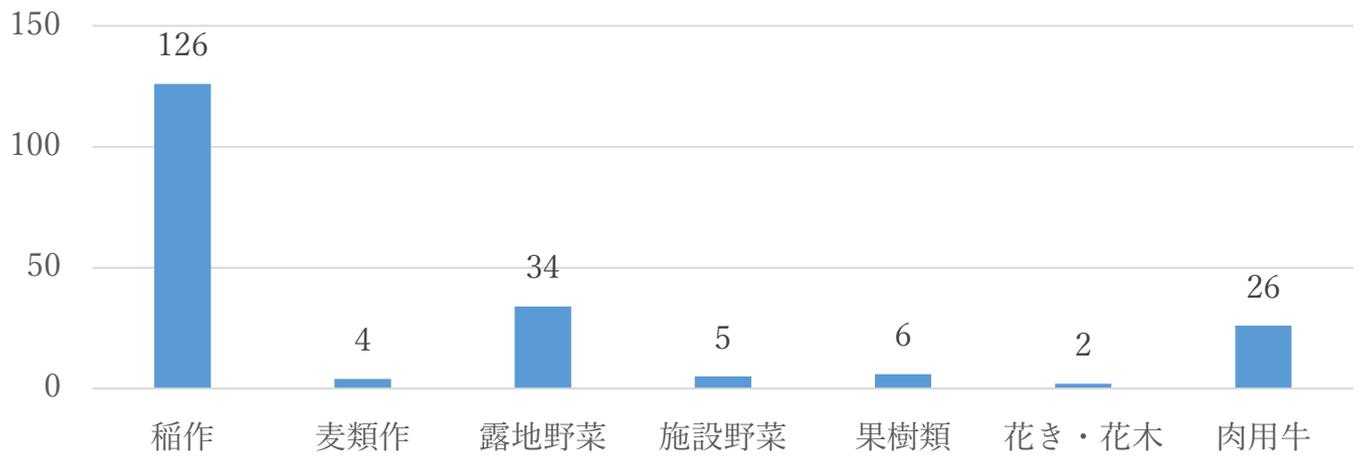


図6-5 農産物販売金額第1位部門別経営体数（赤石）

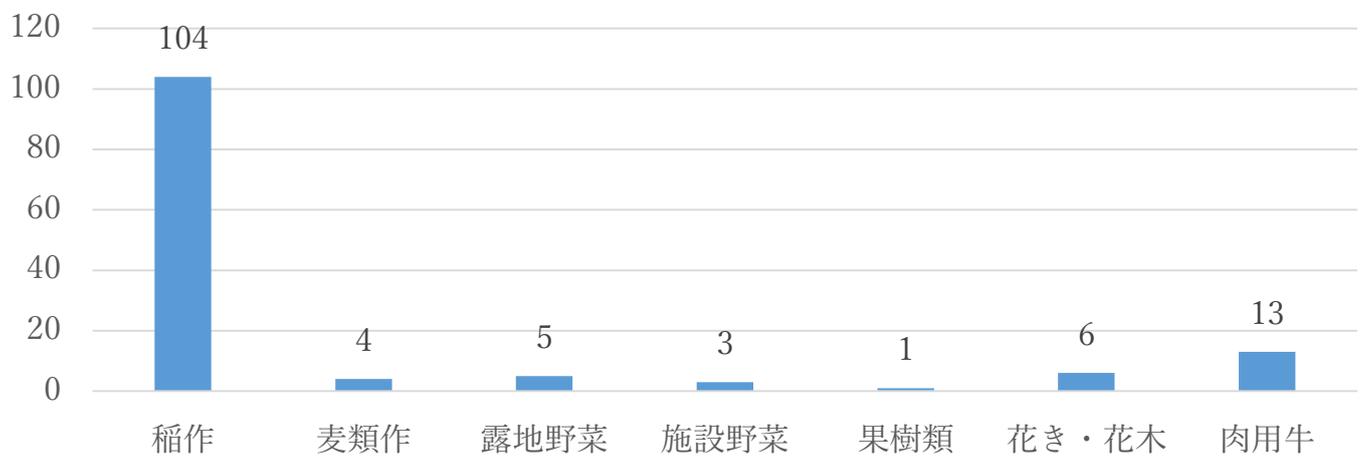


図6-6 農産物販売金額第1位部門別経営体数（彦部）

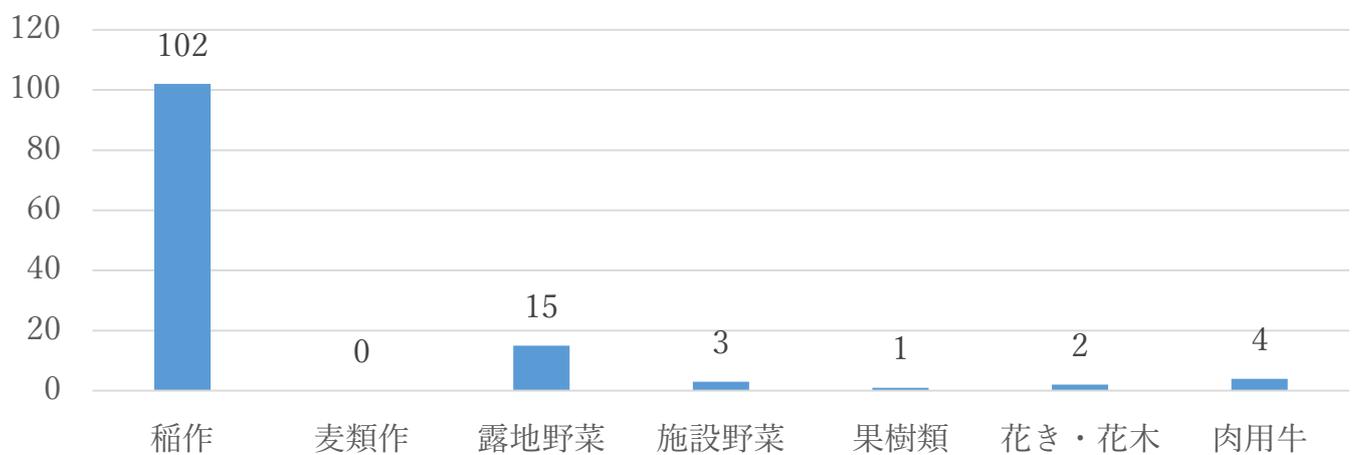


図6-7 農産物販売金額第1位部門別経営体数（佐比内）

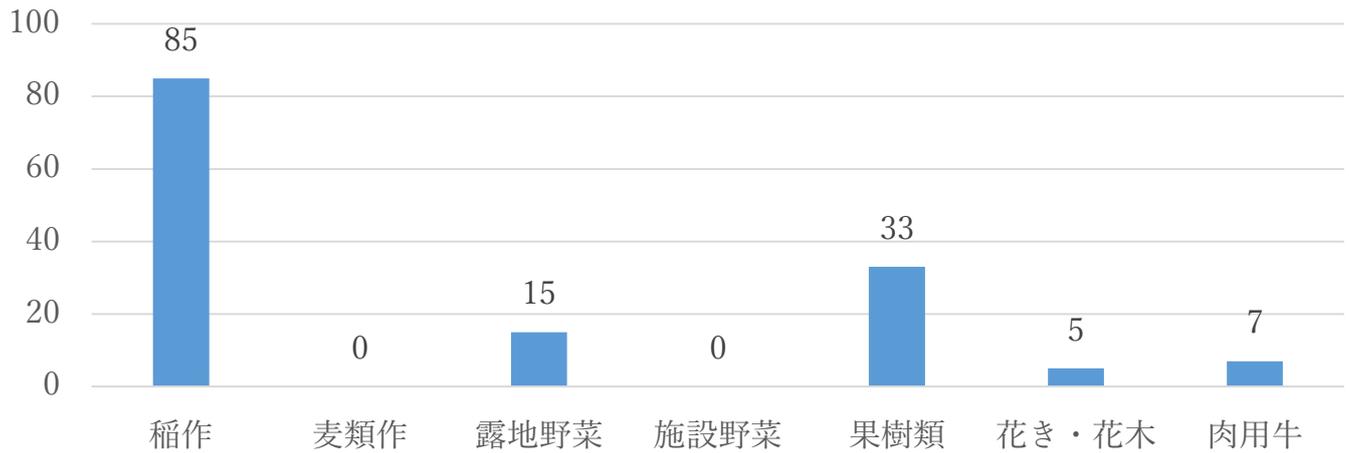


図6-8 農産物販売金額第1位部門別経営体数（赤沢）

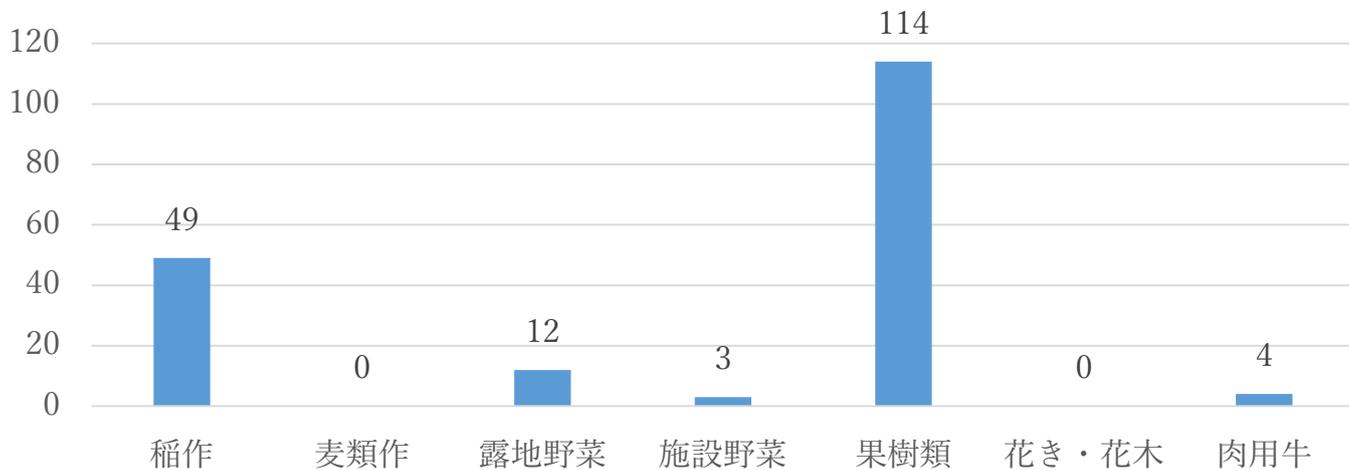


図6-9 農産物販売金額第1位部門別経営体数（長岡）

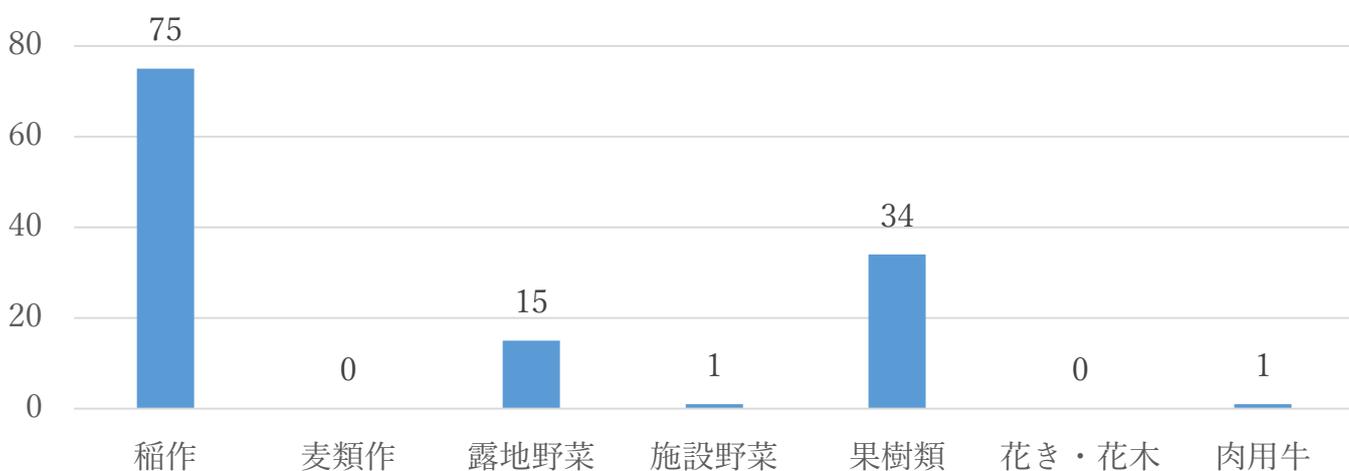


図6-10 稲作部門の販売金額が第1位の経営体数

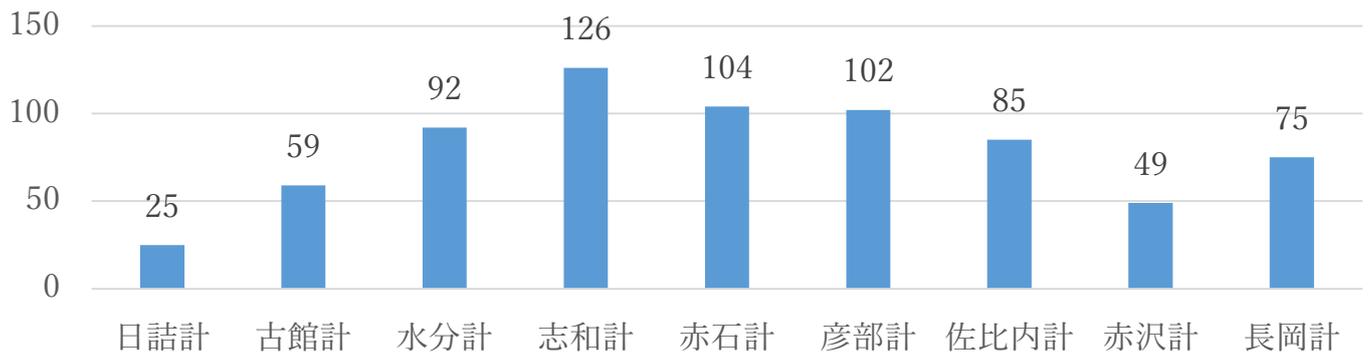


図6-11 露地野菜部門の販売金額が第1位の経営体数

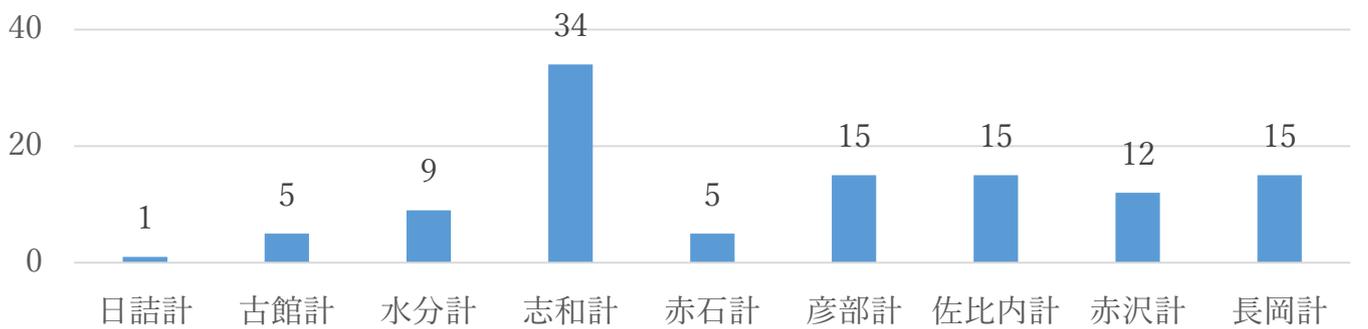


図6-12 果樹類部門の販売金額が第1位の経営体数

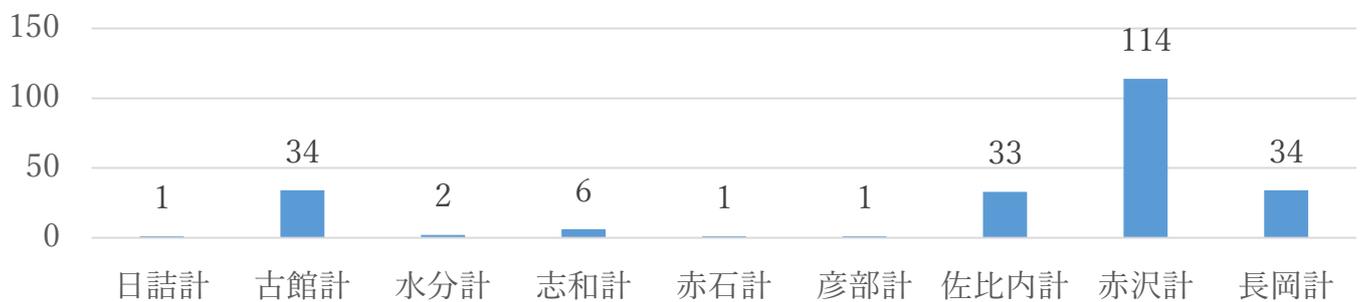
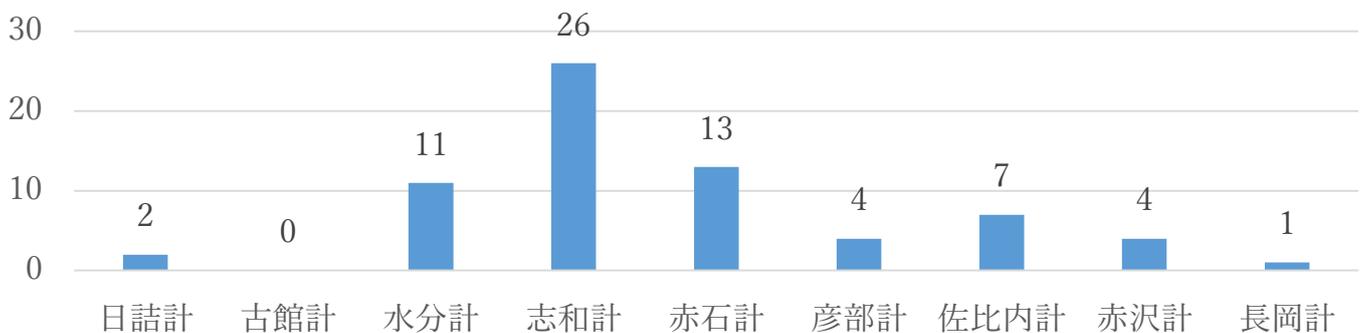


図6-13 肉用牛部門の販売金額が第1位の経営体数



7 旧町村別農産物販売金額規模別経営体数

- 農産物販売金額規模別経営体数を示しています。農業の経営規模や農業依存度が把握できます。
- 日詰地区は、販売金額が50万円未満の経営体数が最も多いですが、他の地区では販売金額100万円～200万円の階層が最も多くなっています。

図7-1 農産物販売金額規模別経営体数（日詰）

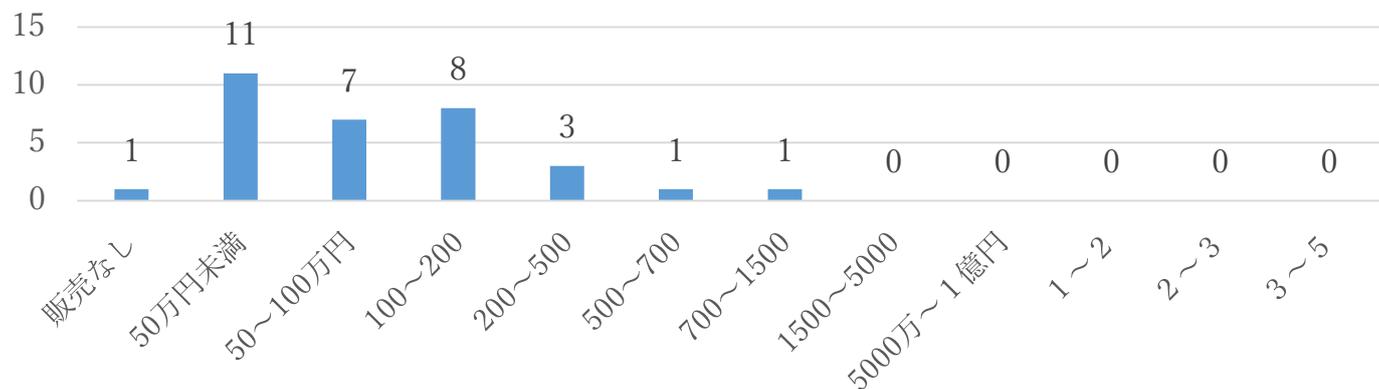


図7-2 農産物販売金額規模別経営体数（古館）

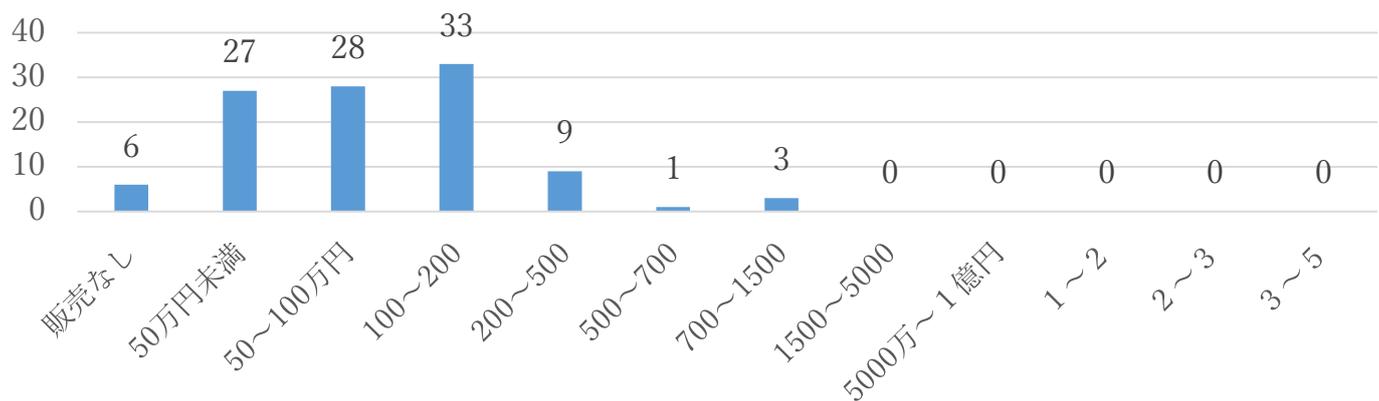


図7-3 農産物販売金額規模別経営体数（水分）

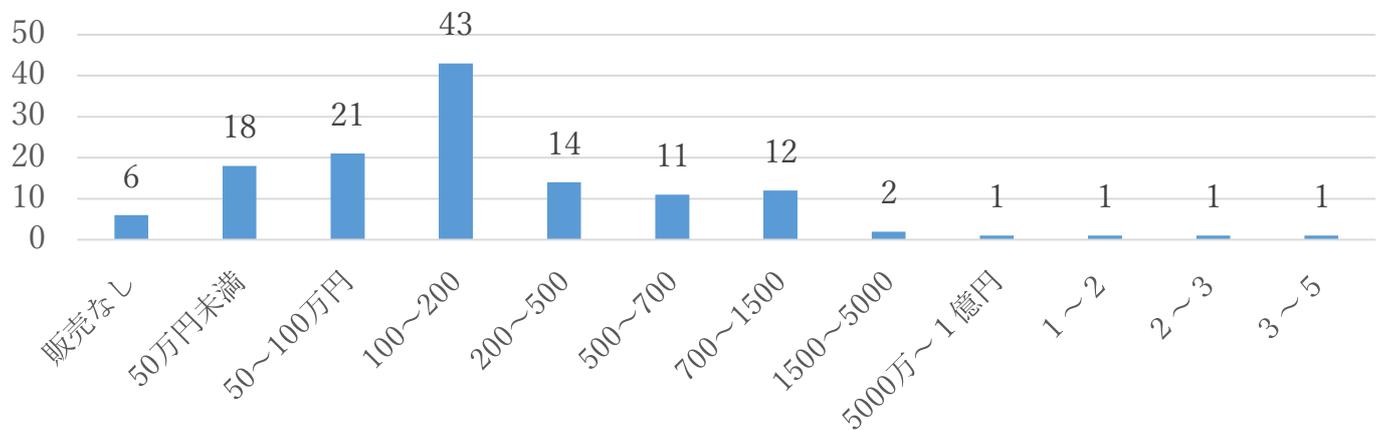


図7-4 農産物販売金額規模別経営体数（志和）

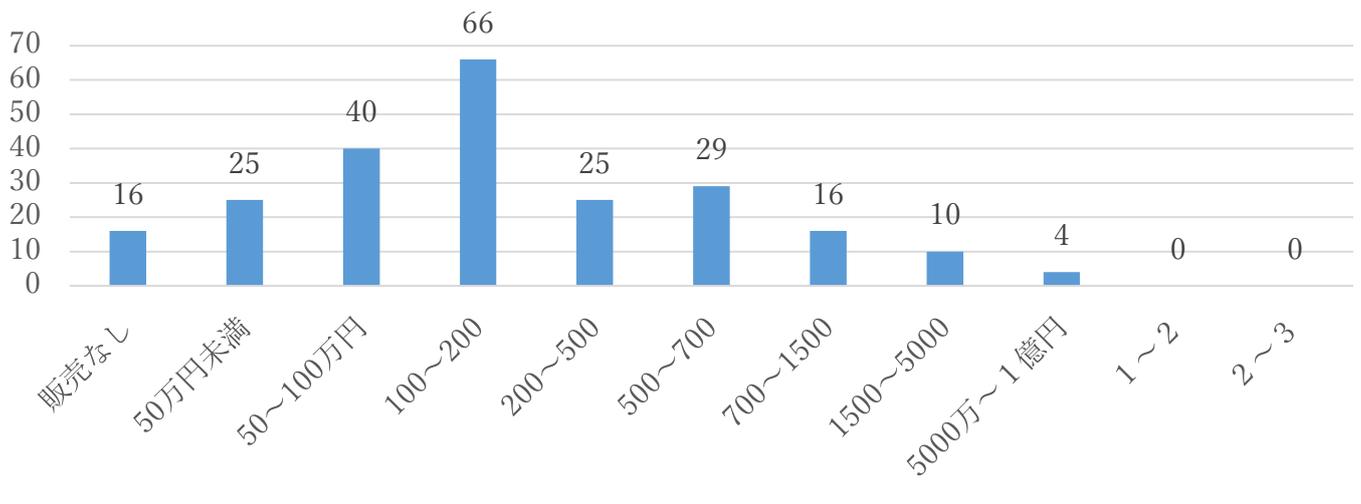


図7-5 農産物販売金額規模別経営体数（赤石）

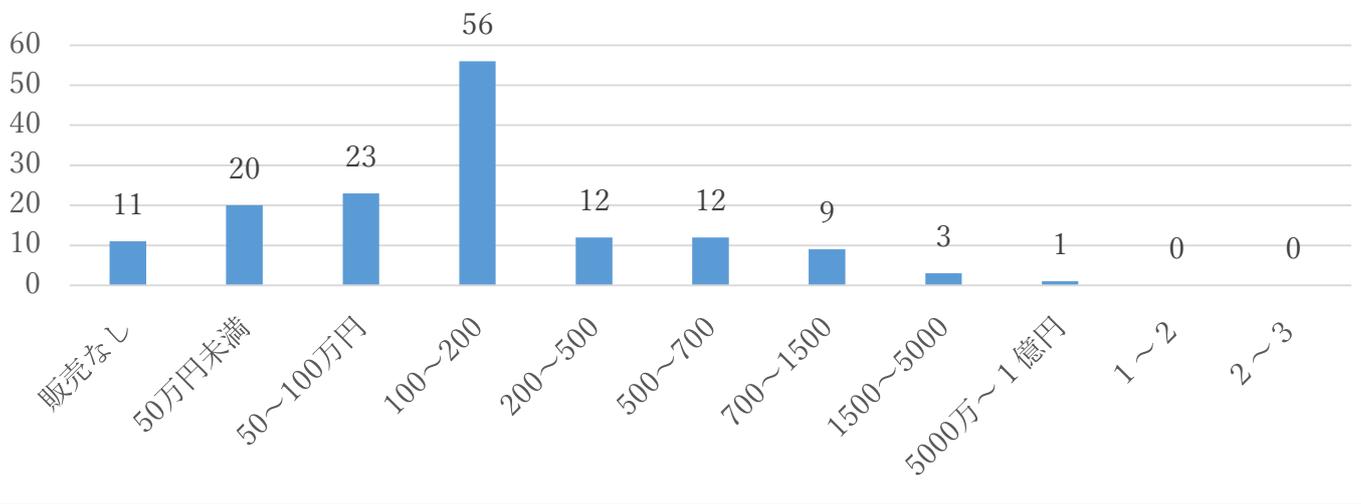


図7-6 農産物販売金額規模別経営体数（彦部）

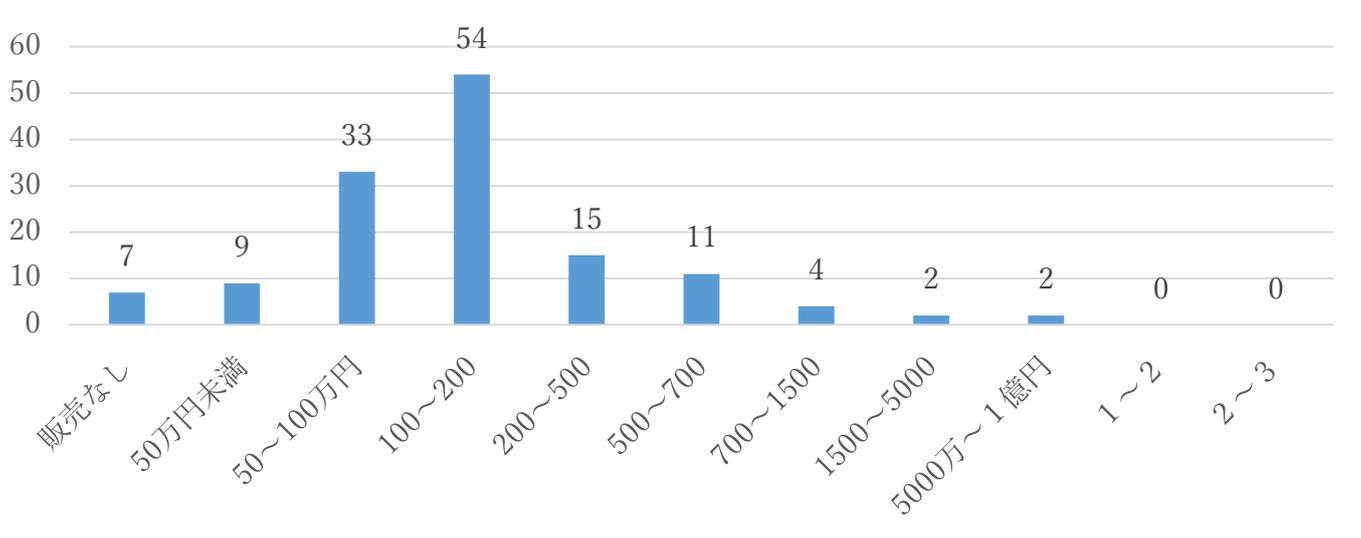


図7-7 農産物販売金額規模別経営体数（佐比内）

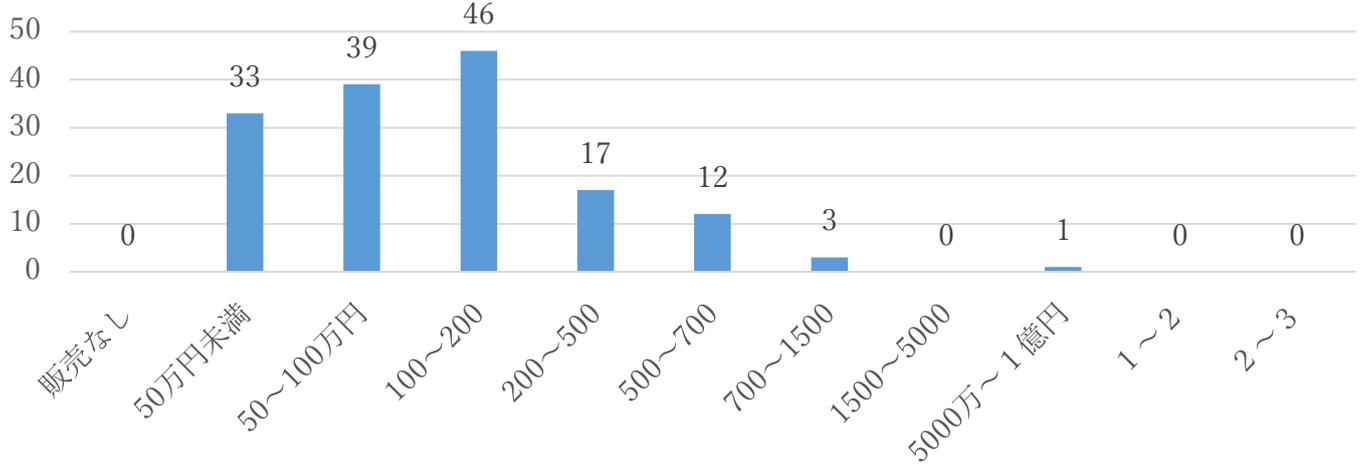


図7-8 農産物販売金額規模別経営体数（赤沢）

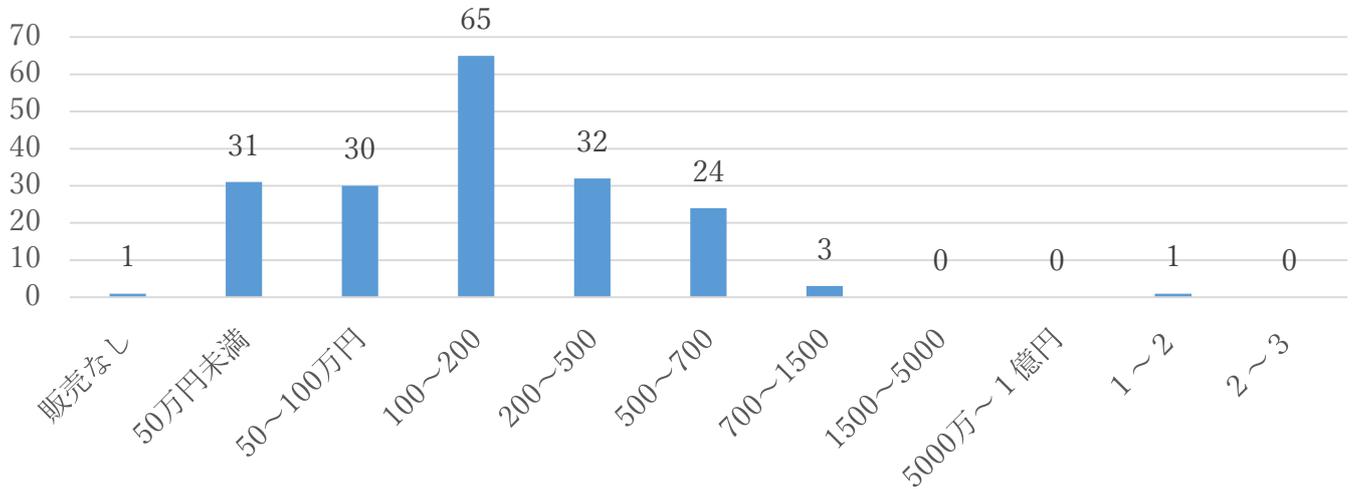
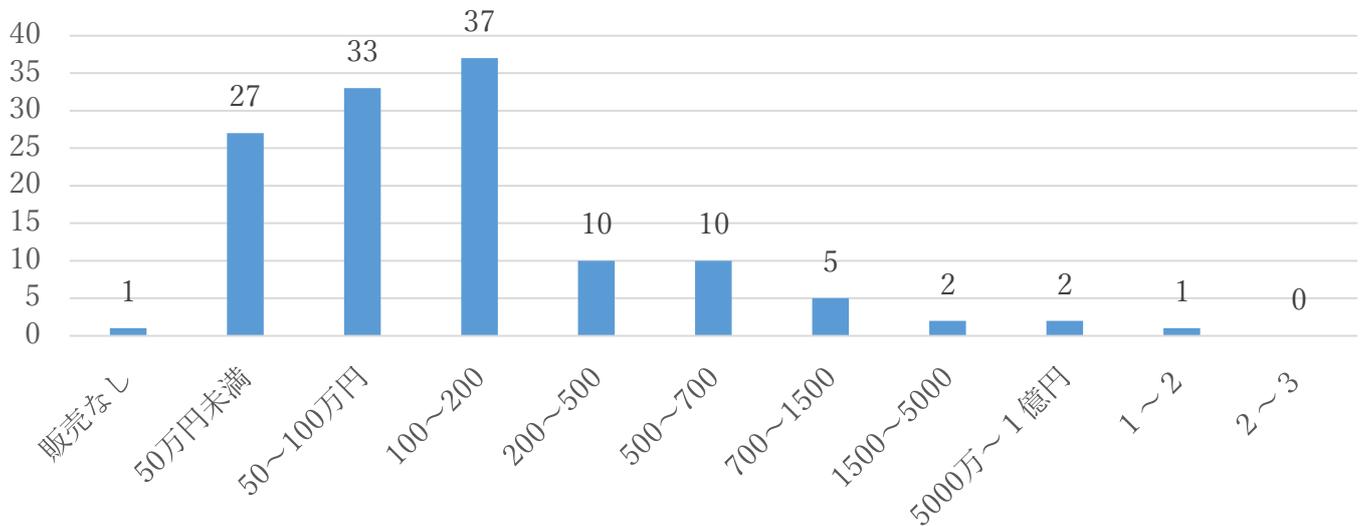


図7-9 農産物販売金額規模別経営体数（長岡）



8 集落別地目別経営耕地面積（団体経営体+個人経営体）

○田、畑、樹園地の地目別の経営耕地面積を示しています。

○町全域で経営耕地面積のほとんどを田面積が占め、畑面積はごく少ない面積となっています。樹園地の面積が多いのは、赤沢地区、佐比内地区、古館地区となっています。

図8-1 経営耕地面積（日詰）（a）

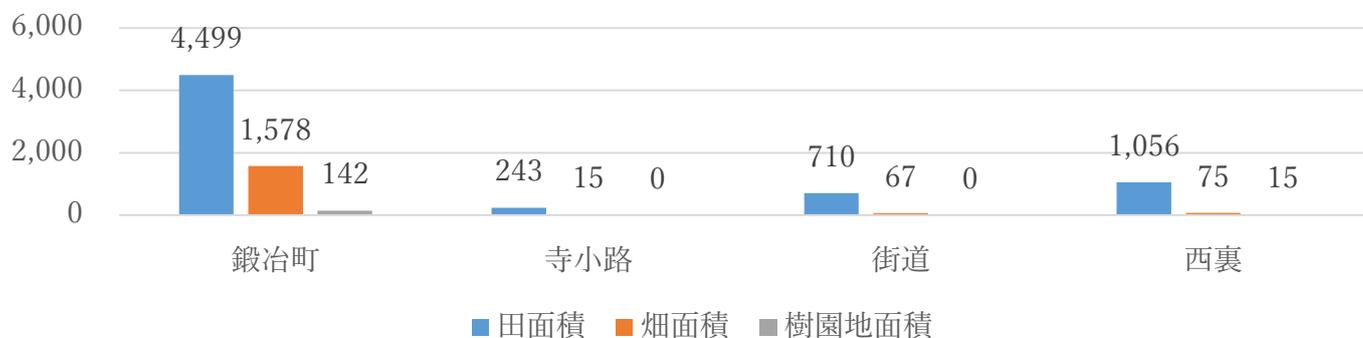


図8-2 経営耕地面積（古館）（a）

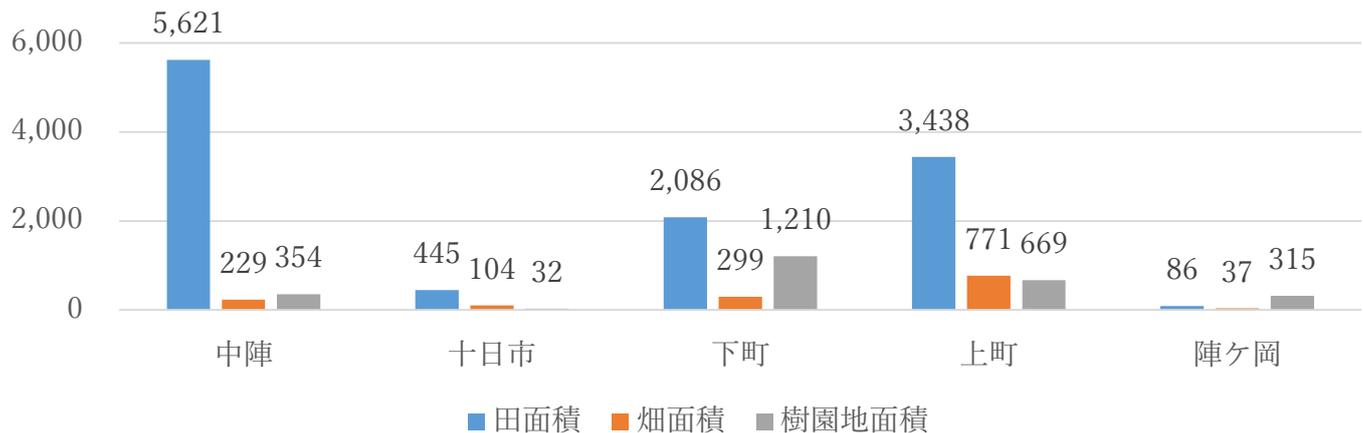


図8-3 経営耕地面積（水分）（a）

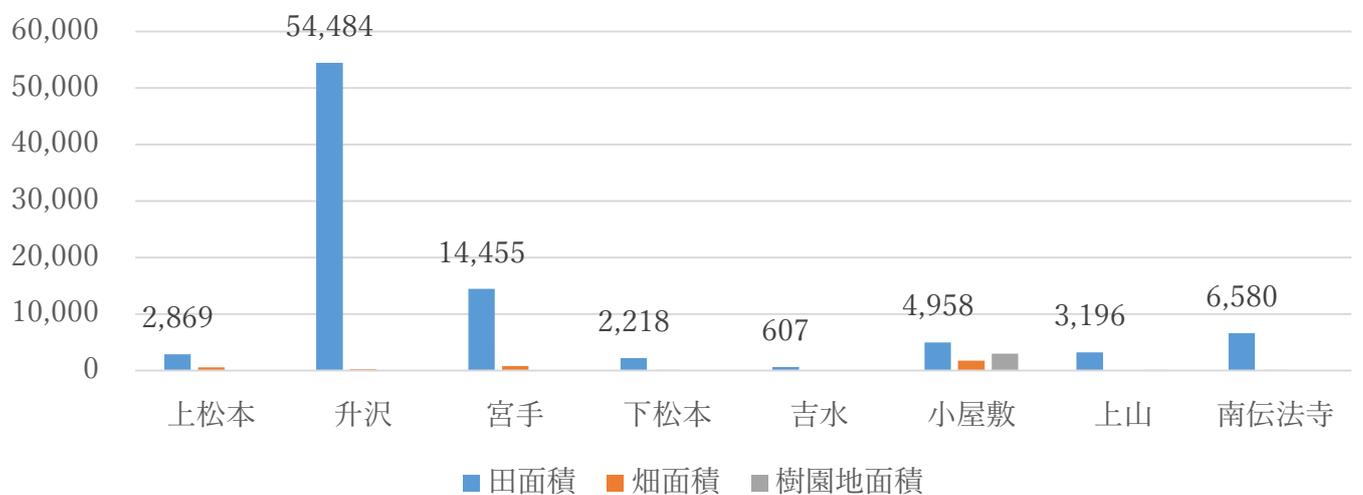


図8-4 経営耕地面積（志和）(a)



図8-5 経営耕地面積（赤石）(a)

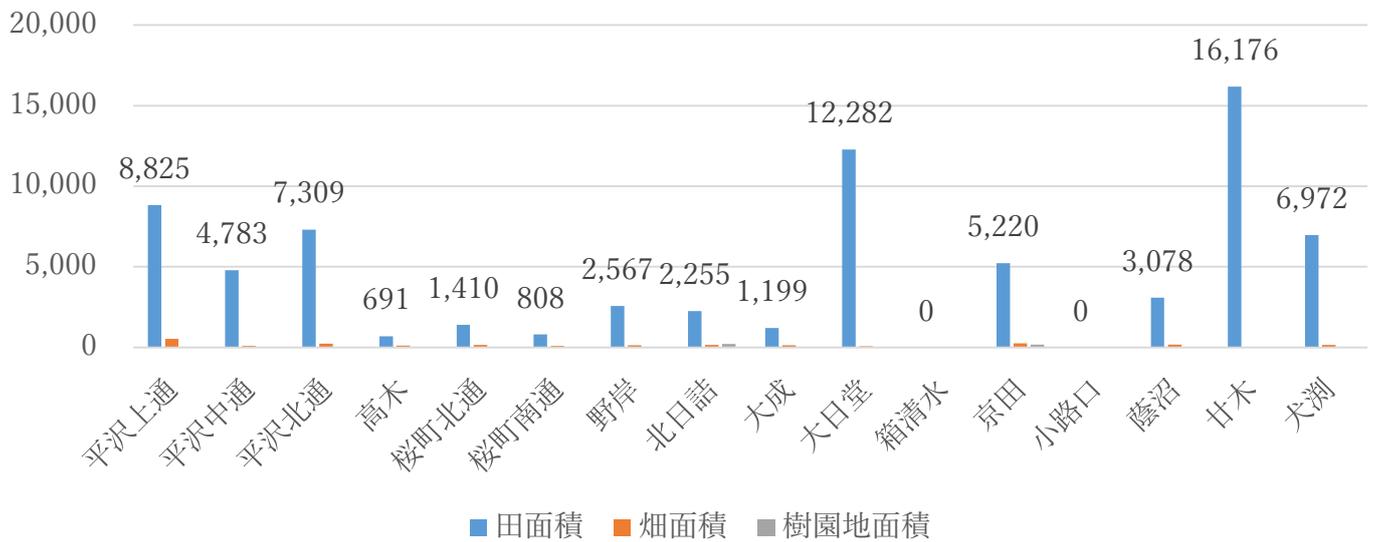


図8-6 経営耕地面積（彦部）(a)

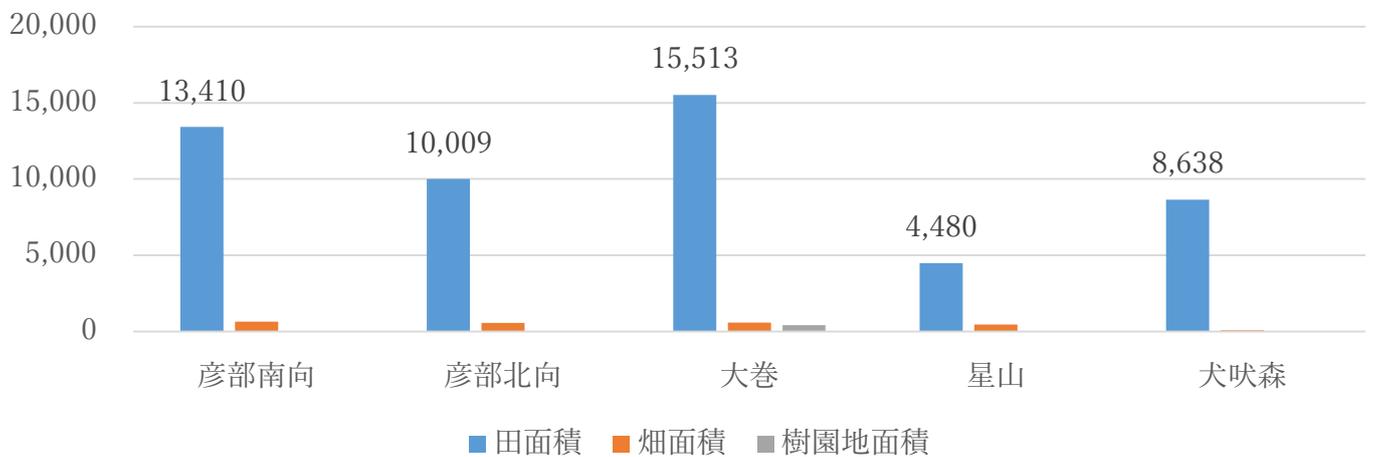


図8-7 経営耕地面積（佐比内）(a)

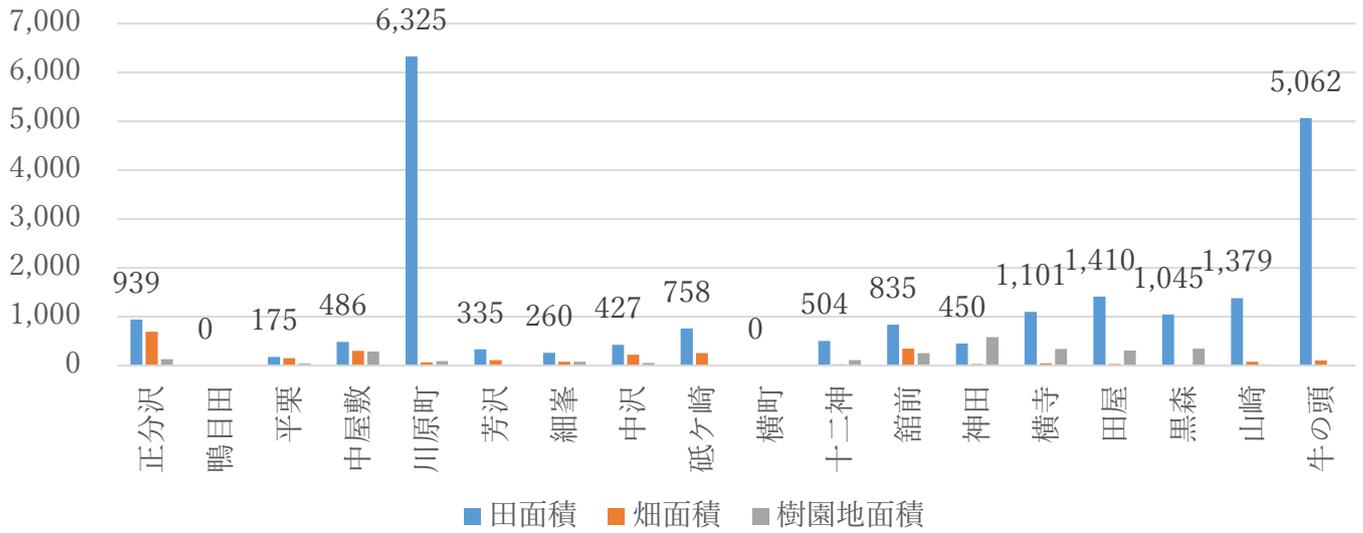


図8-8 経営耕地面積（赤沢）(a)

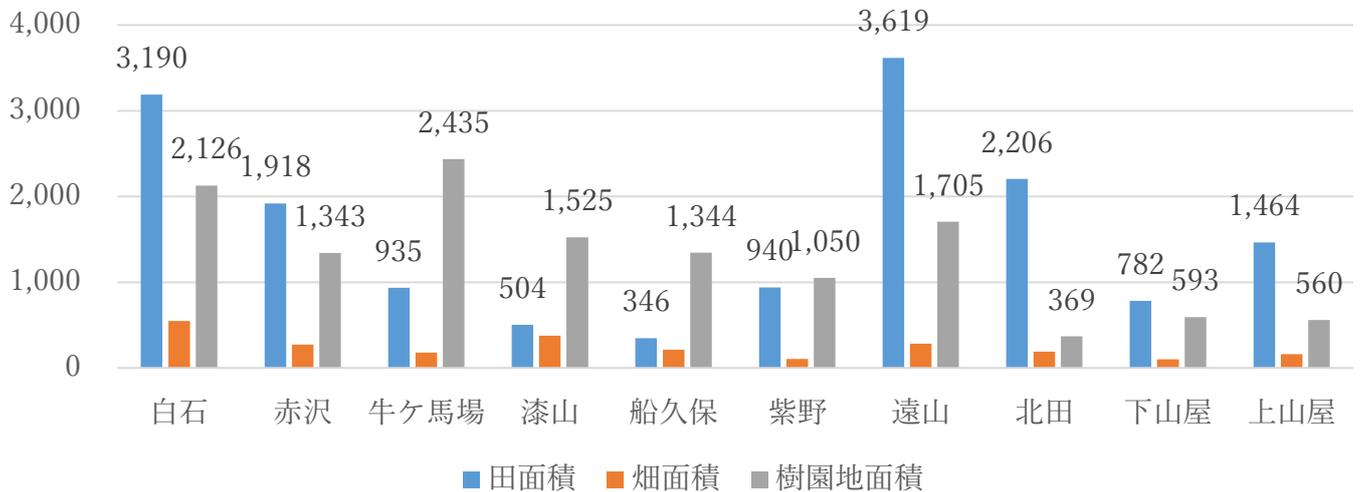
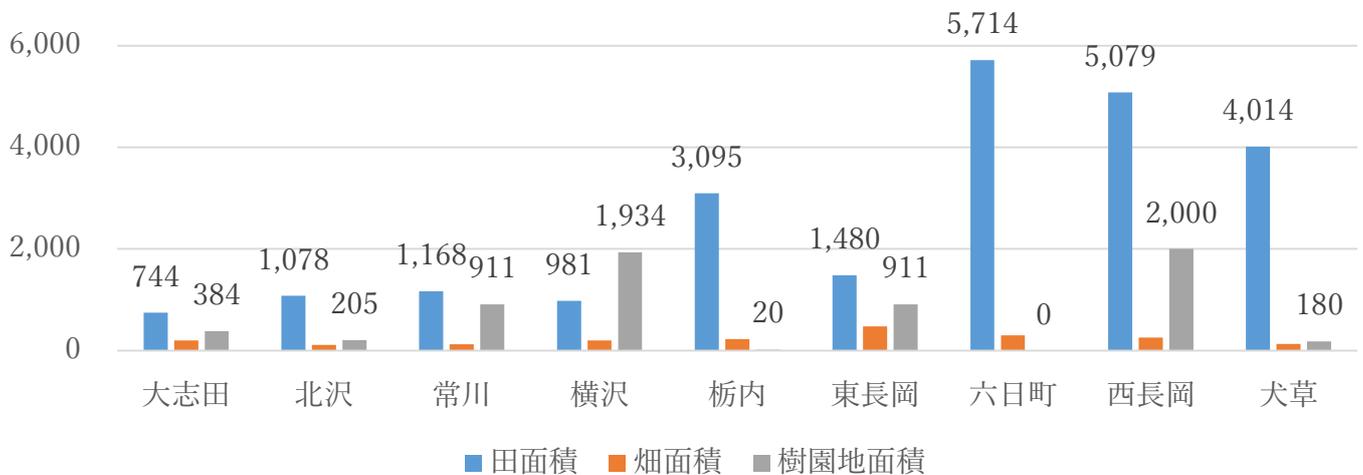


図8-9 経営耕地面積（長岡）(a)



9 集落別個人経営体の経営耕地面積

○集落ごとの個人経営体の経営面積を示しています。

図9-1 個人経営体経営耕地面積（日詰）（a）

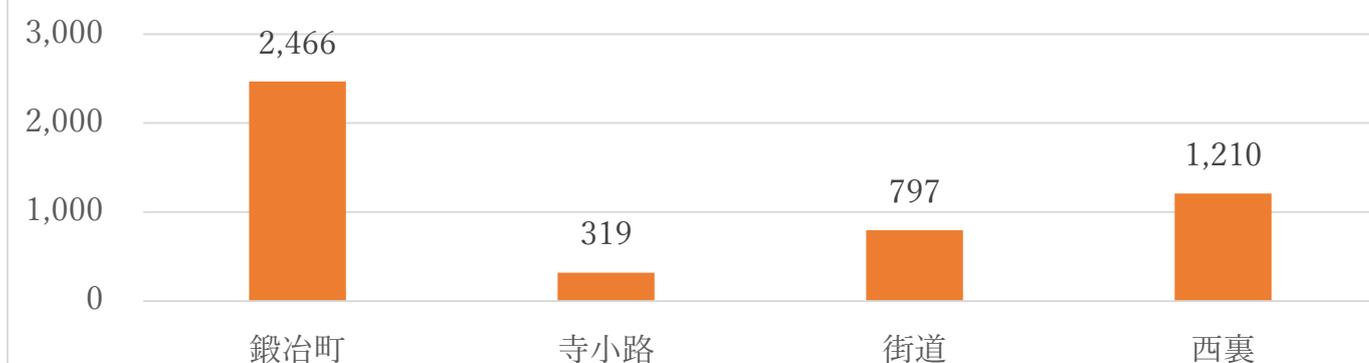


図9-2 個人経営体経営耕地面積（古館）（a）

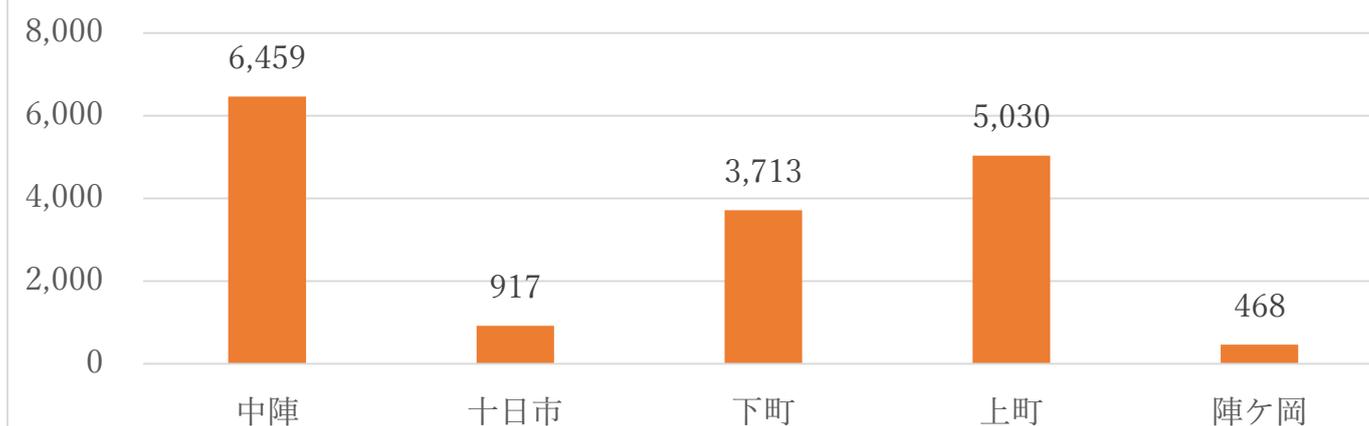


図9-3 個人経営体経営耕地面積（水分）（a）

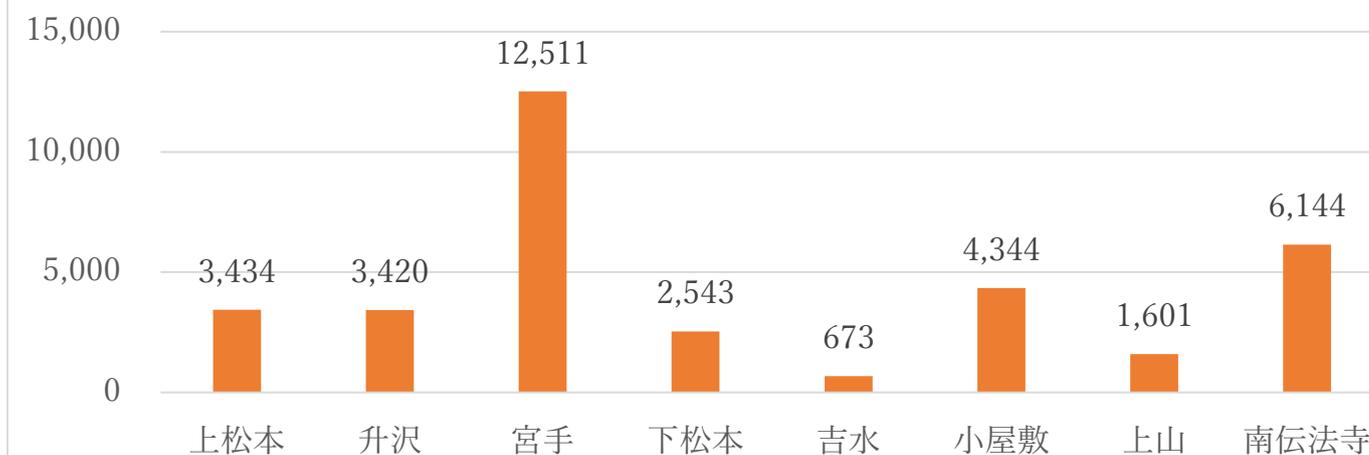


图9-4 个人经营体经营耕地面积（志和）（a）

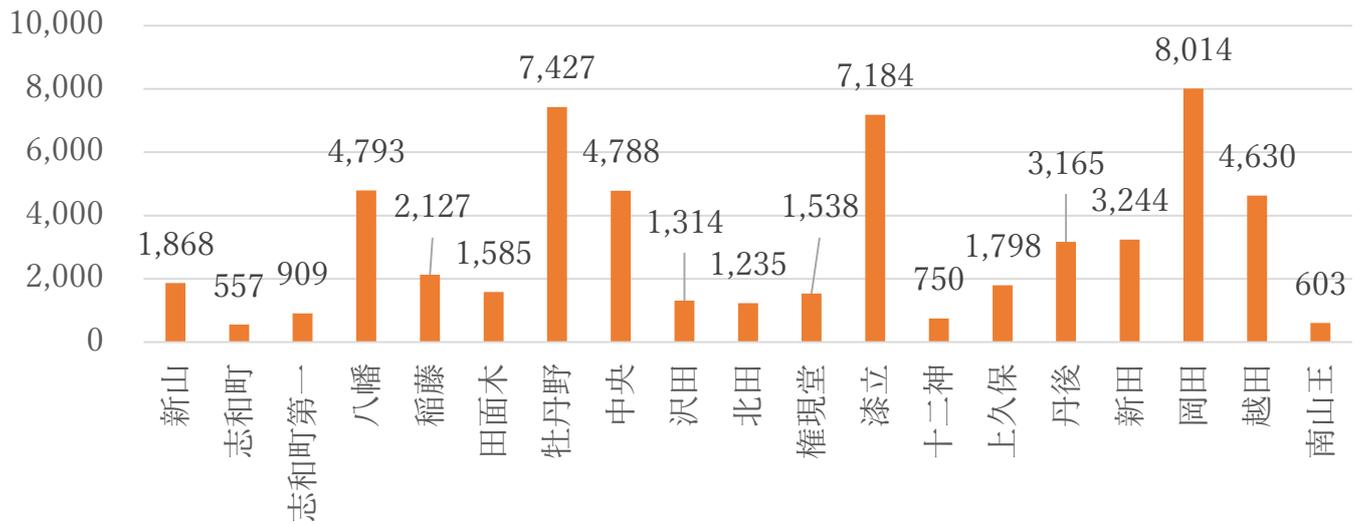


图9-5 个人经营体经营耕地面积（赤石）（a）

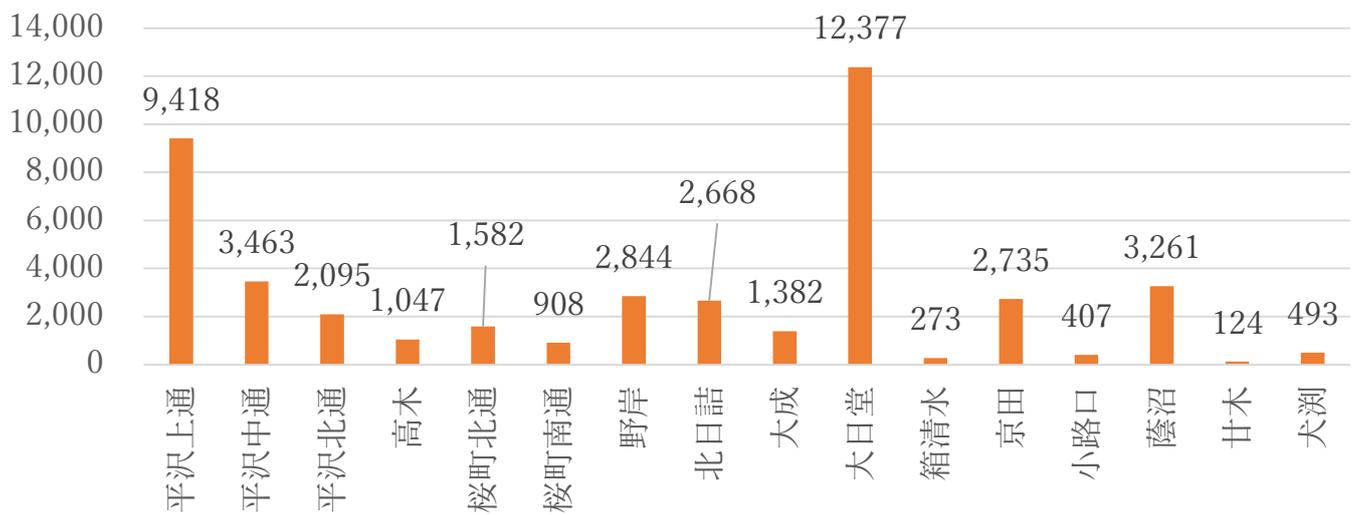


图9-6 个人经营体经营耕地面积（彦部）（a）

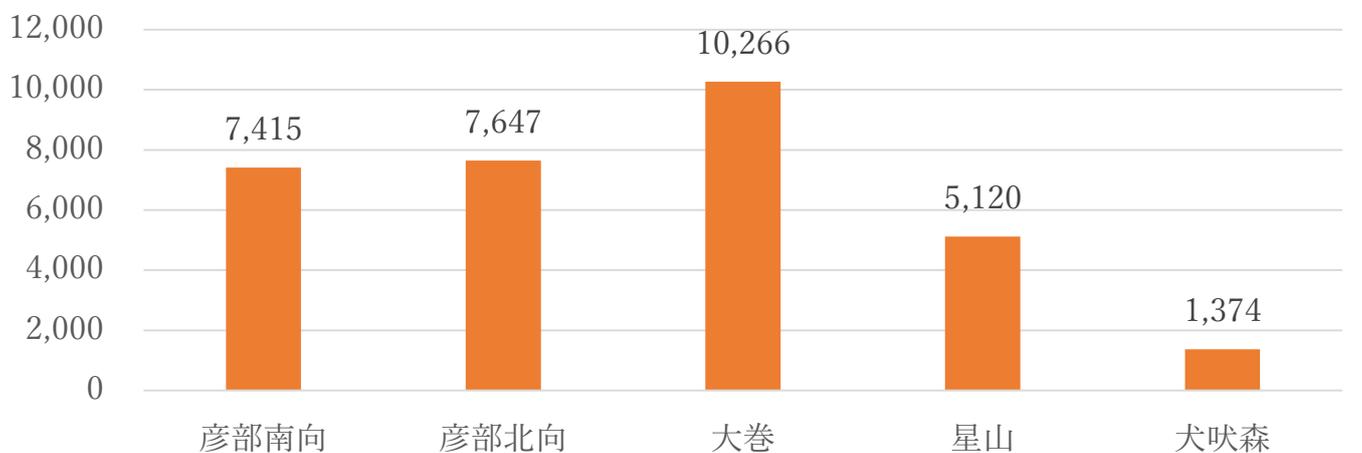


図9-7 個人経営体経営耕地面積（佐比内）（a）

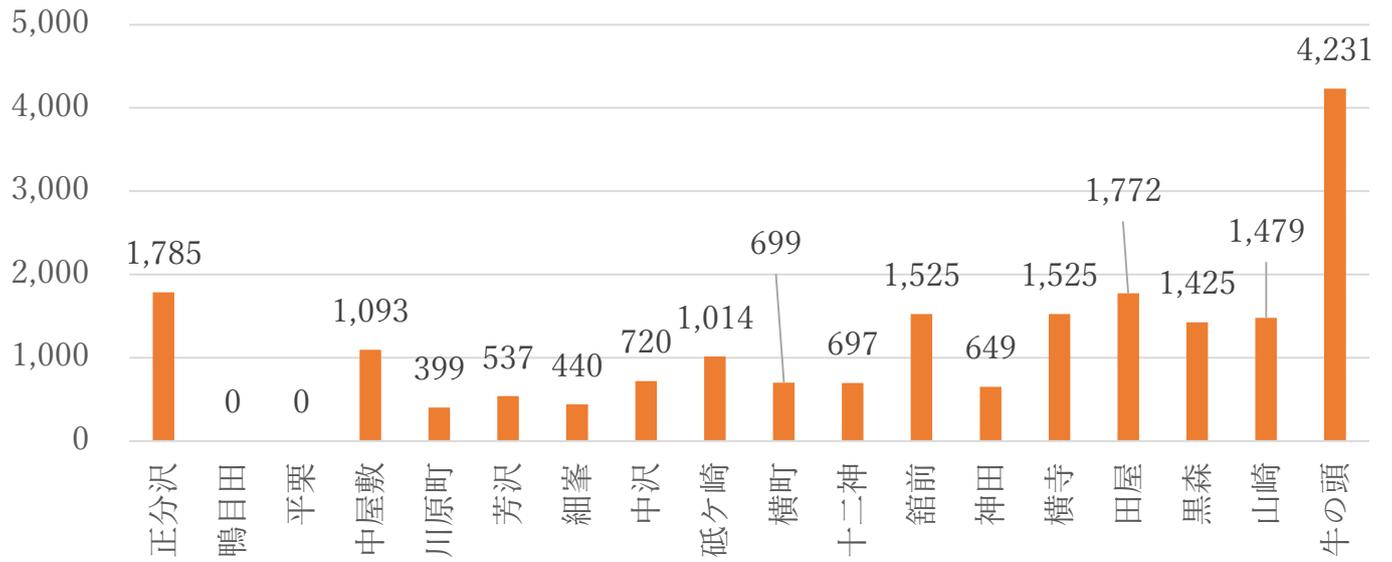


図9-8 個人経営体経営耕地面積（赤沢）（a）

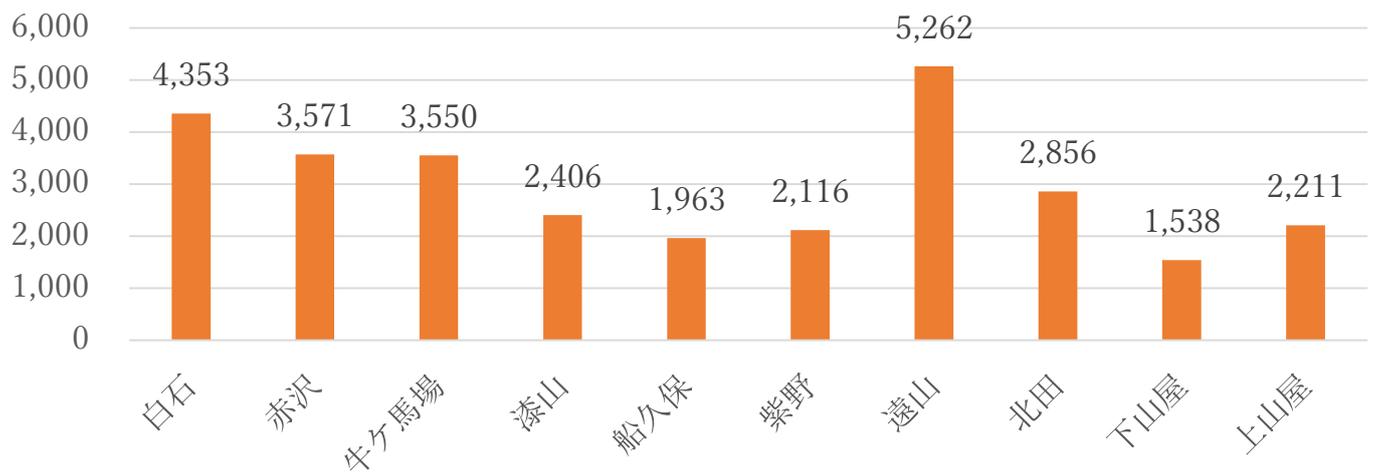
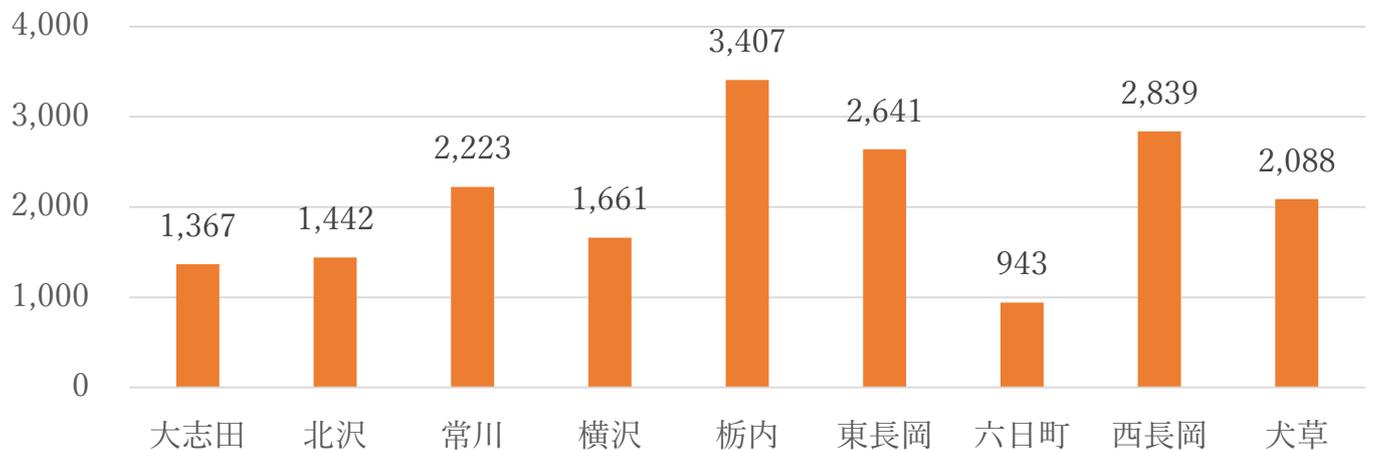


図9-9 個人経営体経営耕地面積（長岡）（a）



10 集落別経営耕地面積規模別経営体数（団体経営体+個人経営体）

- 今後とも地域の担い手として想定される経営体として、3ha以上の個人経営体数と50ha以上の団体経営体数を示しています。
- 今後、これらの経営耕地面積規模階層の経営体が地域の農地の受け皿になると想定されます。

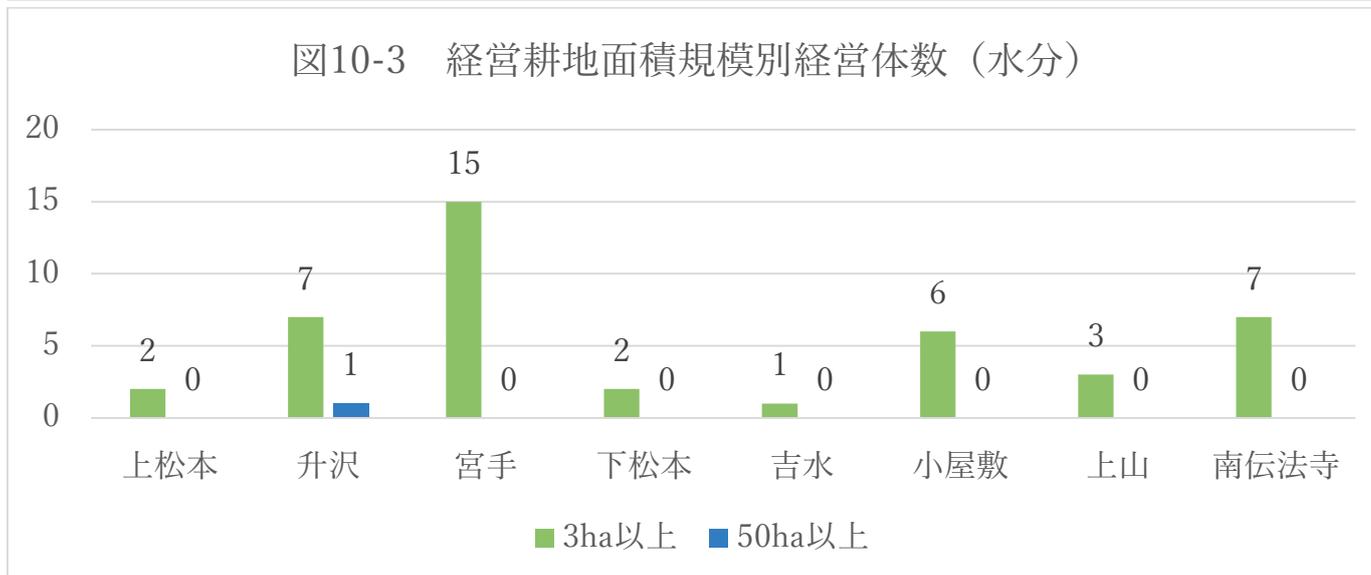
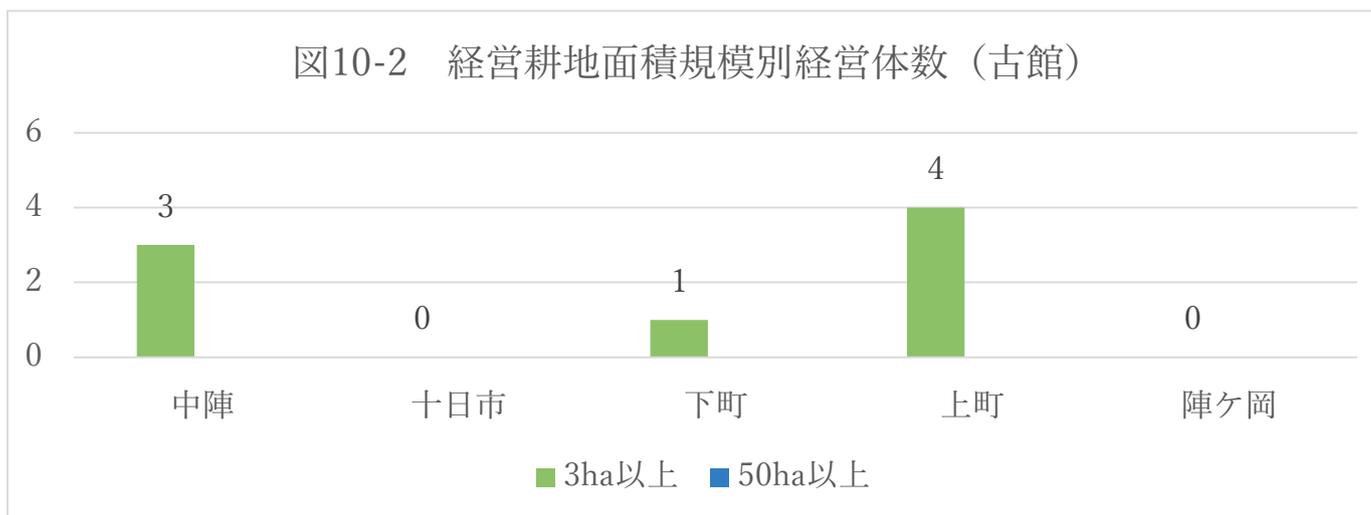
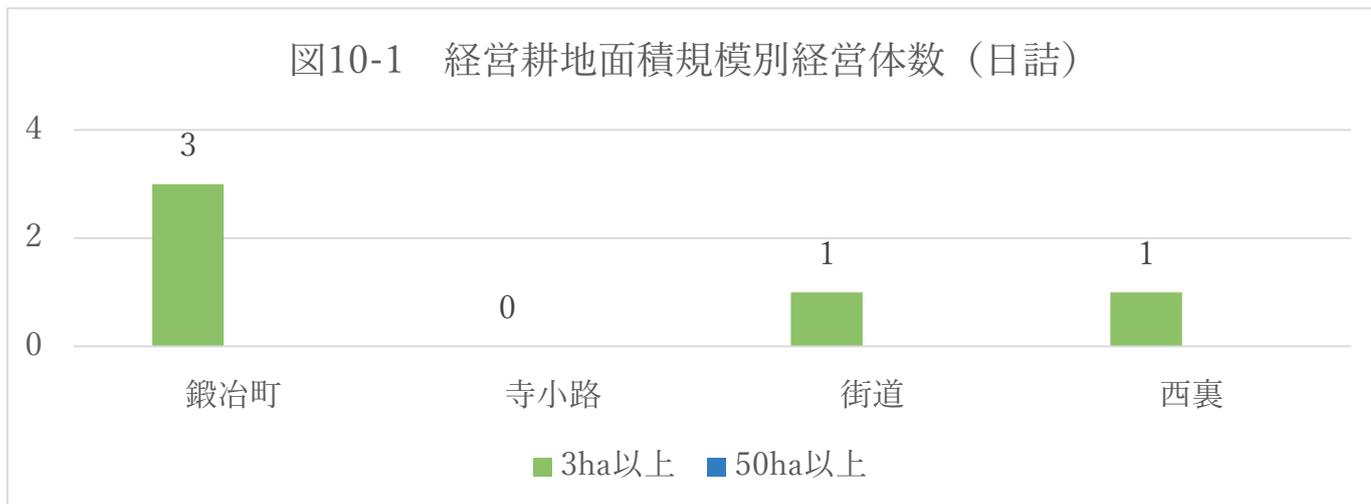


図10-4 経営耕地面積規模別経営体数（志和）

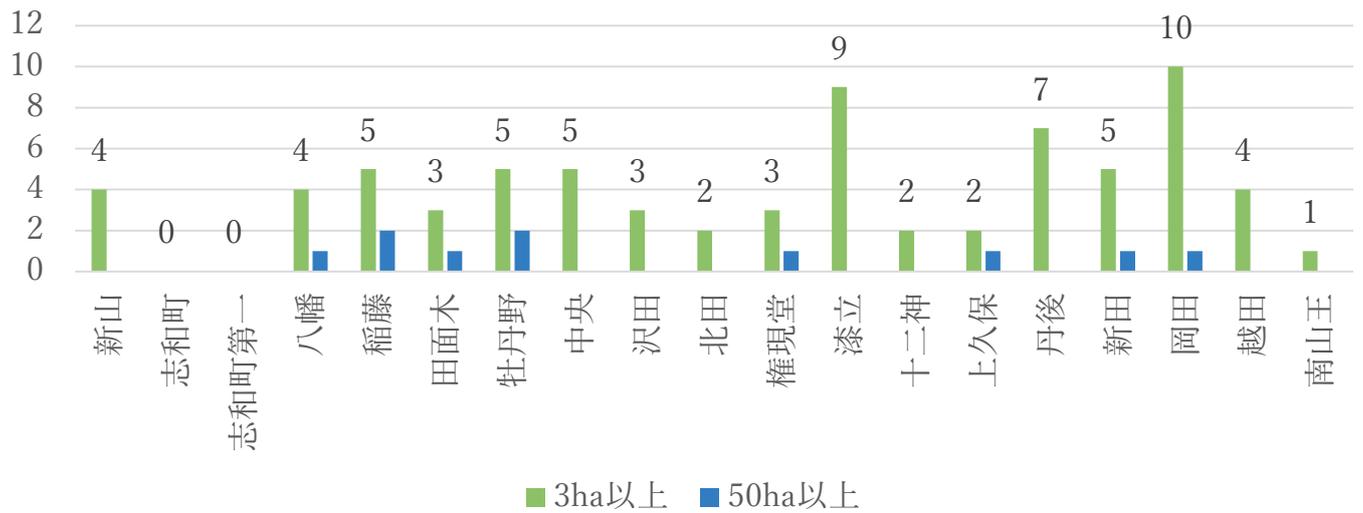


図10-5 経営耕地面積規模別経営体数（赤石）

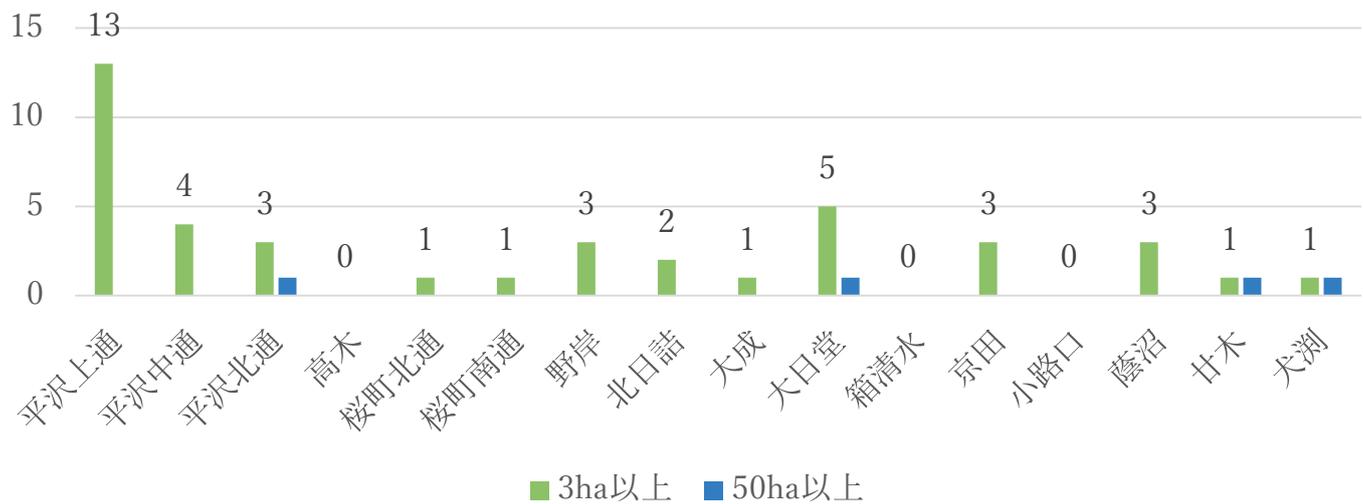


図10-6 経営耕地面積規模別経営体数（彦部）

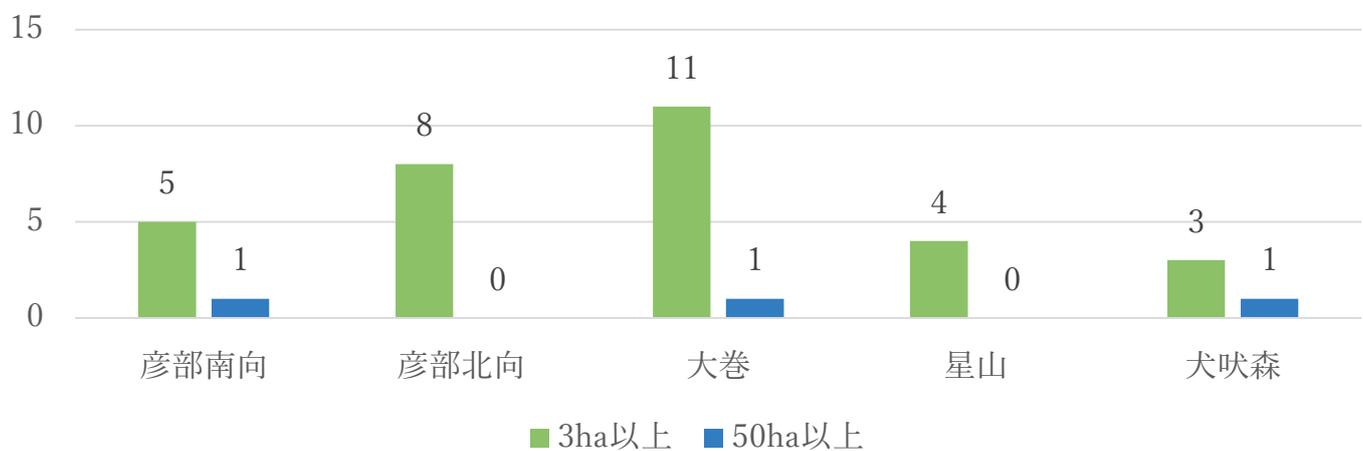


図10-7 経営耕地面積規模別経営体数（佐比内）

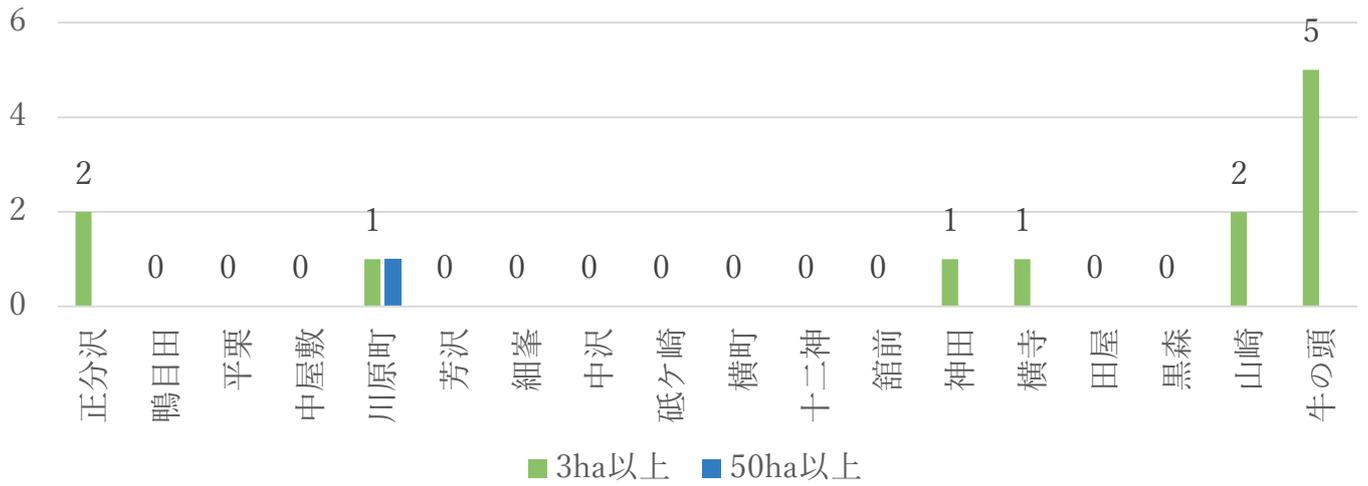


図10-8 経営耕地面積規模別経営体数（赤沢）

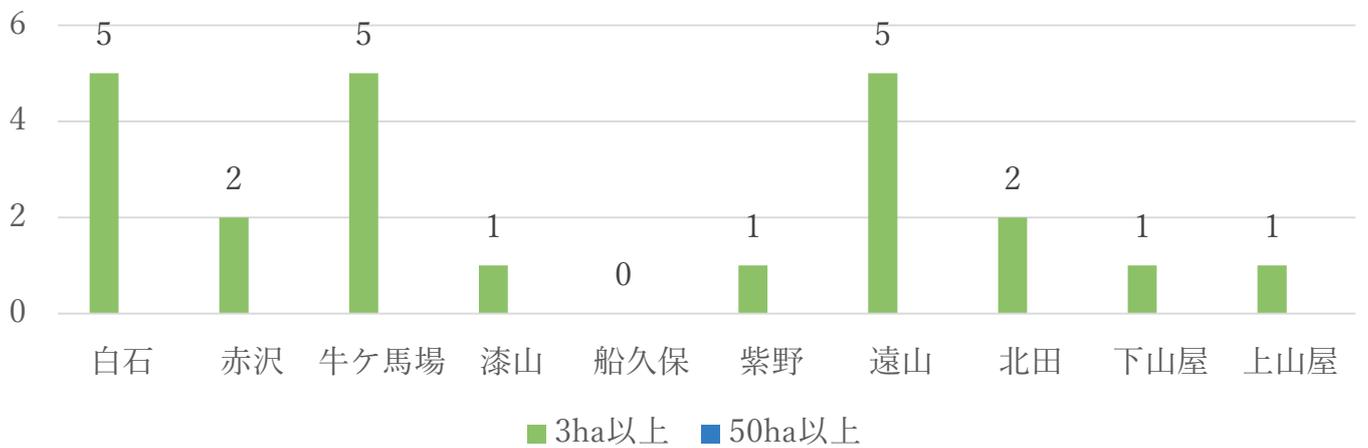
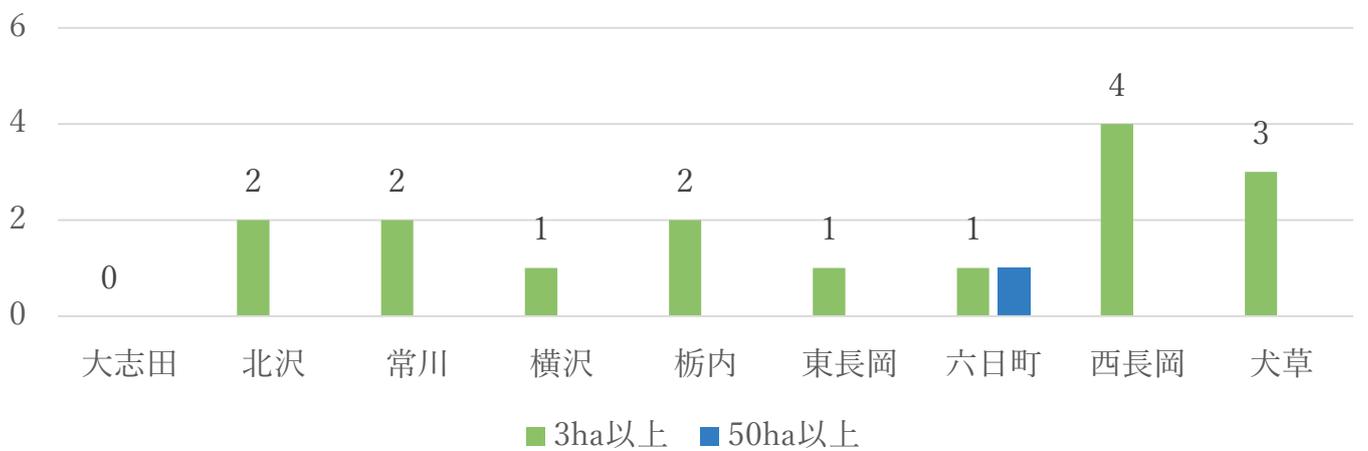


図10-9 経営耕地面積規模別経営体数（長岡）



11 集落別経営耕地面積規模別経営面積（個人経営体+団体経営体）

- 地域の経営構造改革の状況を把握するために経営耕地面積規模別経営面積を示しています。
- 地域の農地がどの経営規模階層により、経営されているかが把握できます。
- 日詰地区、古館地区、佐比内地区、赤沢地区は経営規模が小さい経営体が占める経営耕地面積が多く、水分地区、志和地区、赤石地区、彦部地区は経営規模が大きい経営体が占める経営耕地面積が多くなっています。

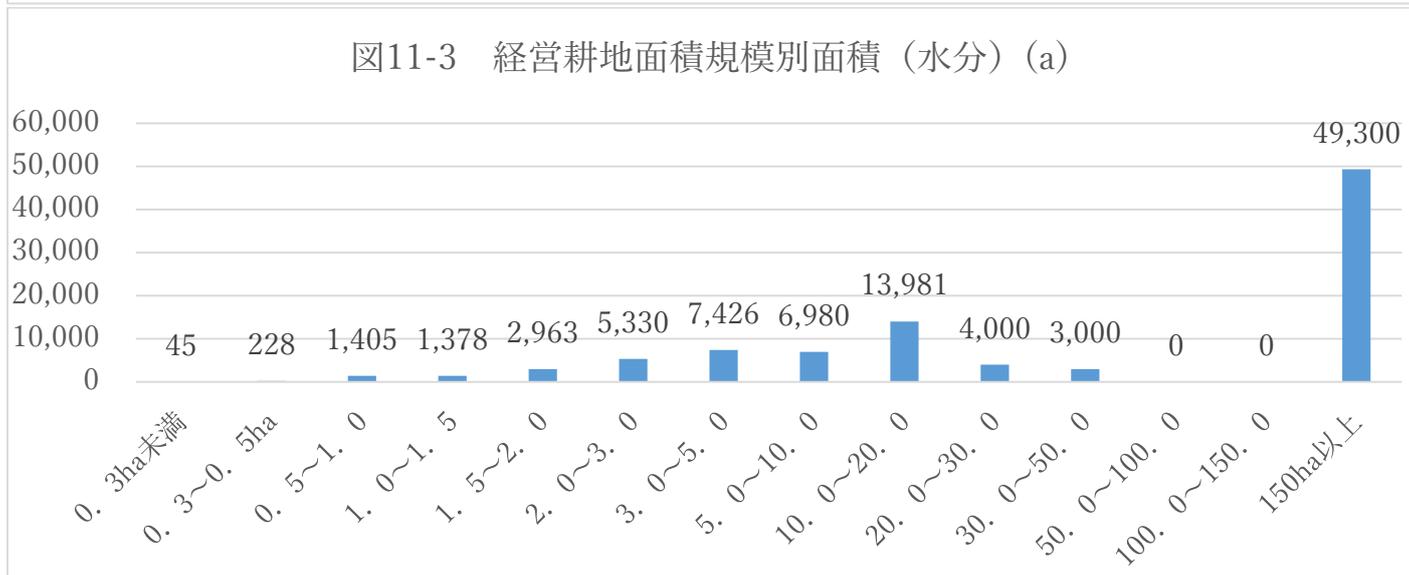
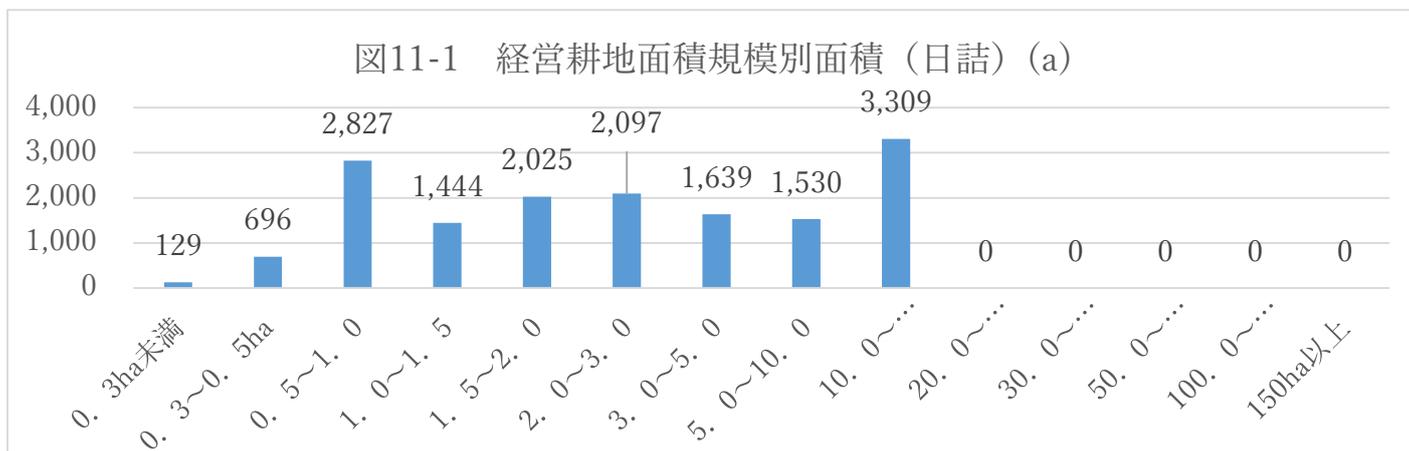


図11-4 経営耕地面積規模別面積（志和）(a)

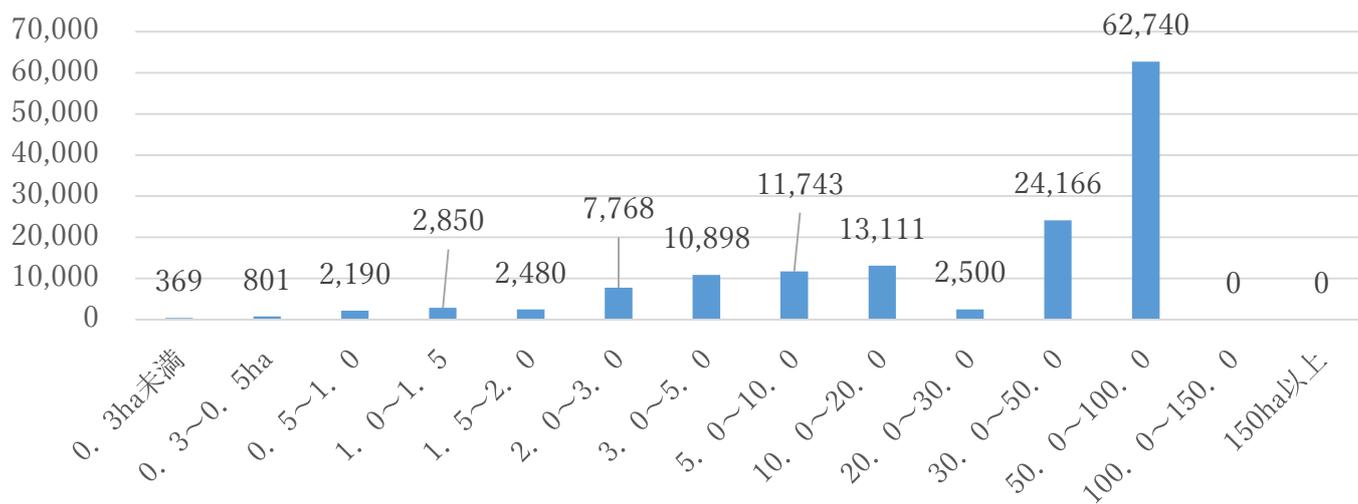


図11-5 経営耕地面積規模別面積（赤石）(a)

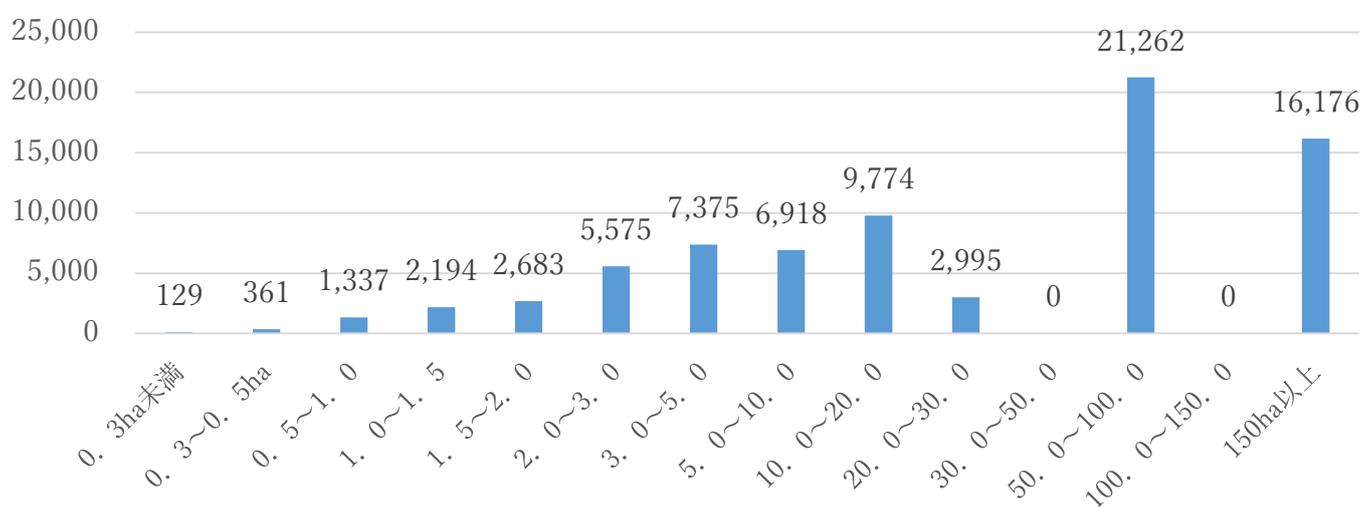


図11-6 経営耕地面積規模別面積（彦部）(a)

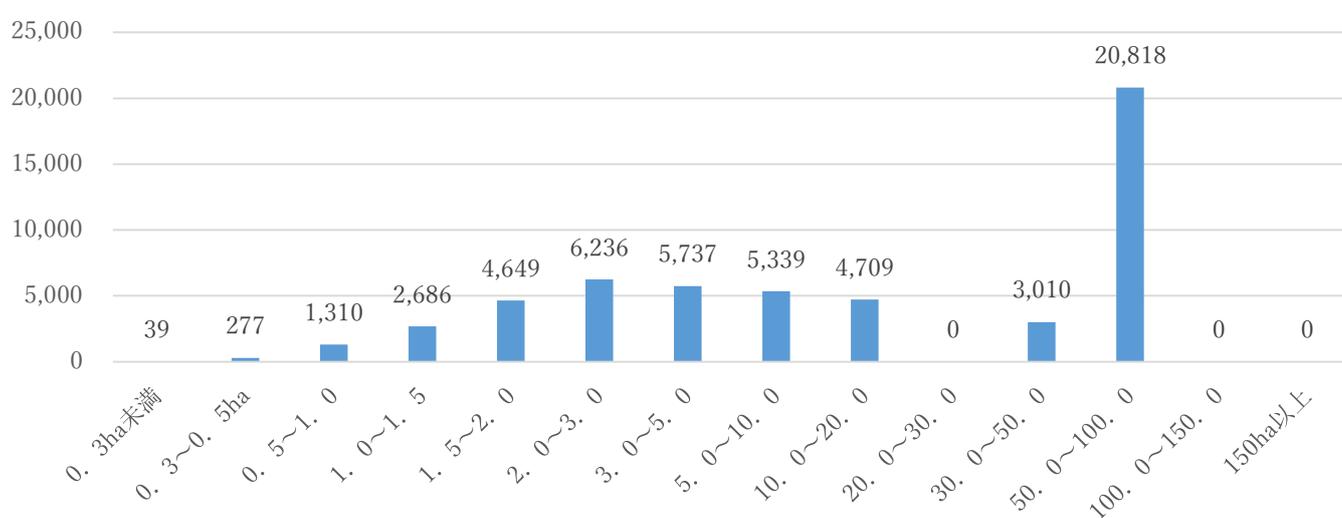


図11-7 経営耕地面積規模別面積（佐比内）(a)

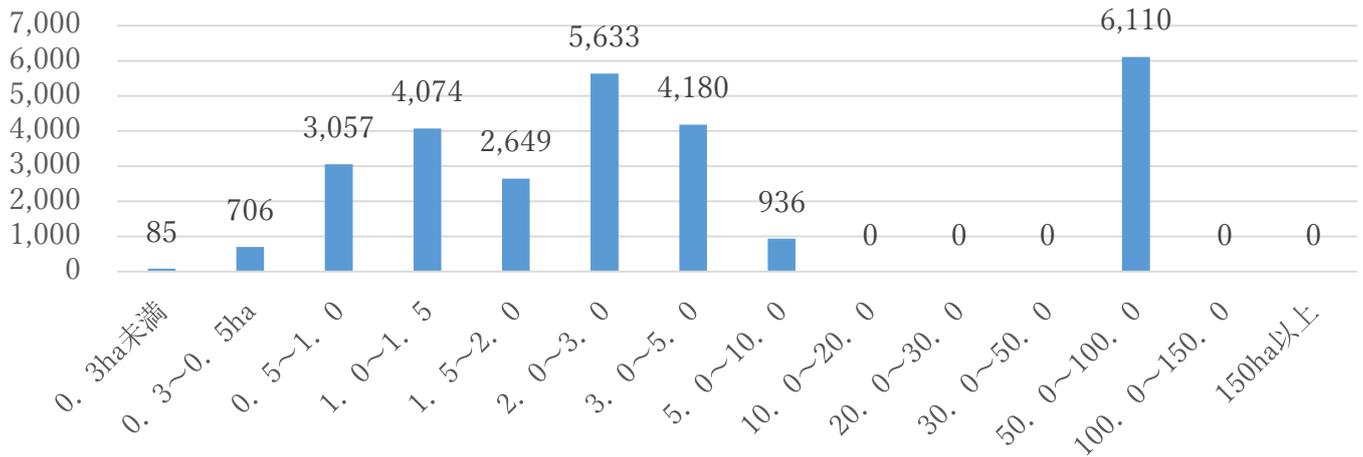


図11-8 経営耕地面積規模別面積（赤沢）(a)

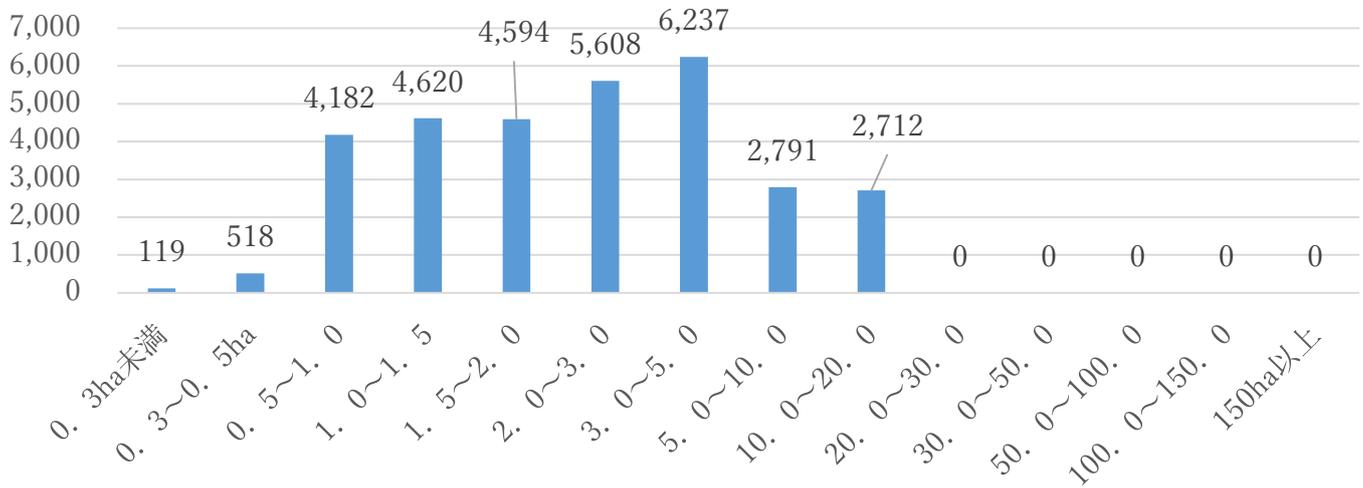
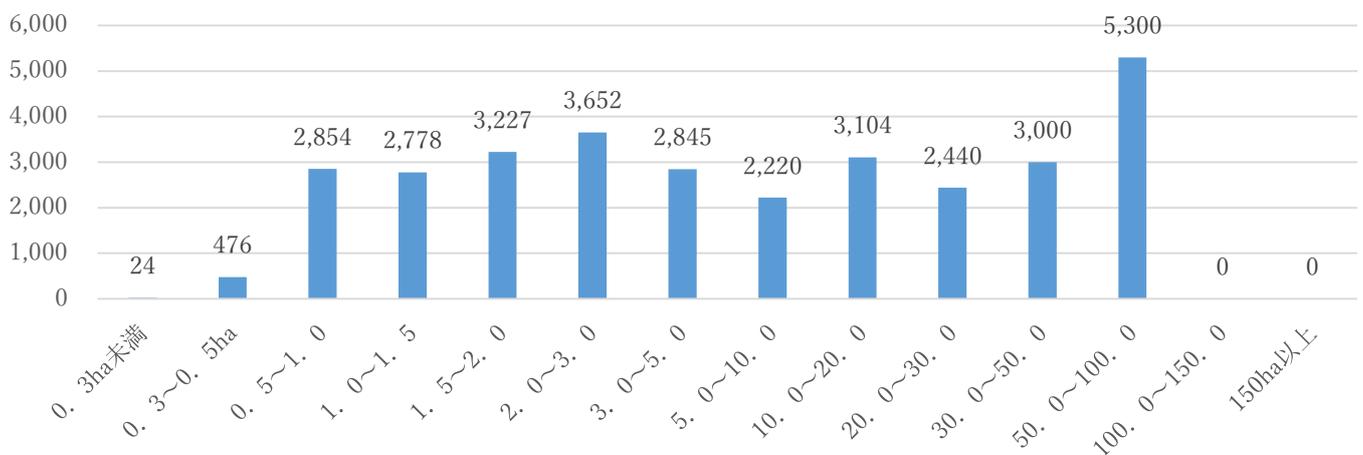


図11-9 経営耕地面積規模別面積（長岡）(a)



12 集落別田の借入面積

- 集落ごとの田の借入耕地面積を示しています。
- 田がどこの集落の経営体に集積されているのかが把握できます。

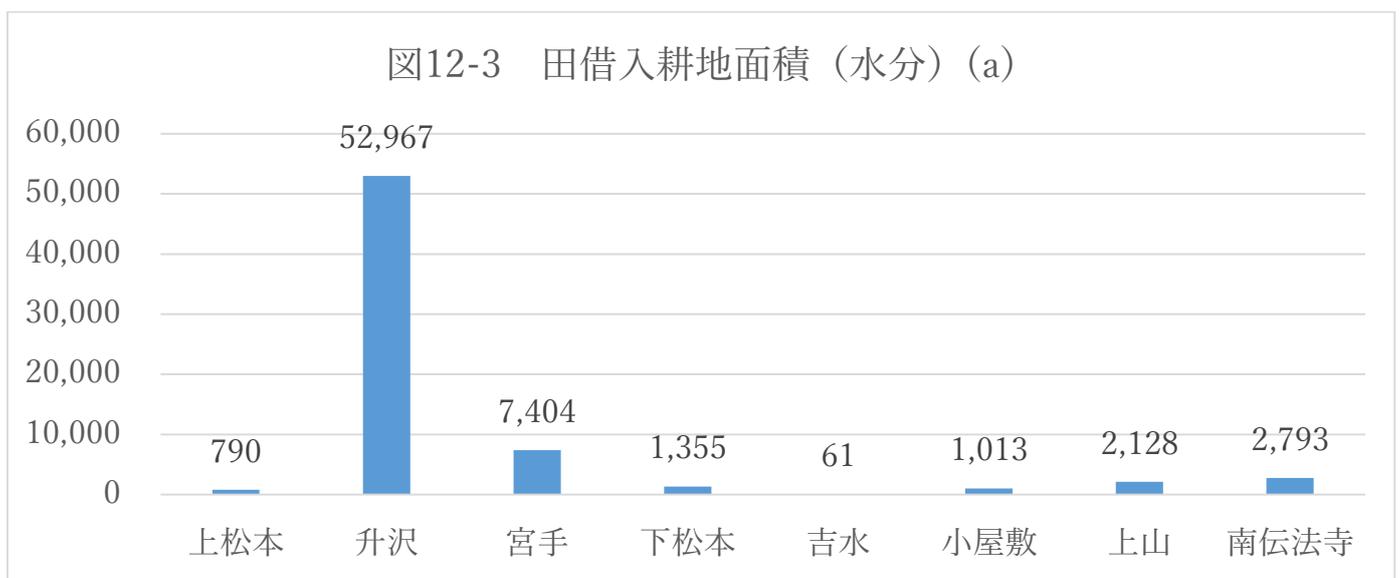
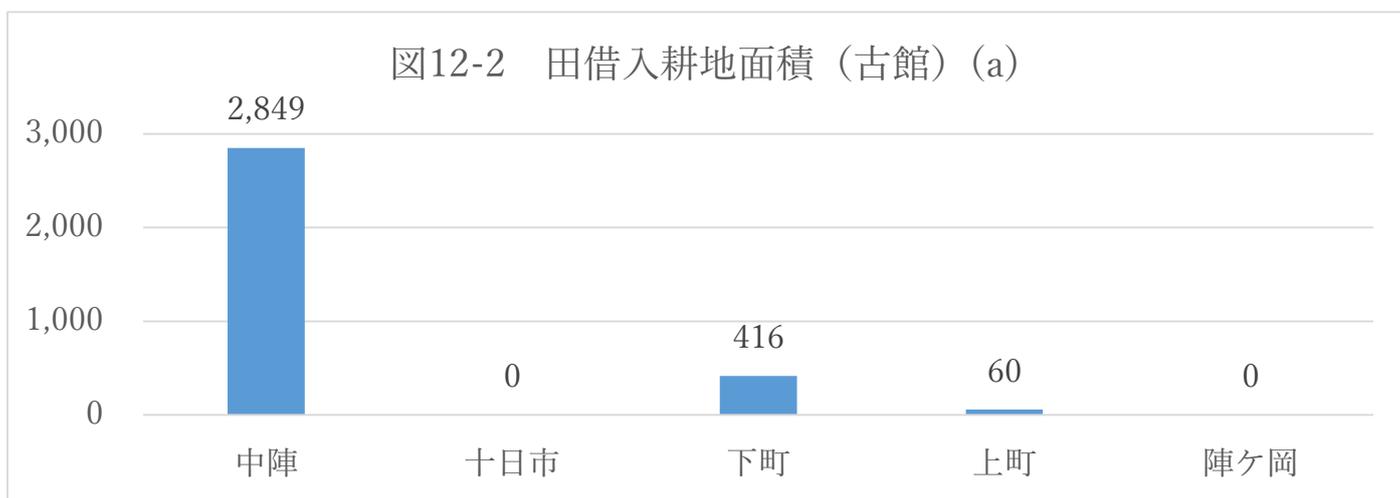
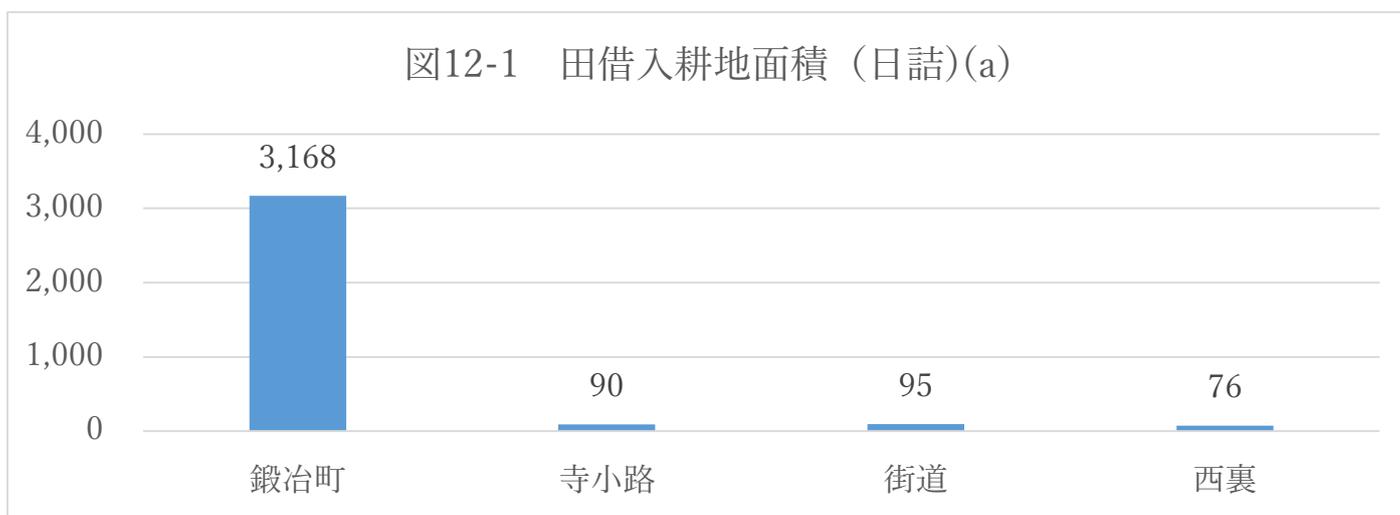


图12-4 田借入耕地面積（志和）(a)

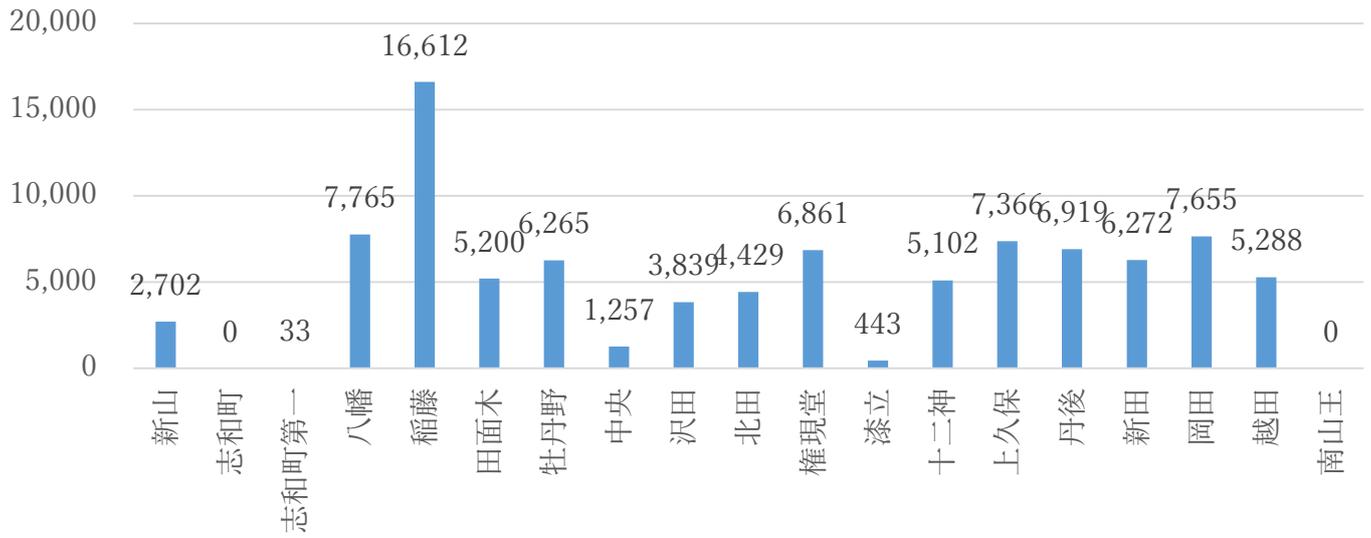


图12-5 田借入耕地面積（赤石）(a)

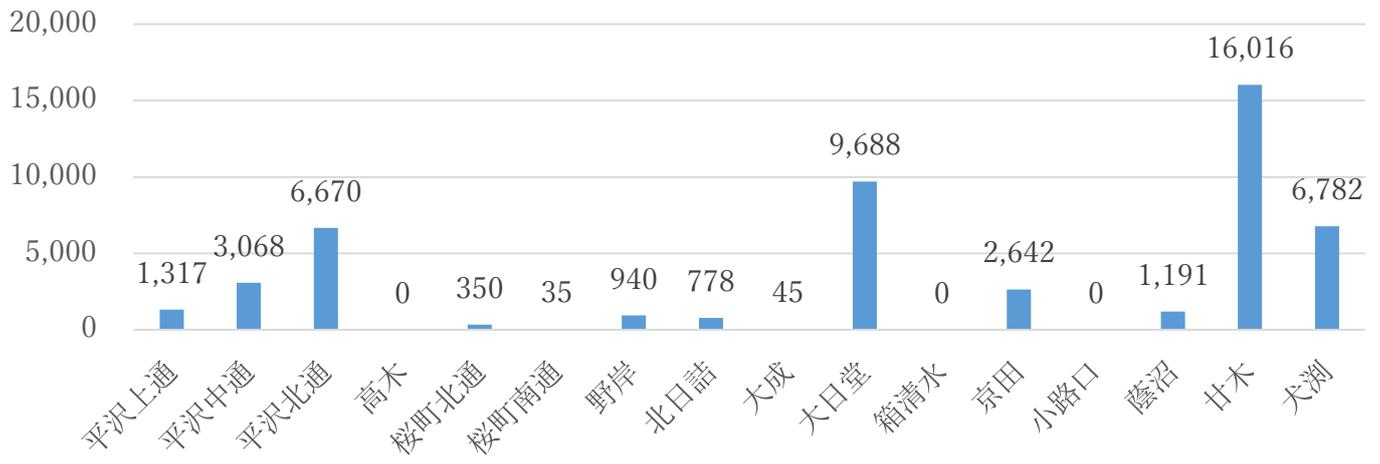


图12-6 田借入耕地面積（彦部）(a)

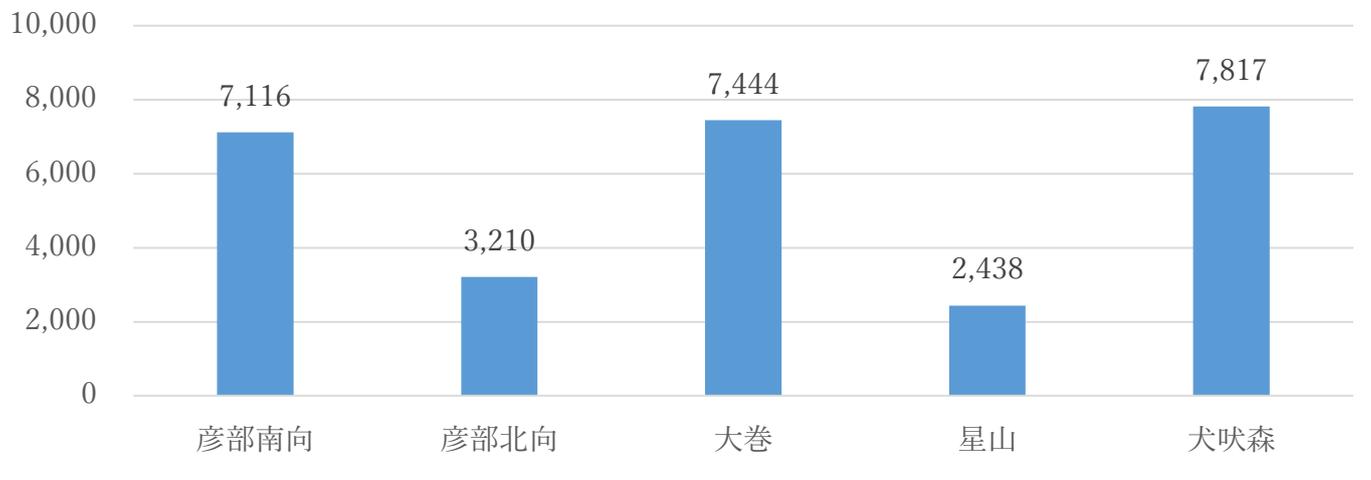


図12-7 田借入耕地面積（佐比内）(a)

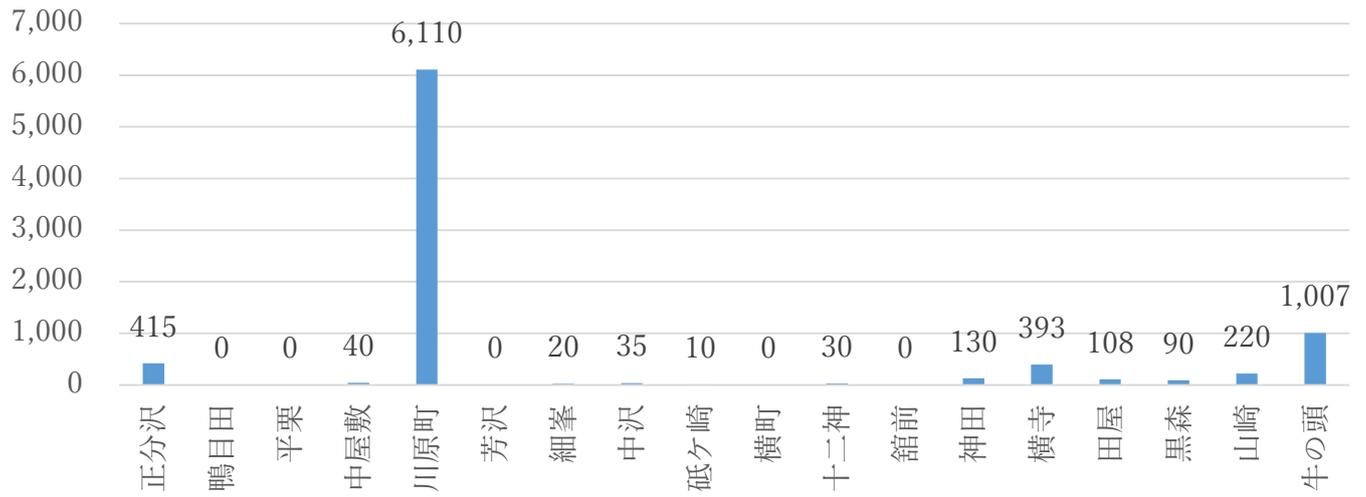


図12-8 田借入耕地面積（赤沢）(a)

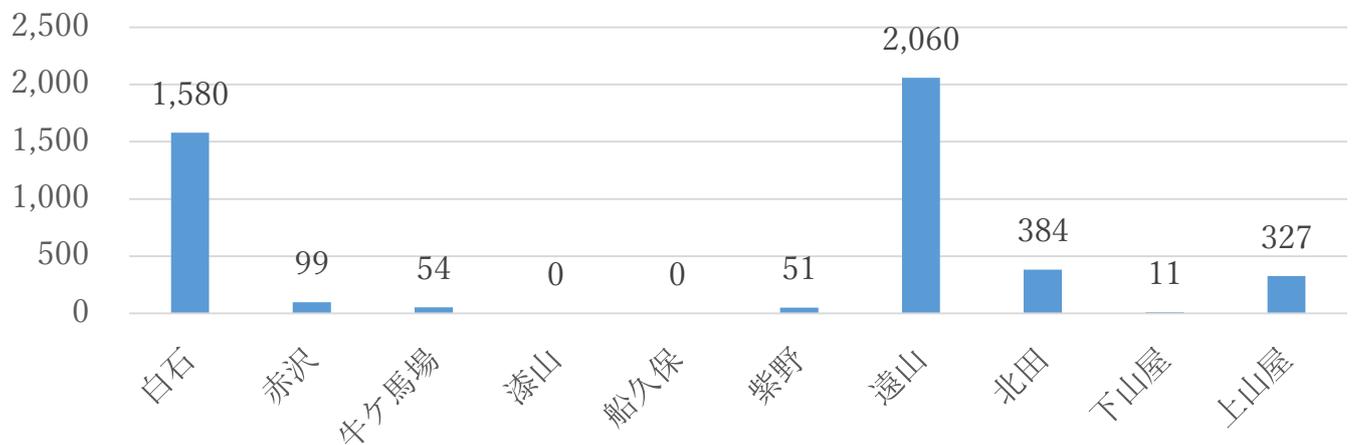
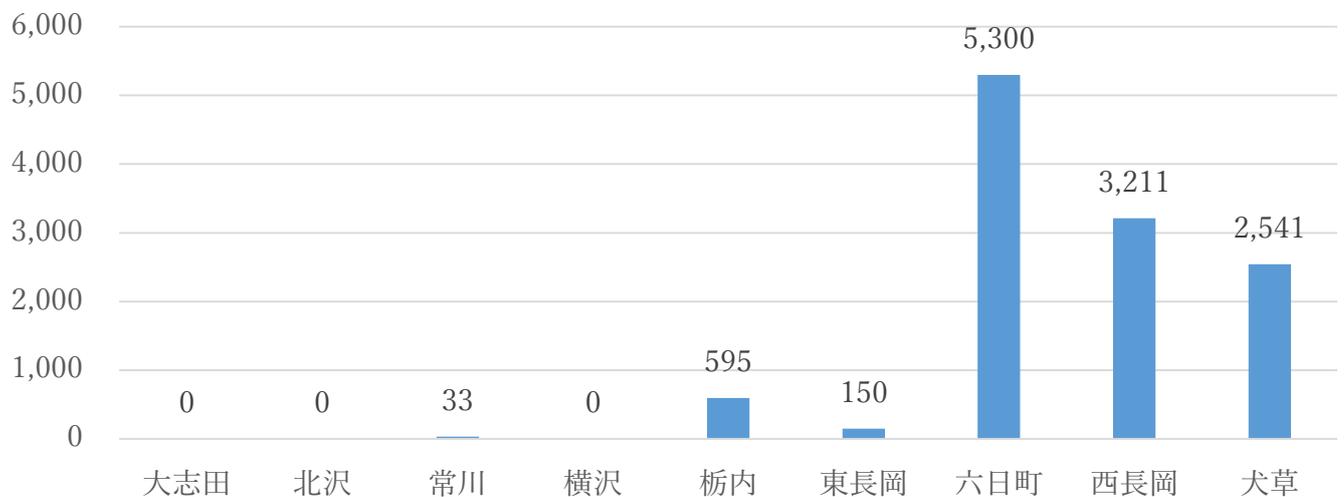


図12-9 田借入耕地面積（長岡）(a)



13 集落別田の貸付面積

- 集落ごとの田の貸付面積を示しています。
- 田の貸付面積が多い集落から田の借入面積が多い集落に田が集積されていると推察されます。
- ただし、町全体の田の借入面積の 2,718ha に対し、町全体の田の貸付面積は 386ha と大きな差異があることから、貸付面積の信頼性が低いのではないかと推察されます。

図13-1 田貸付耕地面積（日詰）（a）

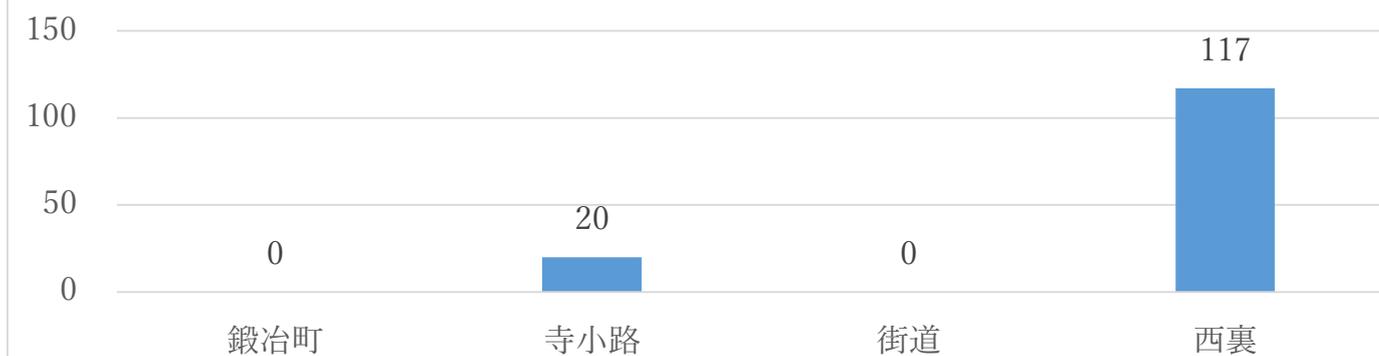


図13-2 田貸付耕地面積（古館）（a）

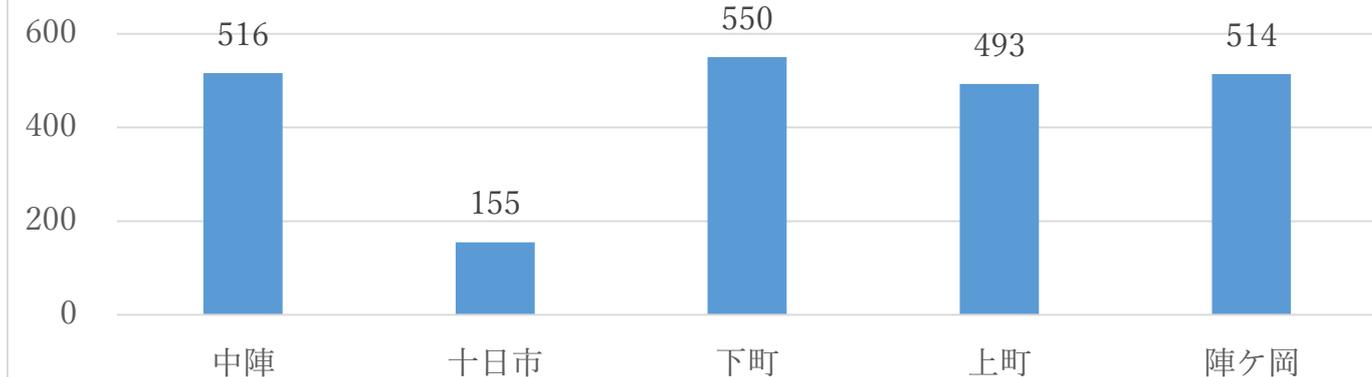


図13-3 田貸付耕地面積（水分）（a）

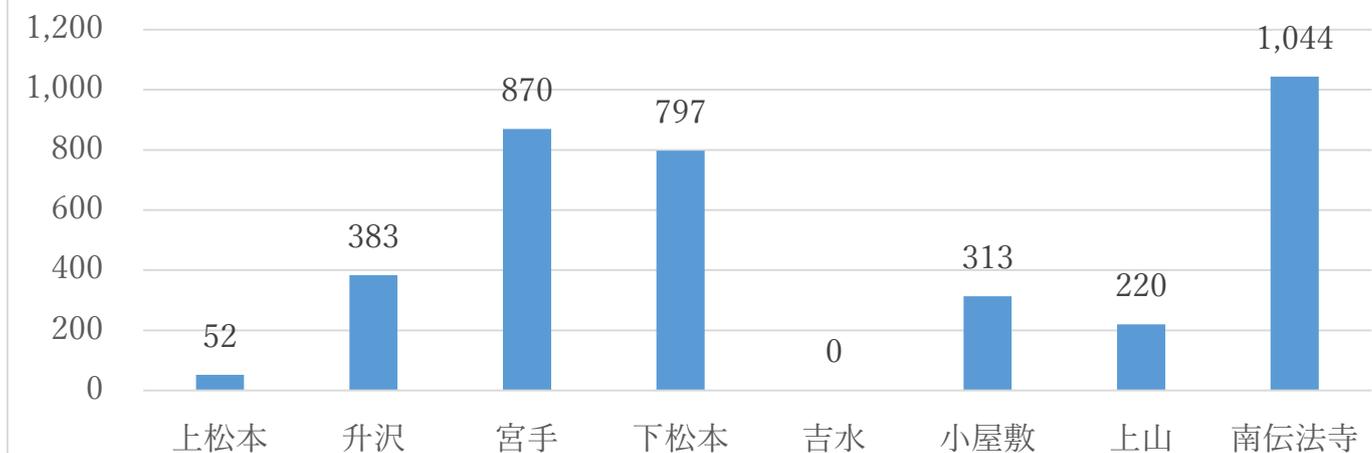


図13-4 田貸付耕地面積（志和）(a)

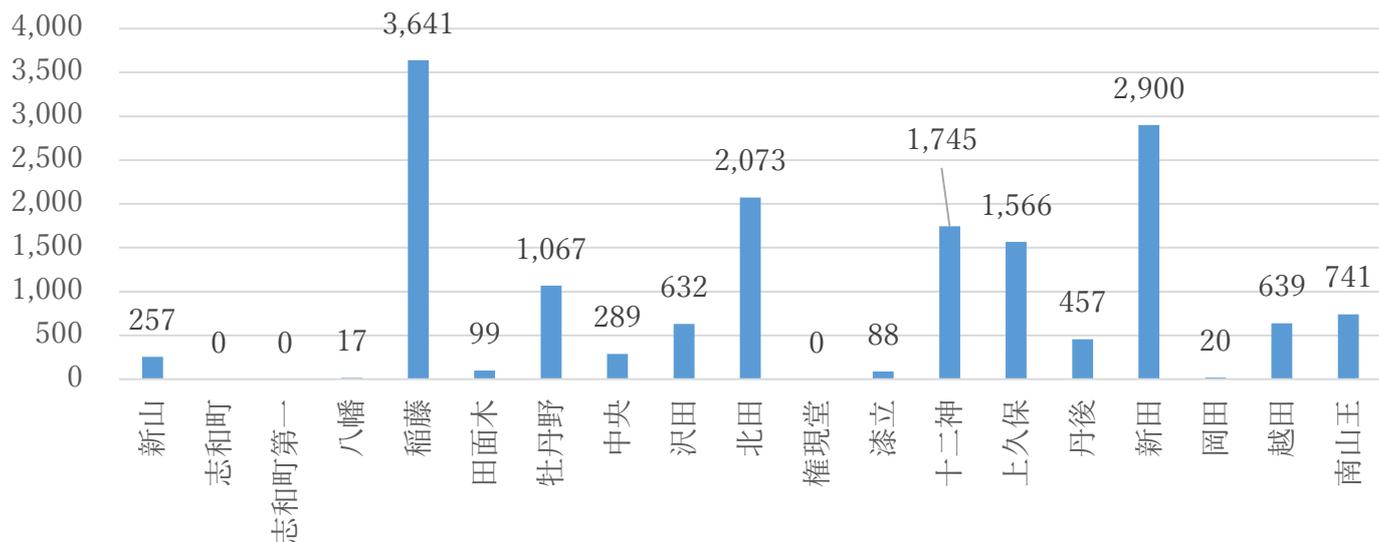


図13-5 田貸付耕地面積（赤石）(a)

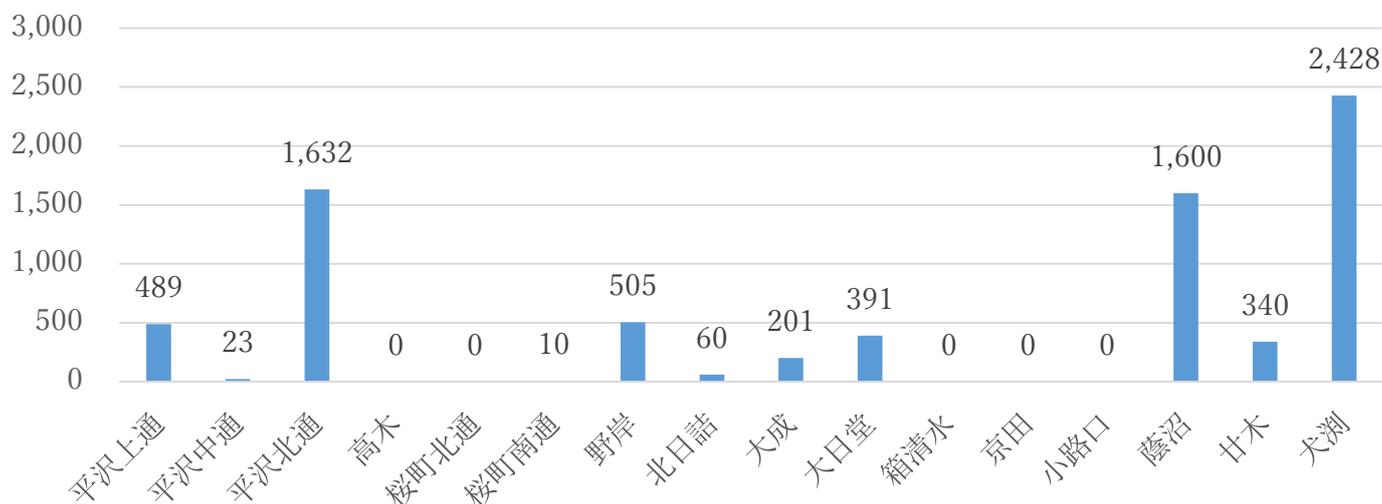


図13-6 田貸付耕地面積（彦部）(a)

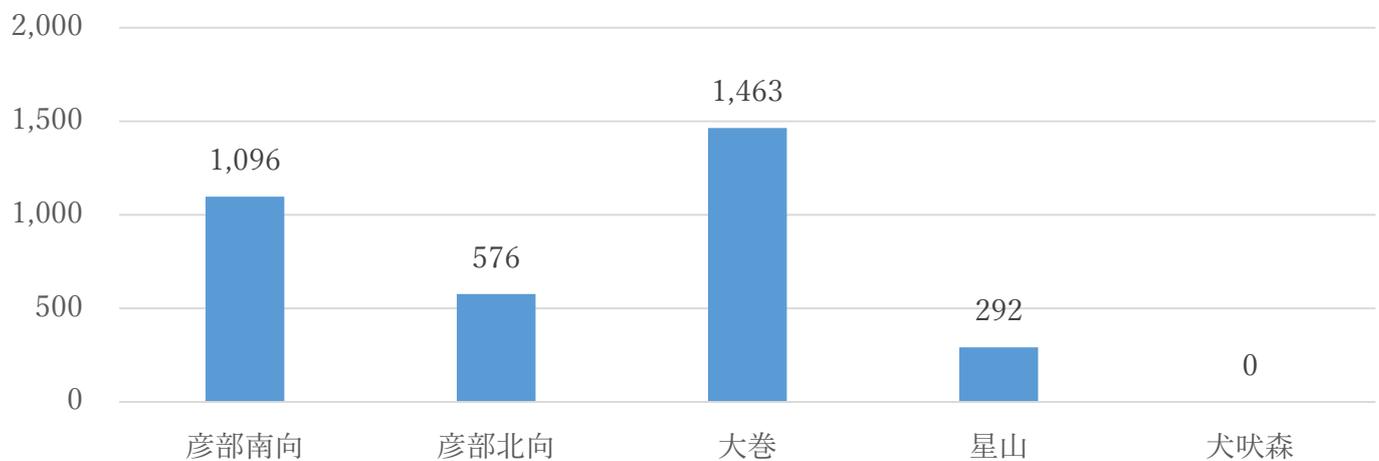


図13-7 田貸付耕地面積（佐比内）(a)

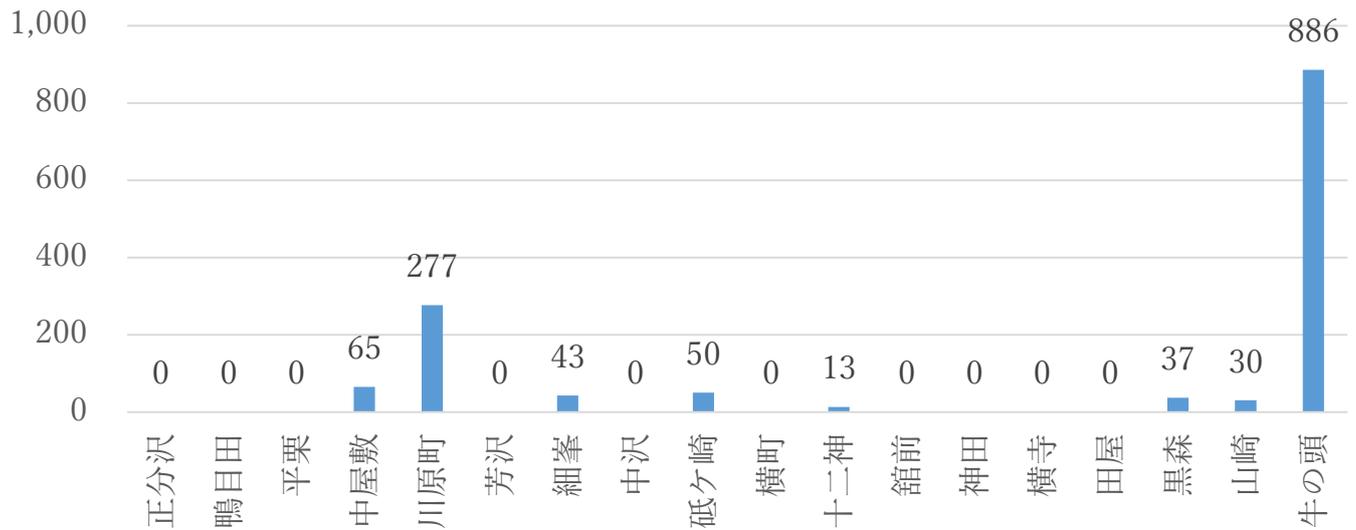


図13-8 田貸付耕地面積（赤沢）(a)

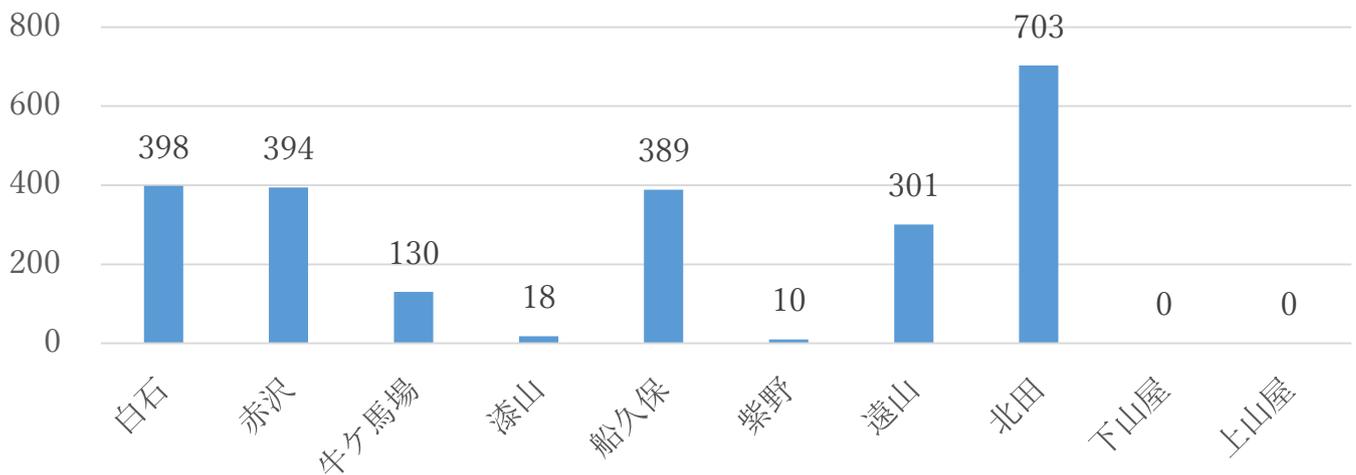
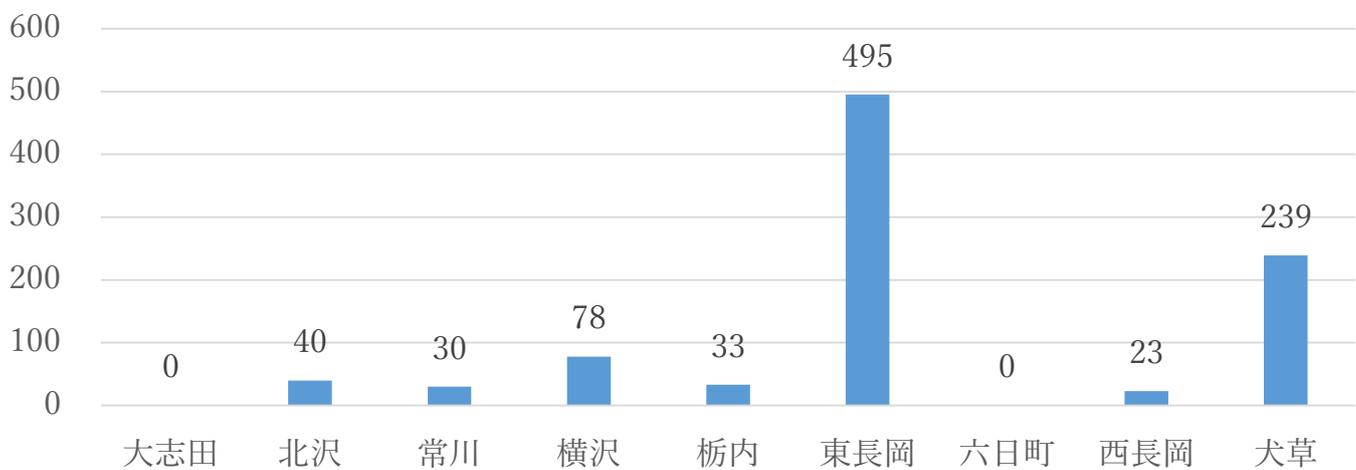


図13-9 田貸付耕地面積（長岡）(a)



14 集落別耕地面積

○集落の耕地面積を示しています。

※農林業センサスは属人主義のため、経営耕地面積には、集落外から借入している耕地面積も含まれます。

図14-1 耕地面積（日詰）（ha）

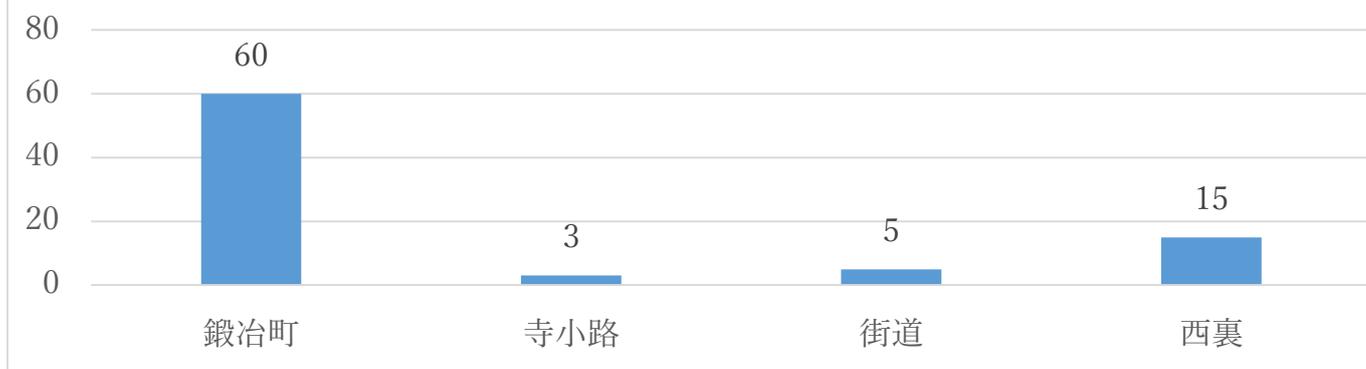


図14-2 耕地面積（古館）（ha）

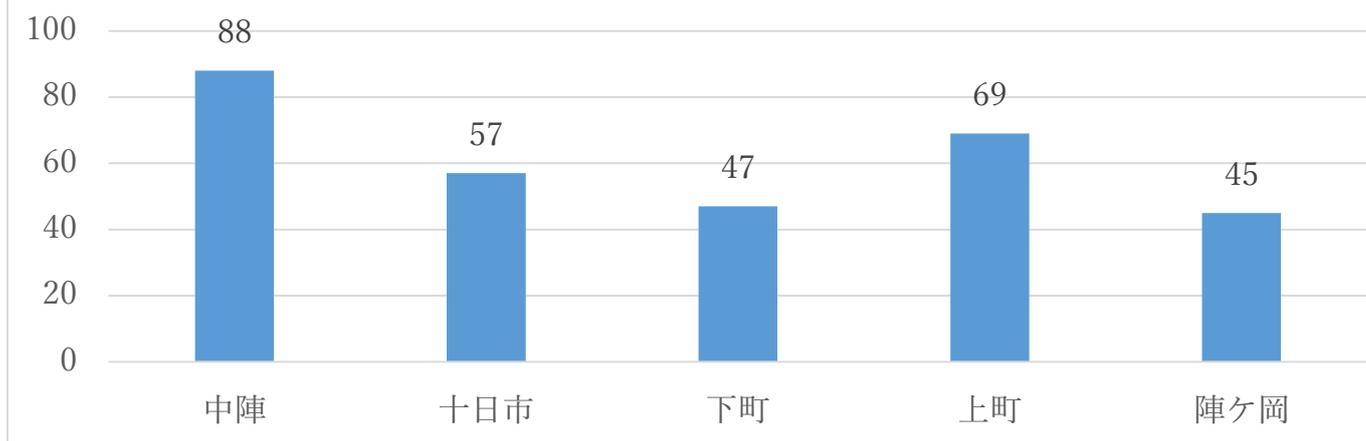


図14-3 耕地面積（水分）（ha）

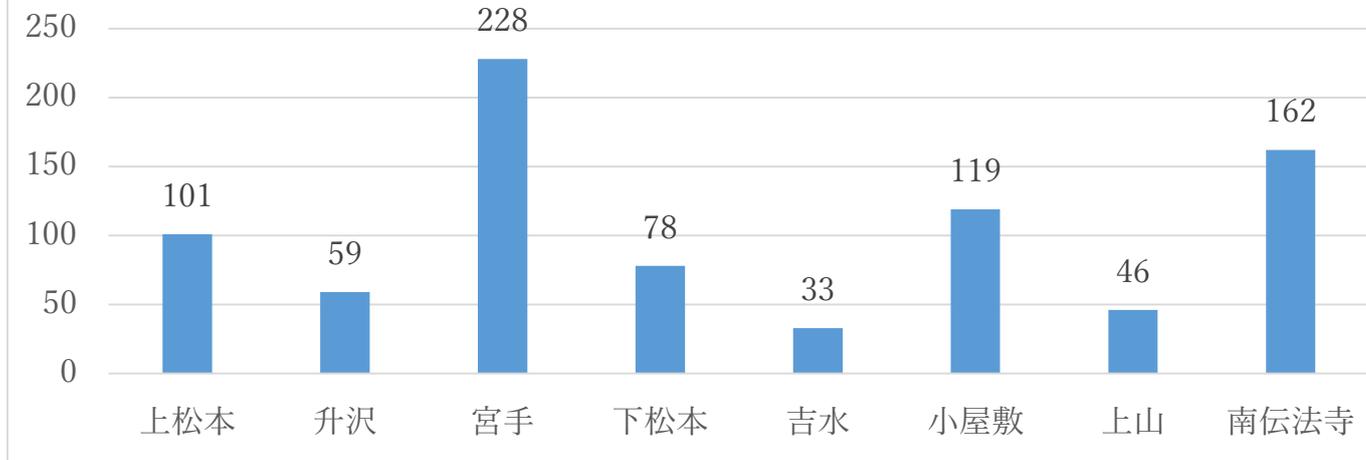


図14-4 耕地面積（志和）(ha)

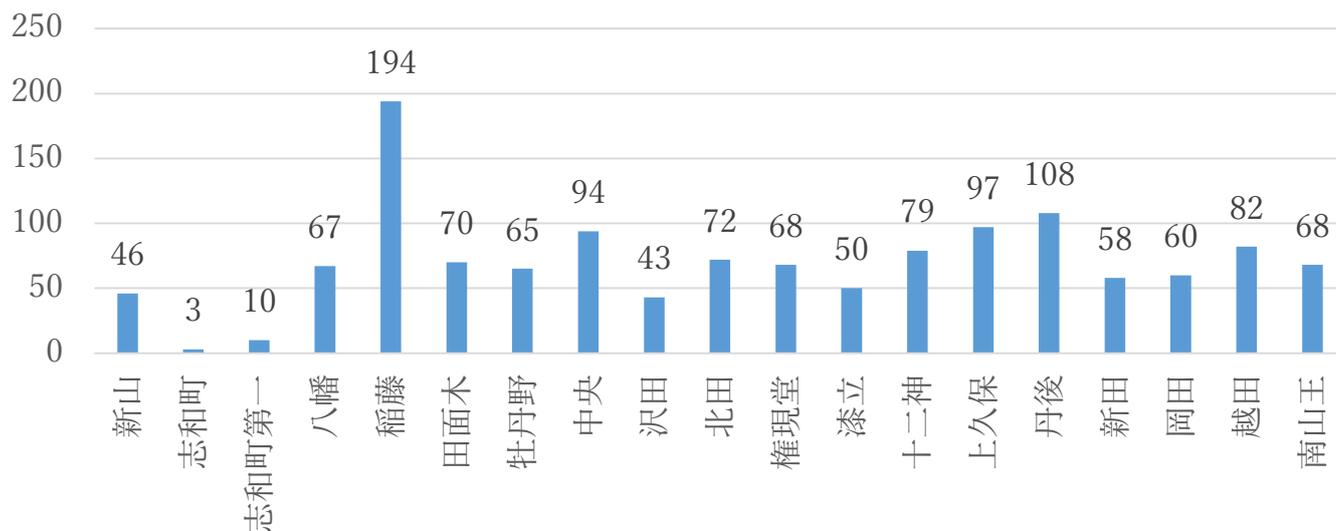


図14-5 耕地面積（赤石）(ha)

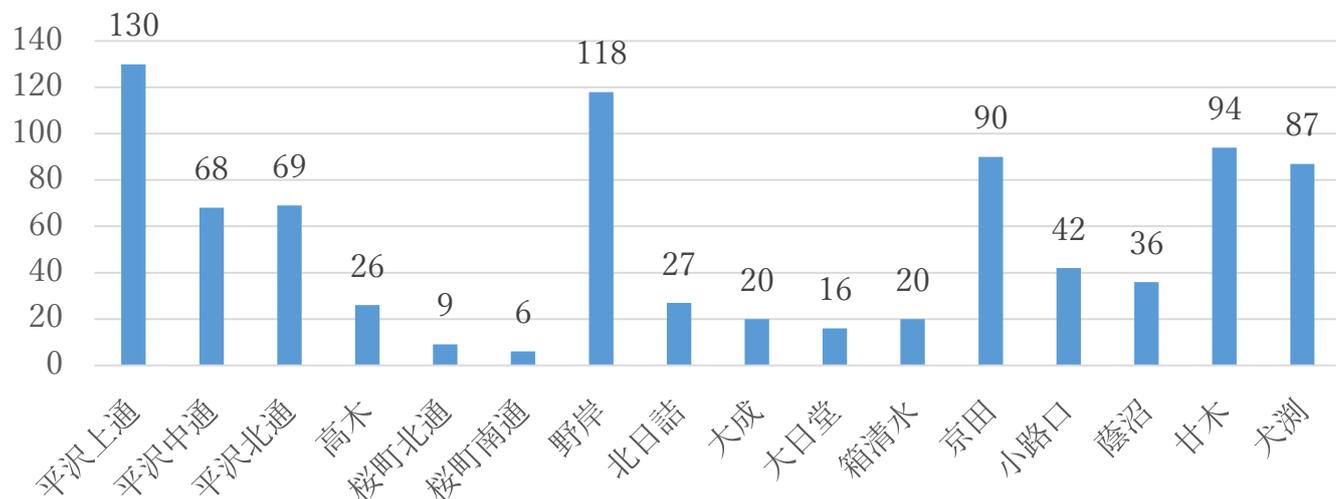


図14-6 耕地面積（彦部）(ha)

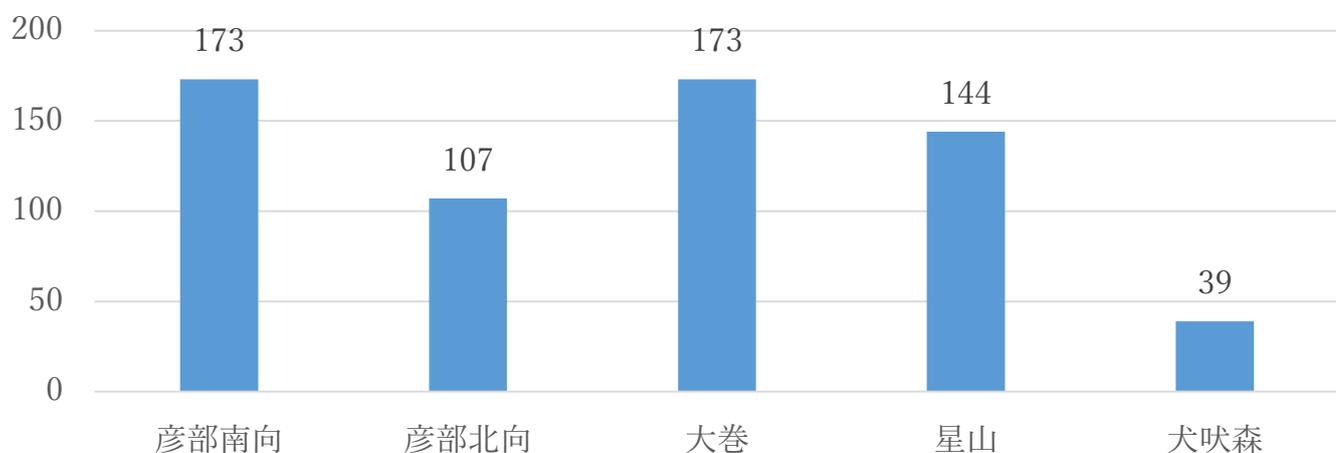


図14-7 耕地面積（佐比内）（ha）

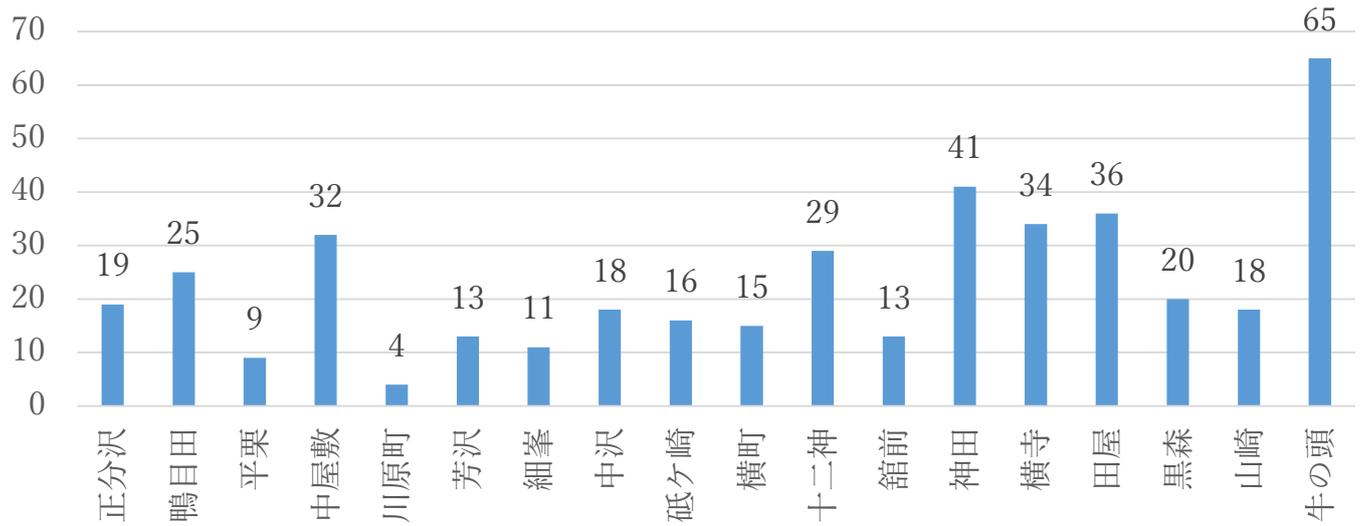


図14-8 耕地面積（赤沢）（ha）

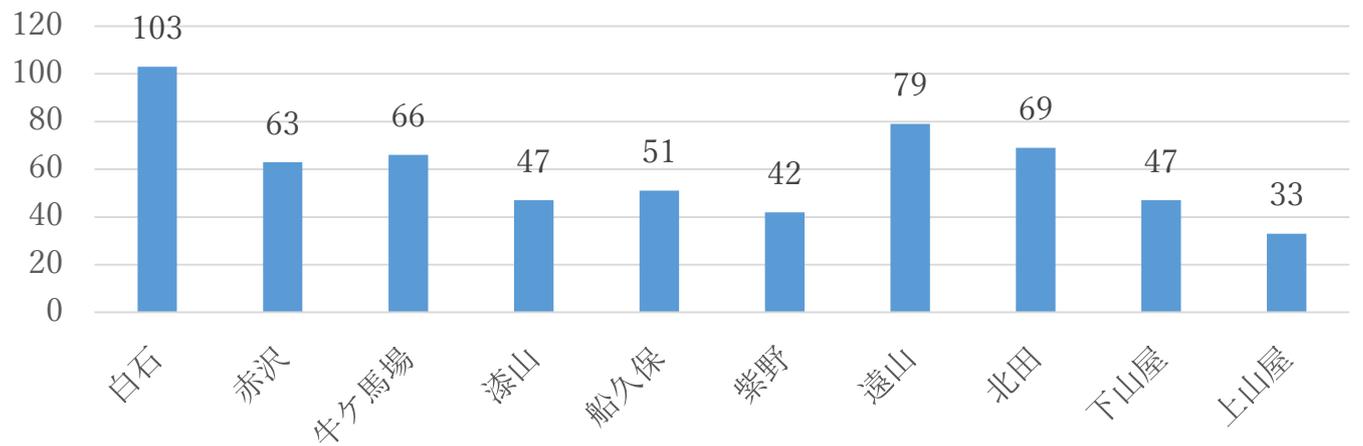
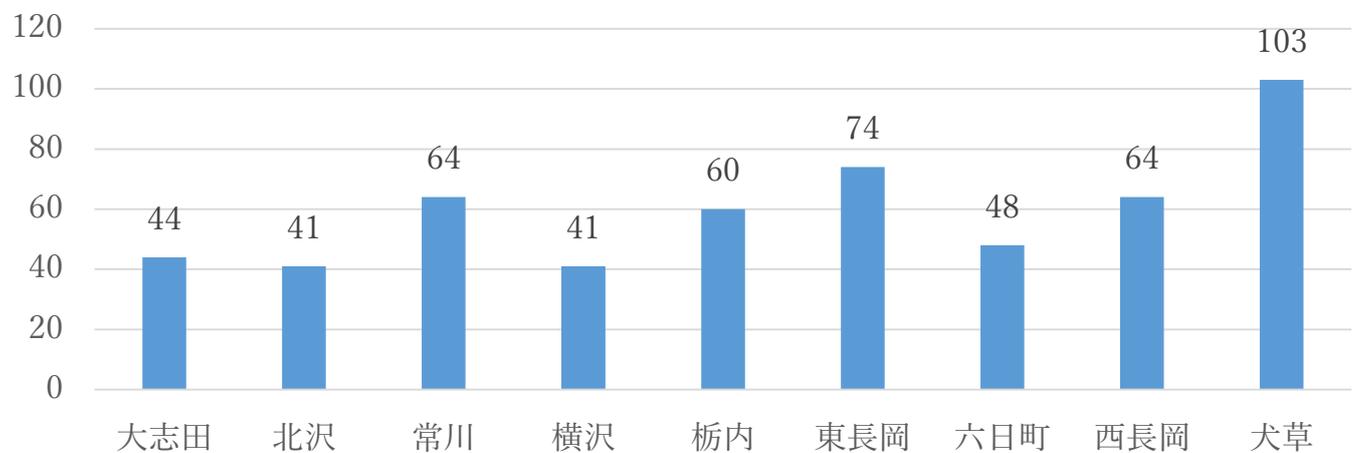


図14-9 耕地面積（長岡）



15 集落別5年以内に引き継ぐ後継者を確保している経営体数

○今後も地域の担い手として想定される経営体として5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している経営体数を示しています。

図15-1 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（日詰）

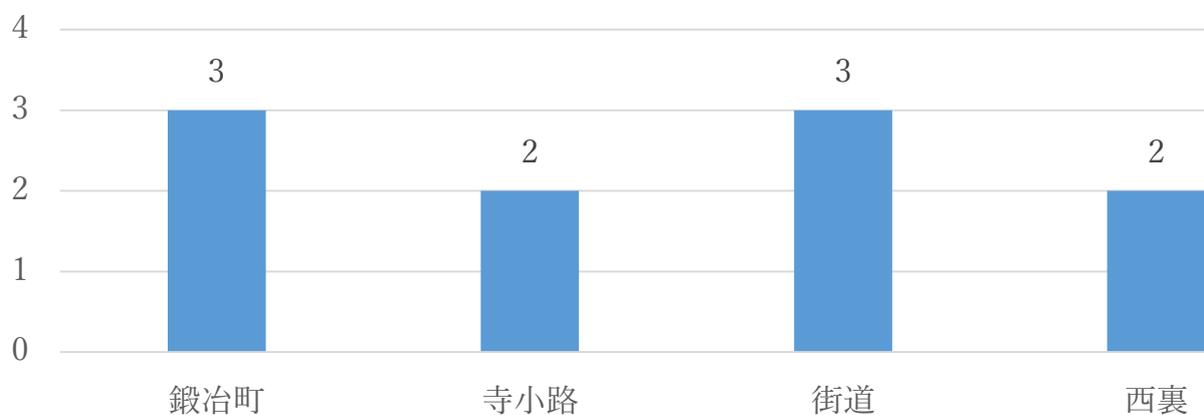


図15-2 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（古館）

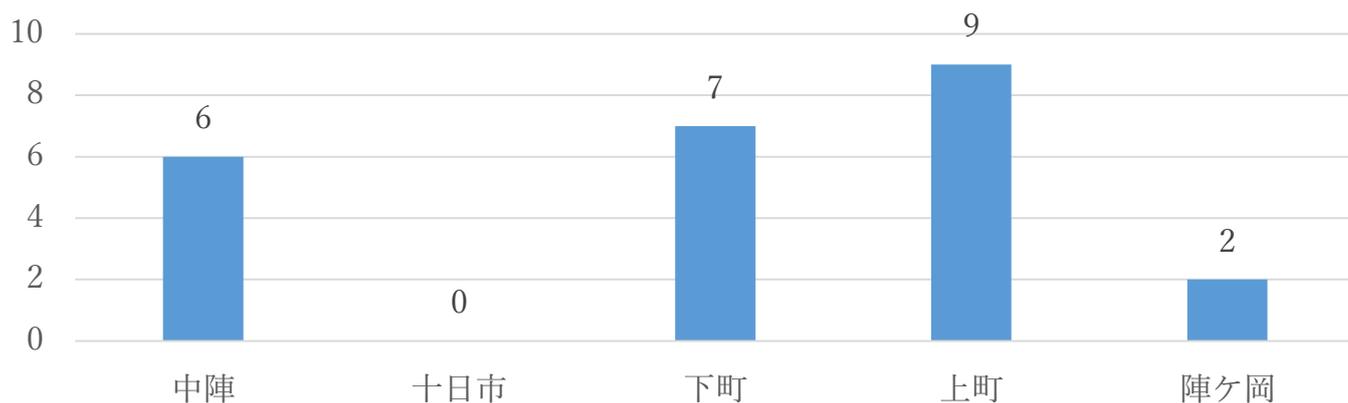


図15-3 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（水分）

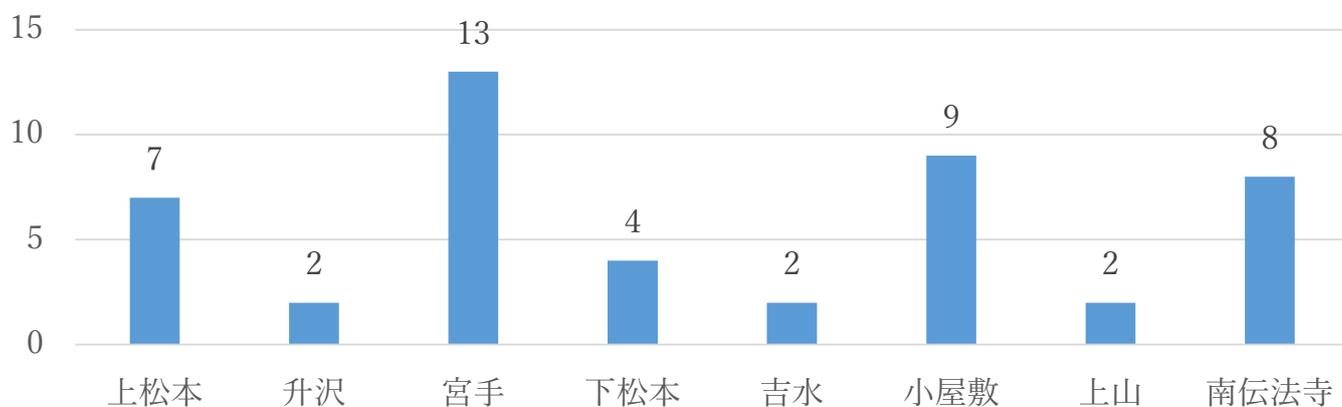


図15-4 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（志和）

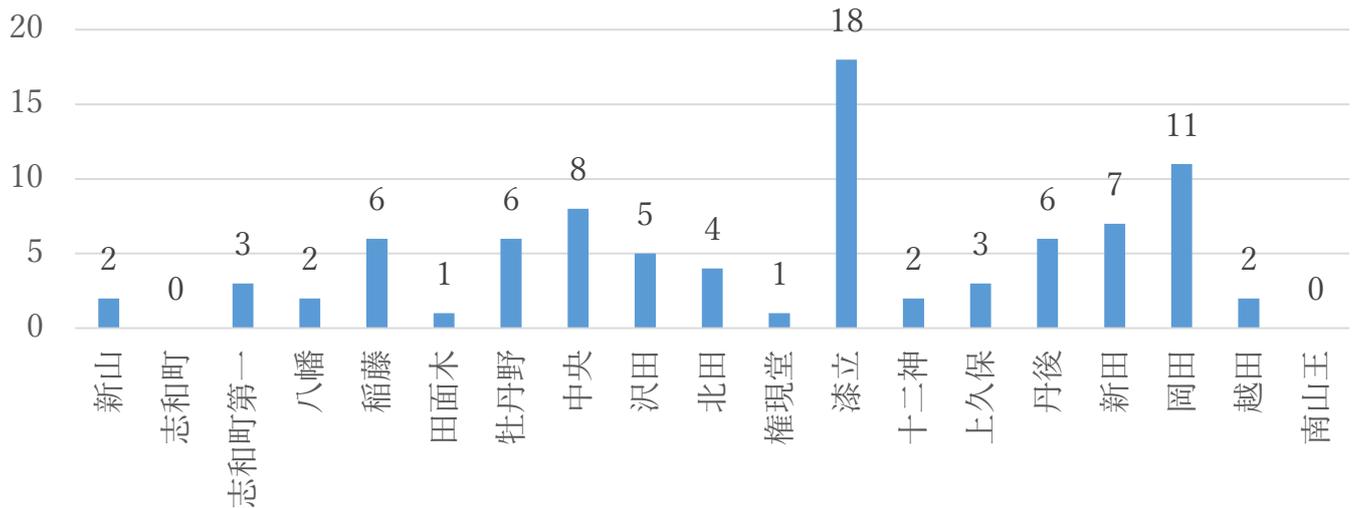


図15-5 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（赤石）

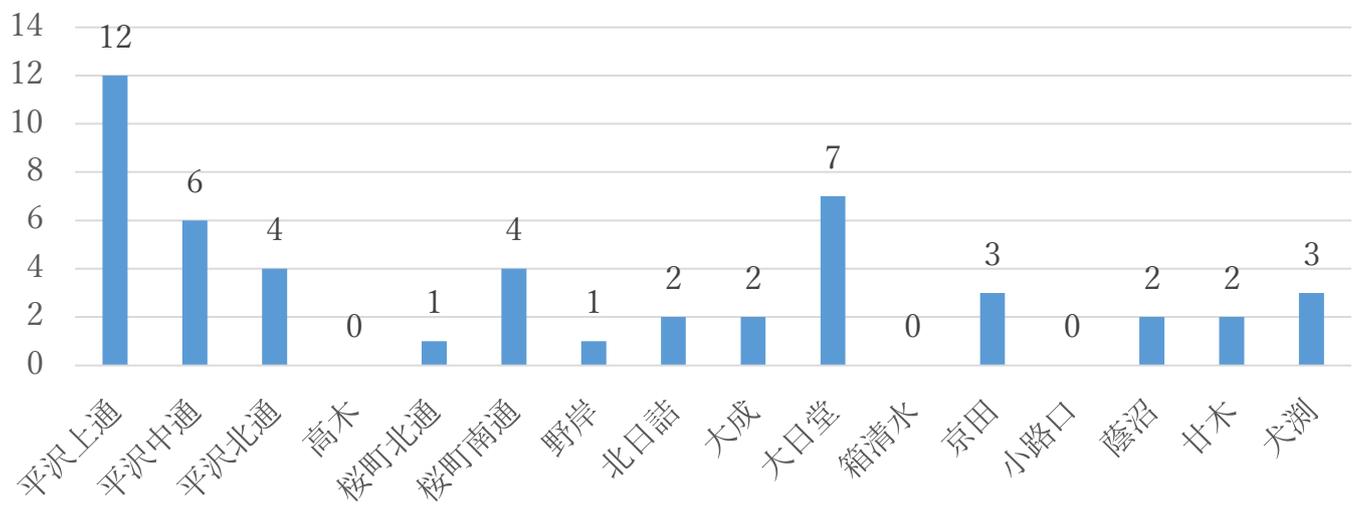


図15-6 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（彦部）

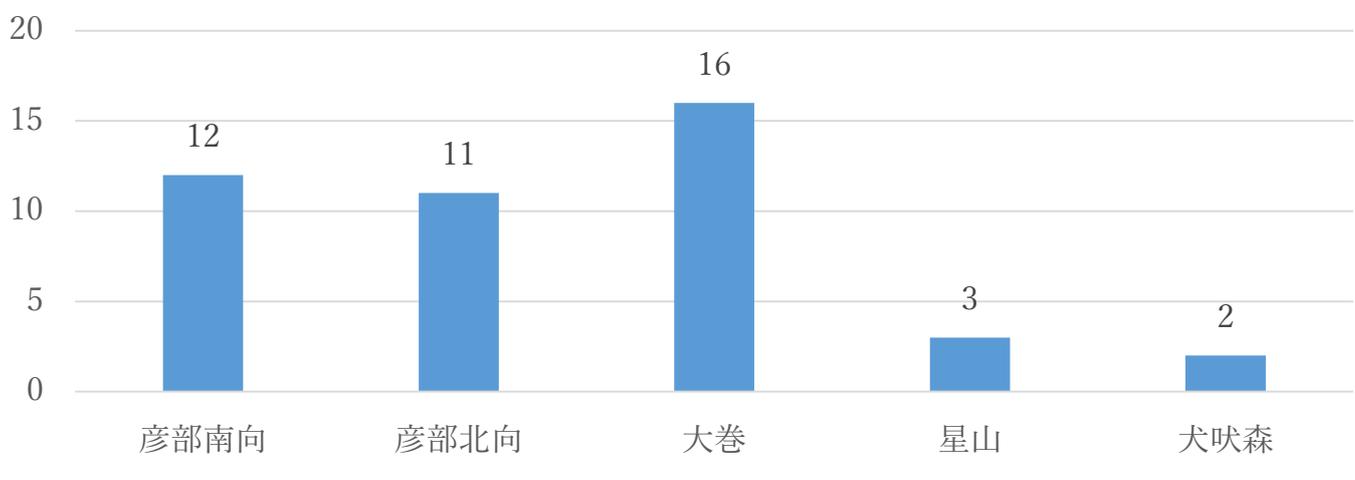


図15-7 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（佐比内）

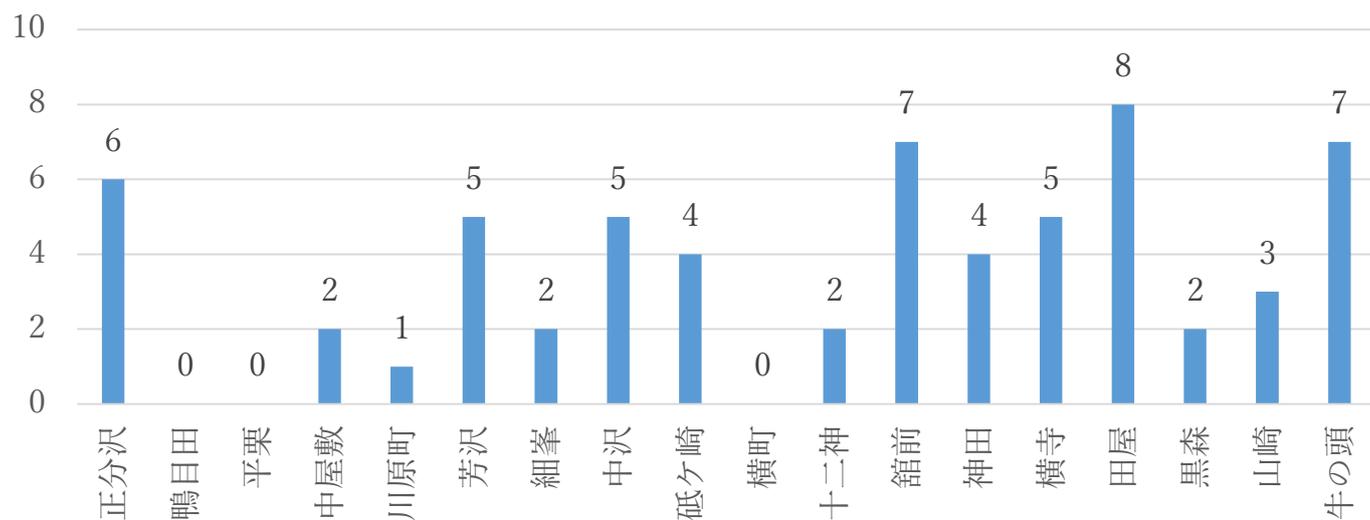


図15-8 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（赤沢）

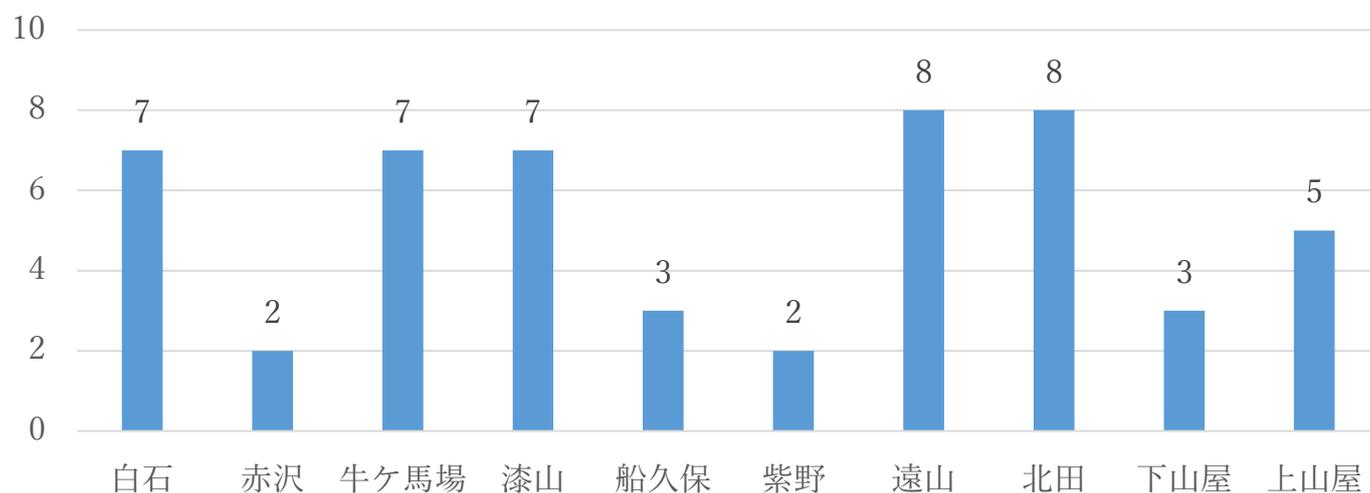
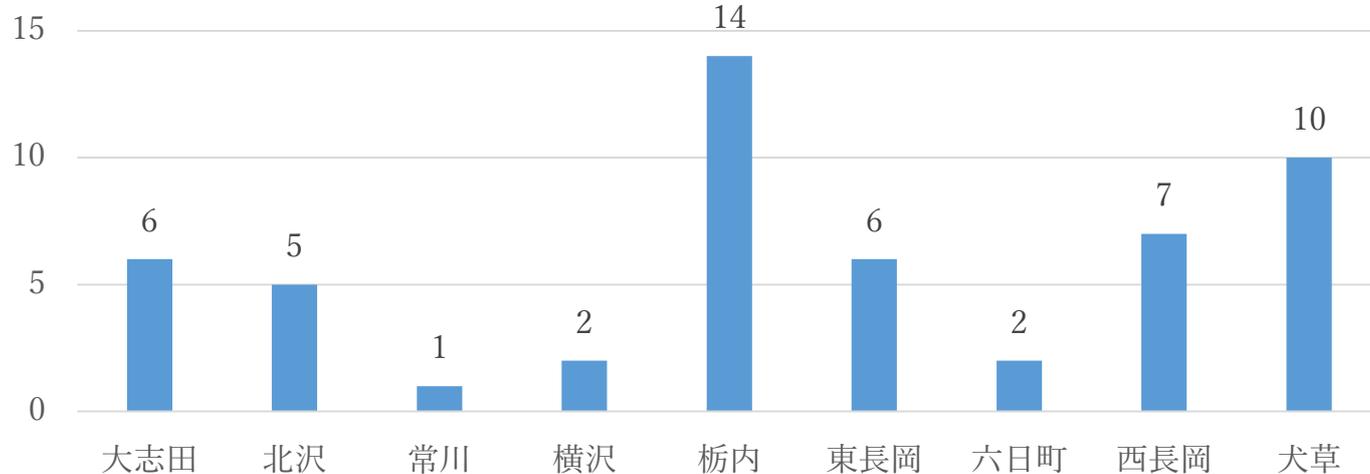


図15-9 5年以内に引き継ぐ後継者確保経営体数（長岡）



16 集落別年齢別基幹的農業従事者数（64歳以下、75歳以上）

○64歳以下の生産年齢人口の基幹的農業従事者と、75歳以上の後期高齢者の基幹的農業従事者数を示しています。

○生産年齢人口の基幹的農業従事者は、今後10年は営農が可能と考えられますが、75歳以上の後期高齢者の基幹的農業従事者は、間もなくリタイアすると考えられます。

※基幹的農業従事者とは、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

図16-1 基幹農業従事者数（日詰）

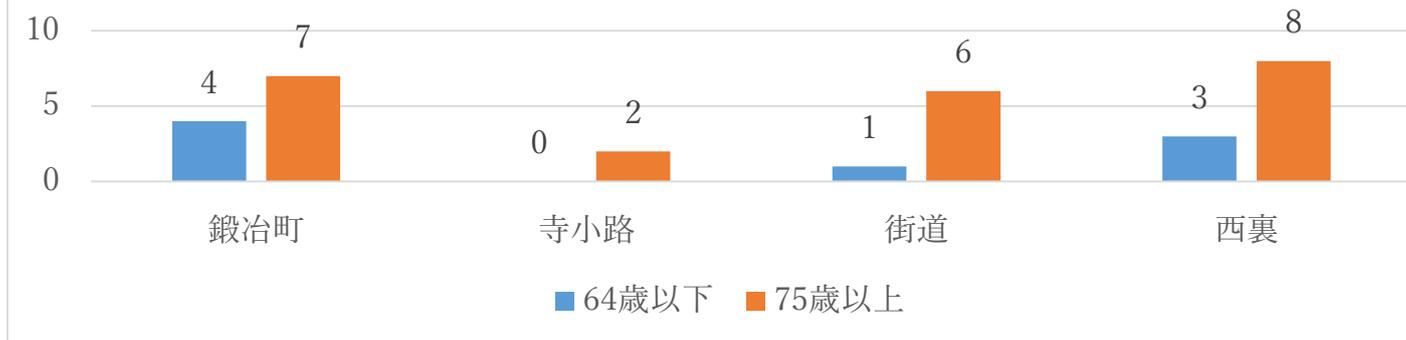


図16-2 基幹的農業従事者数（古館）

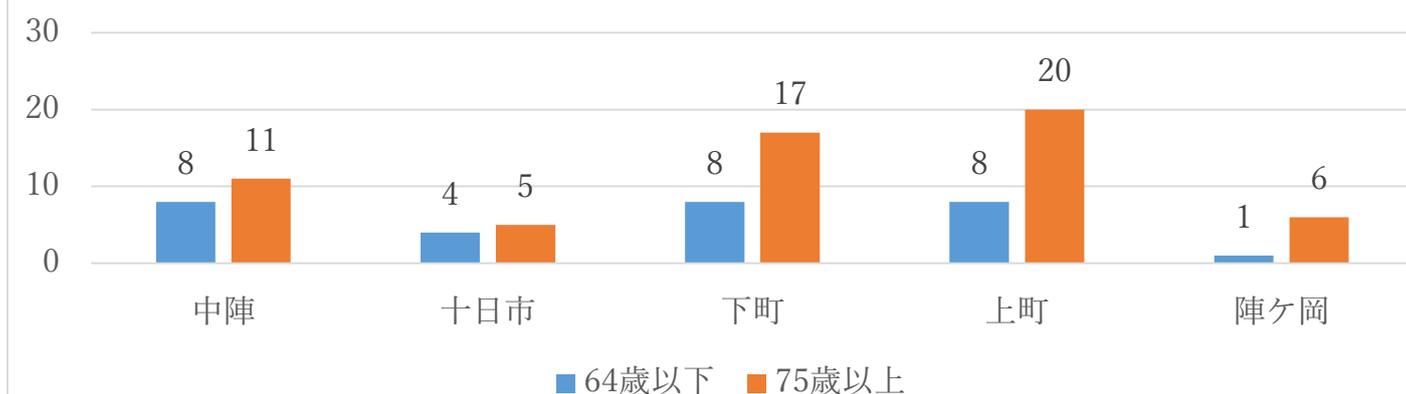


図16-3 基幹的農業従事者数（水分）

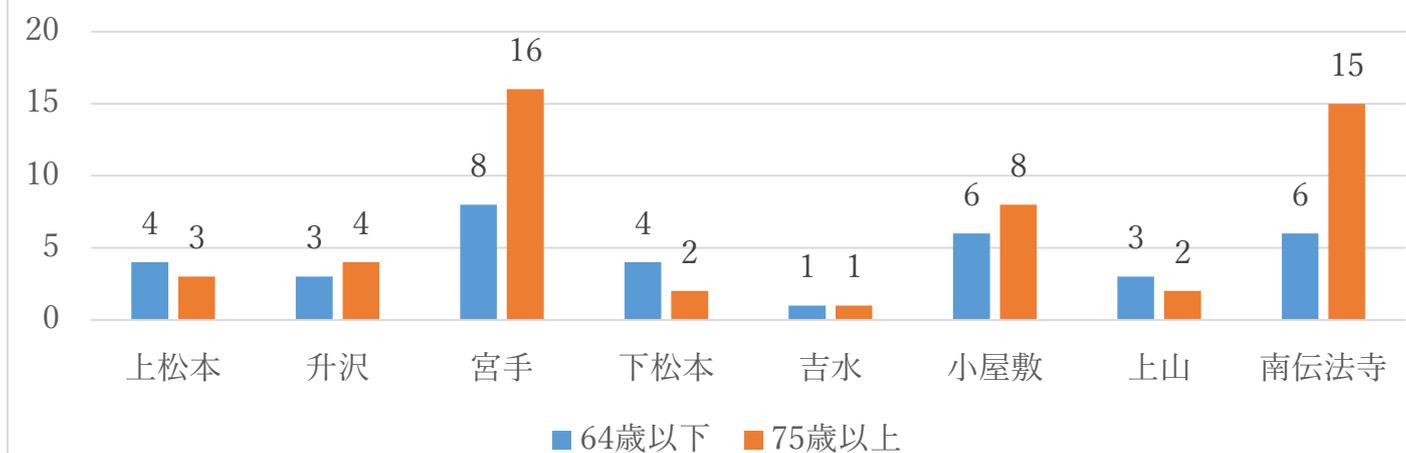


図16-4 基幹的農業従事者数（志和）

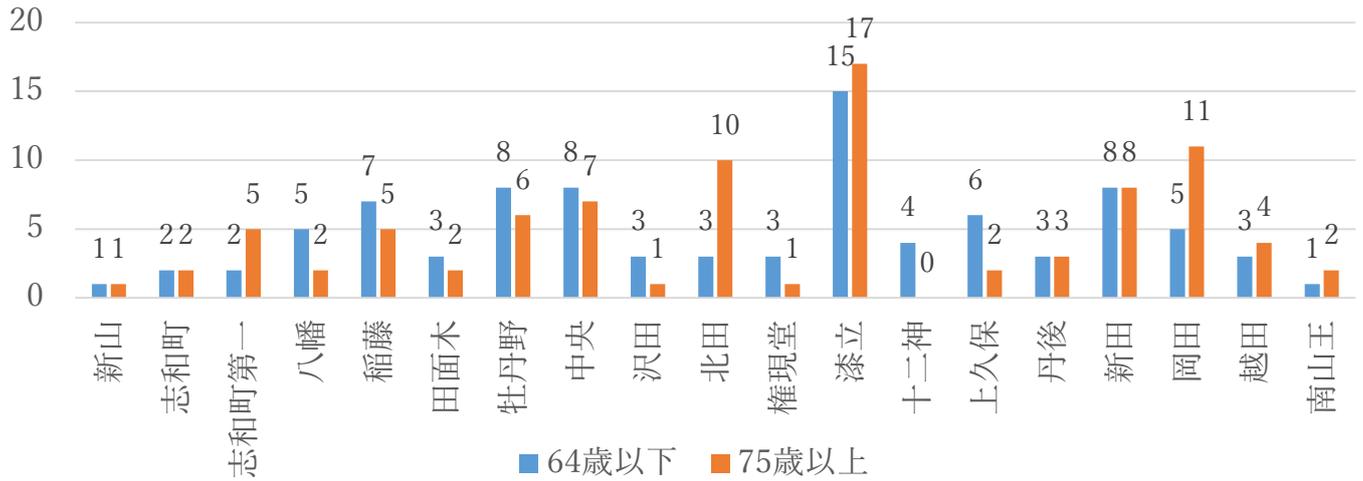


図16-5 基幹的農業従事者数（赤石）

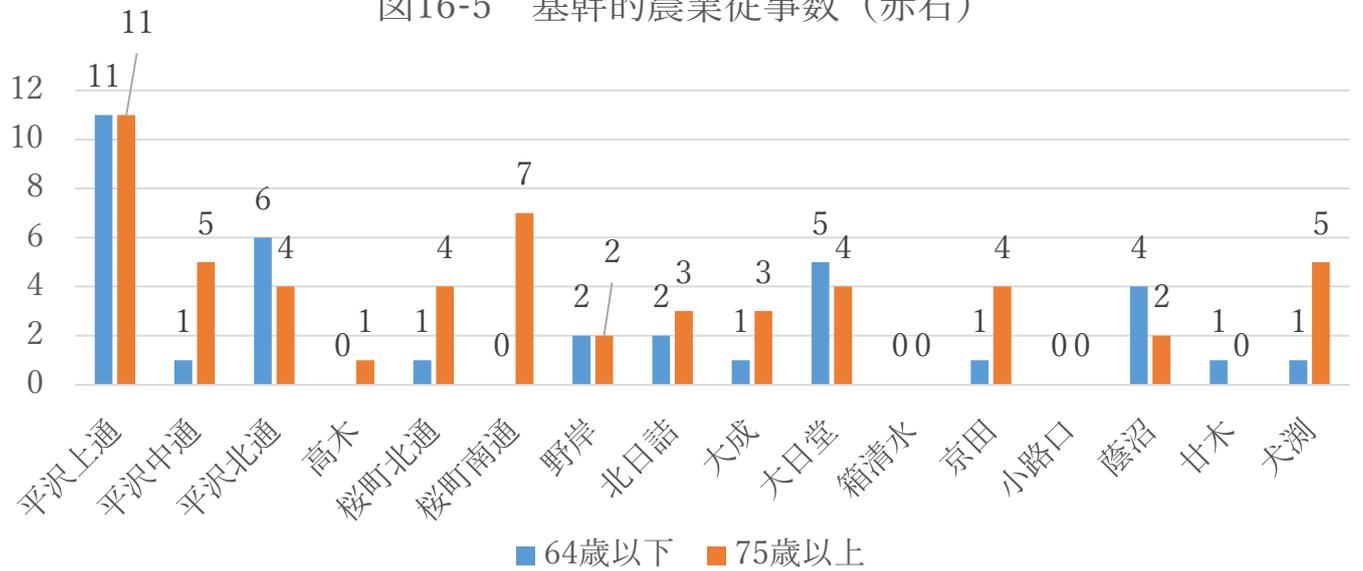


図16-6 基幹的農業従事者数（彦部）

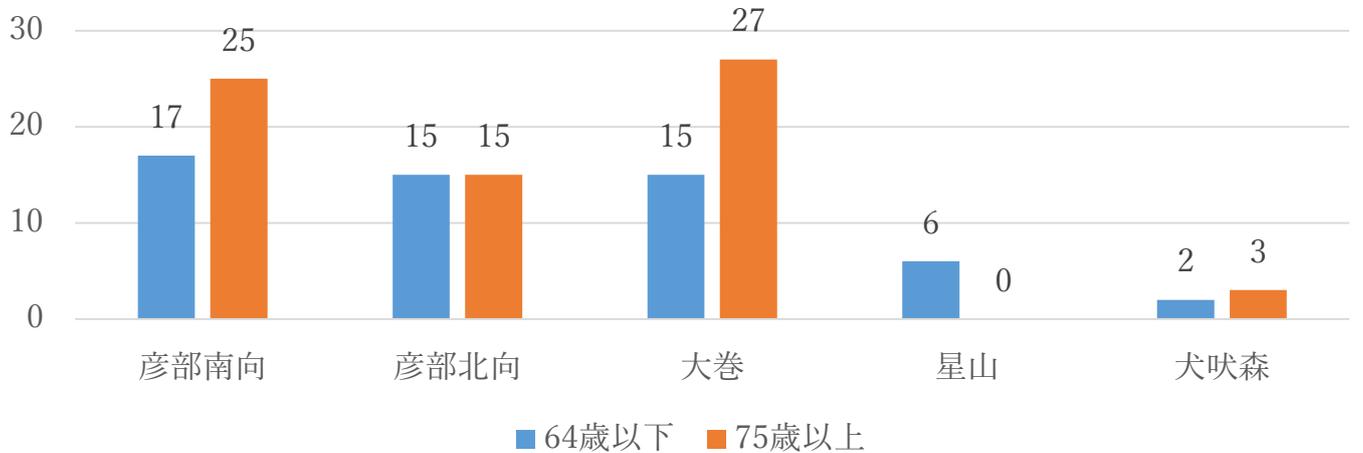


図16-7 基幹的農業従事者数（佐比内）

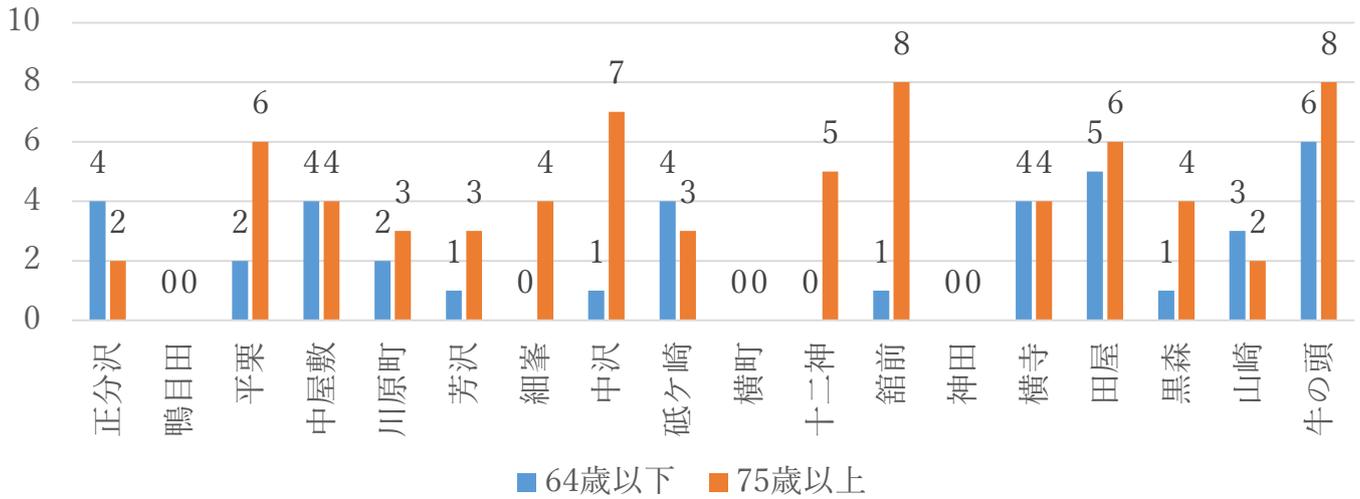


図16-8 基幹的農業従事者数（赤沢）

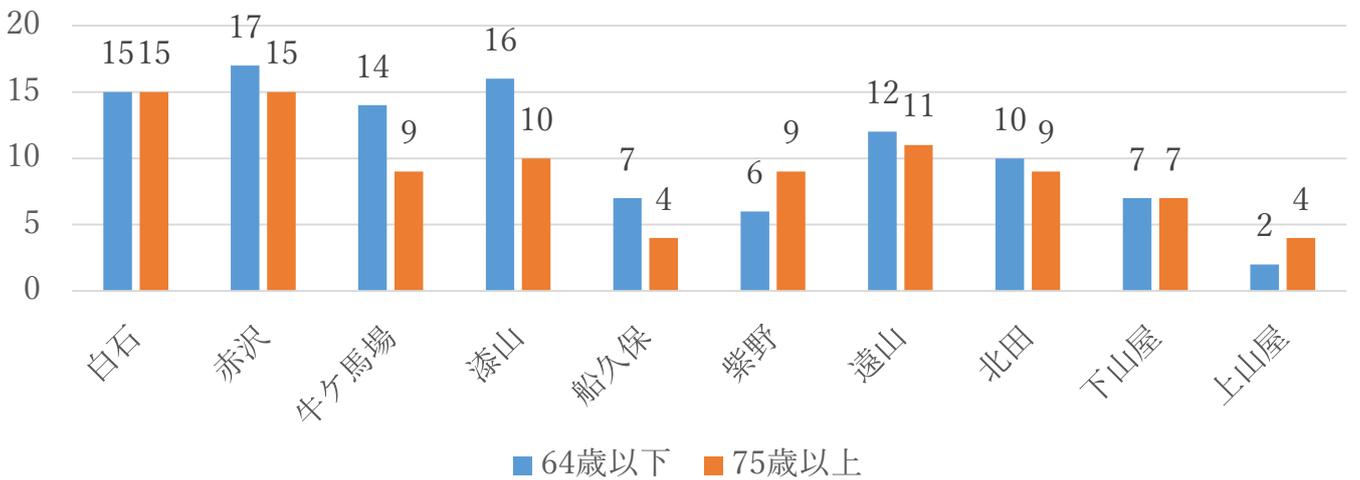
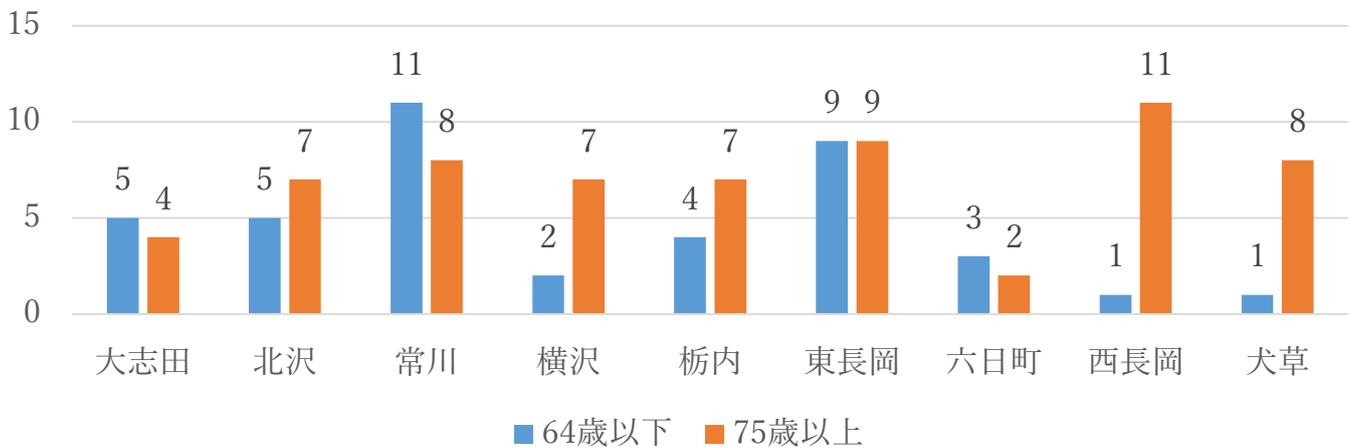


図16-9 基幹的農業従事者数（長岡）



17 集落別基幹的農業従事者平均年齢

- 集落に基幹的農業従事者の平均年齢を示しています。
- 基幹的農業従事者の平均年齢が70歳を超えている集落が35集落あります。
- 基幹的農業従事者の平均年齢が75歳を超えている集落が7集落あります。

図17-1 基幹的農業従事者平均年齢（日詰）

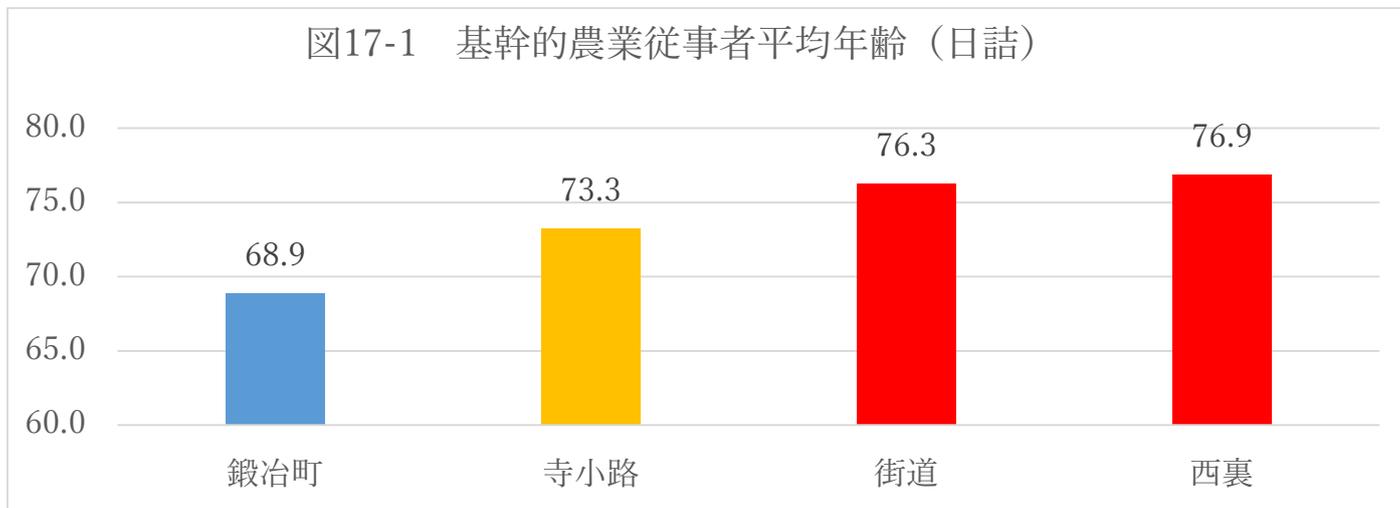


図17-2 基幹的農業従事者平均年齢（古館）

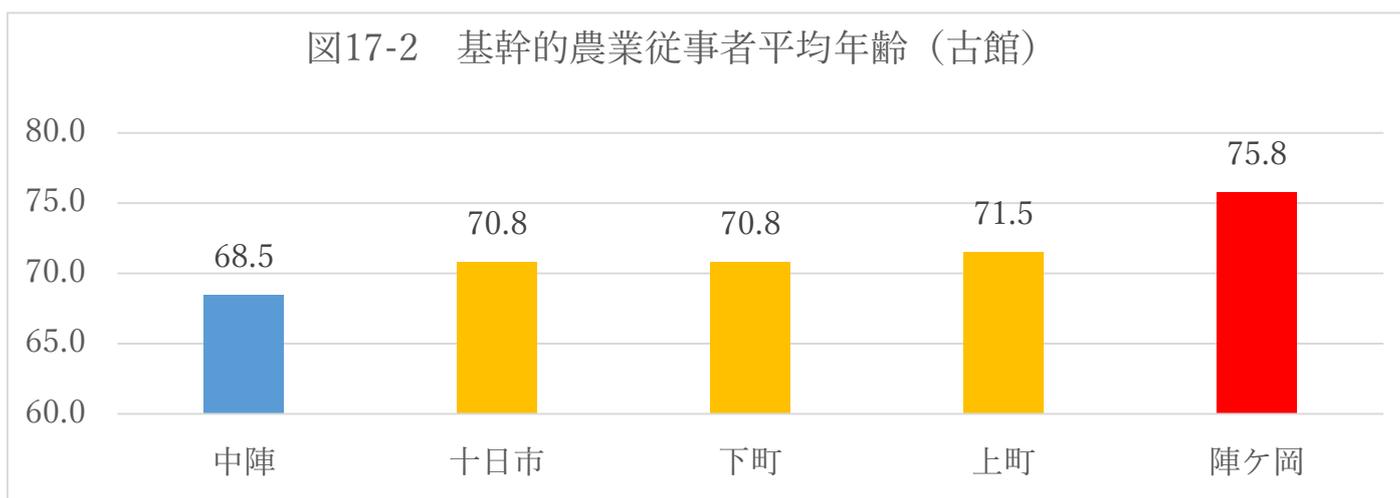


図17-3 基幹的農業従事者平均年齢（水分）

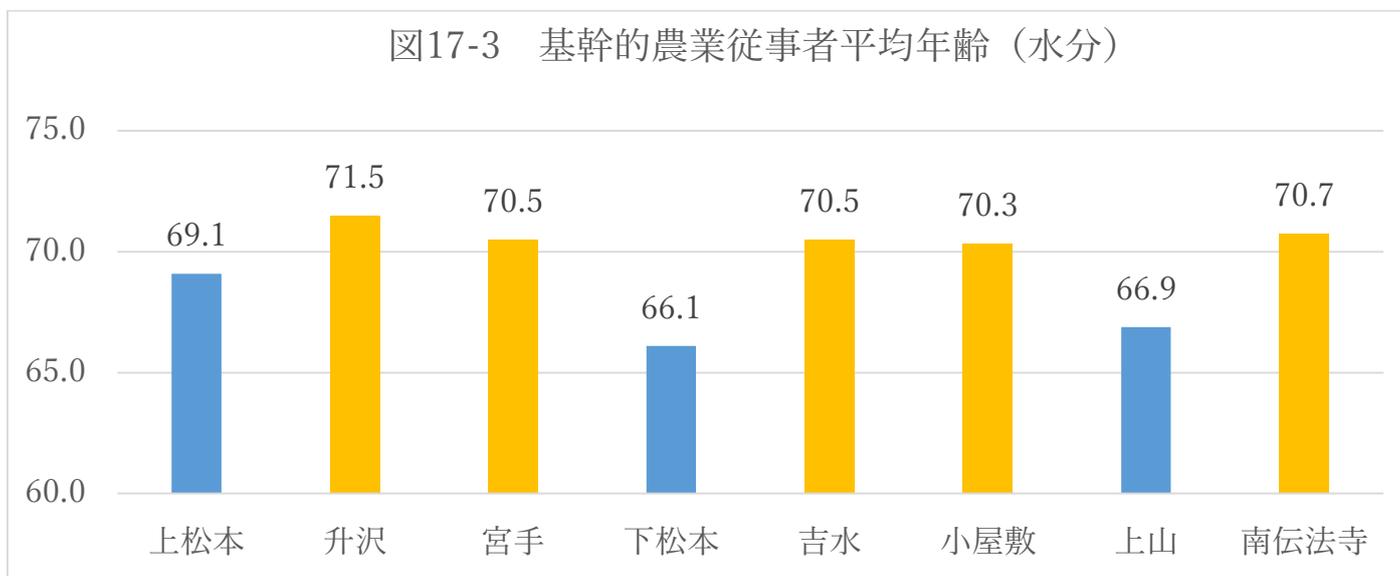


図17-4 基幹的農業従事者平均年齢（志和）

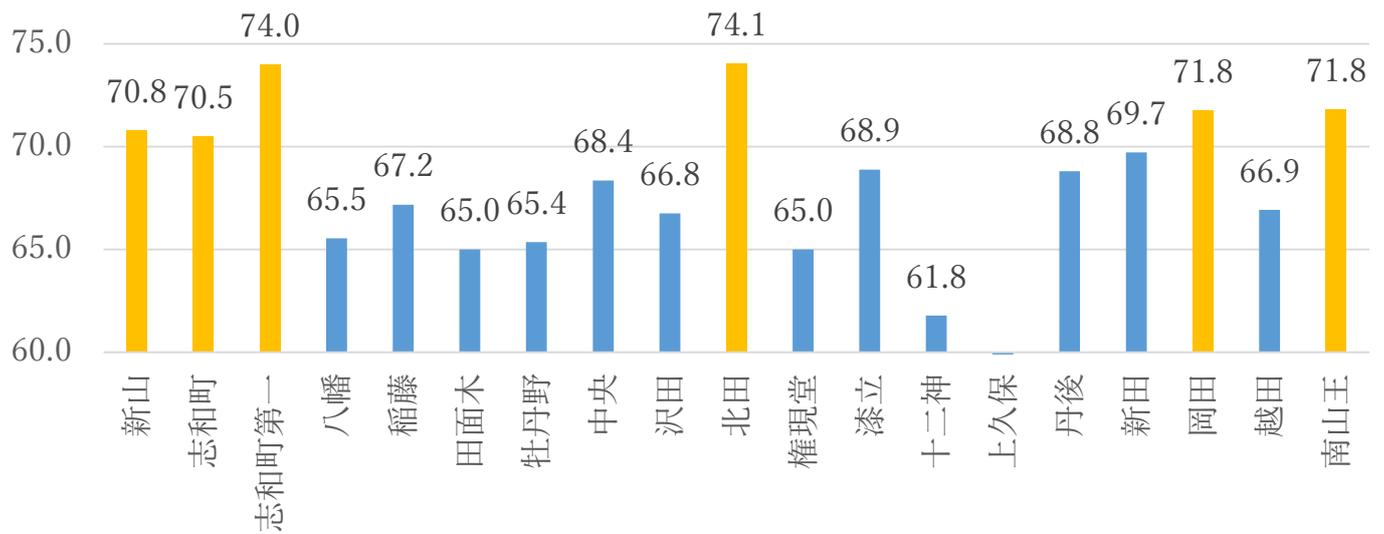


図17-5 基幹的農業従事者平均年齢（赤石）

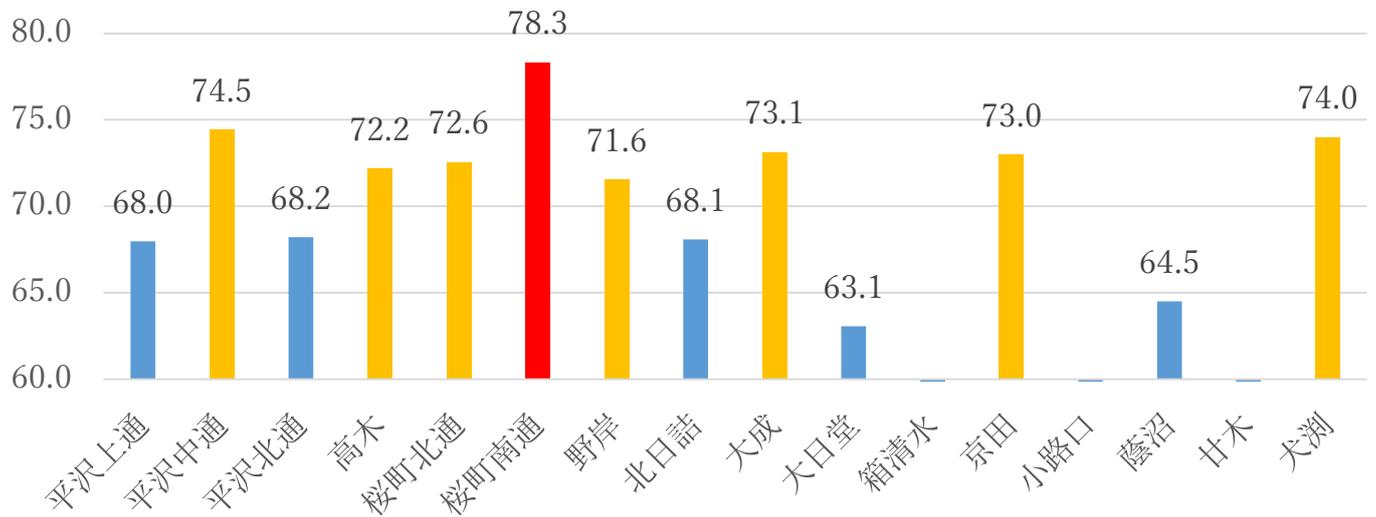


図17-6 基幹的農業従事者平均年齢（彦部）

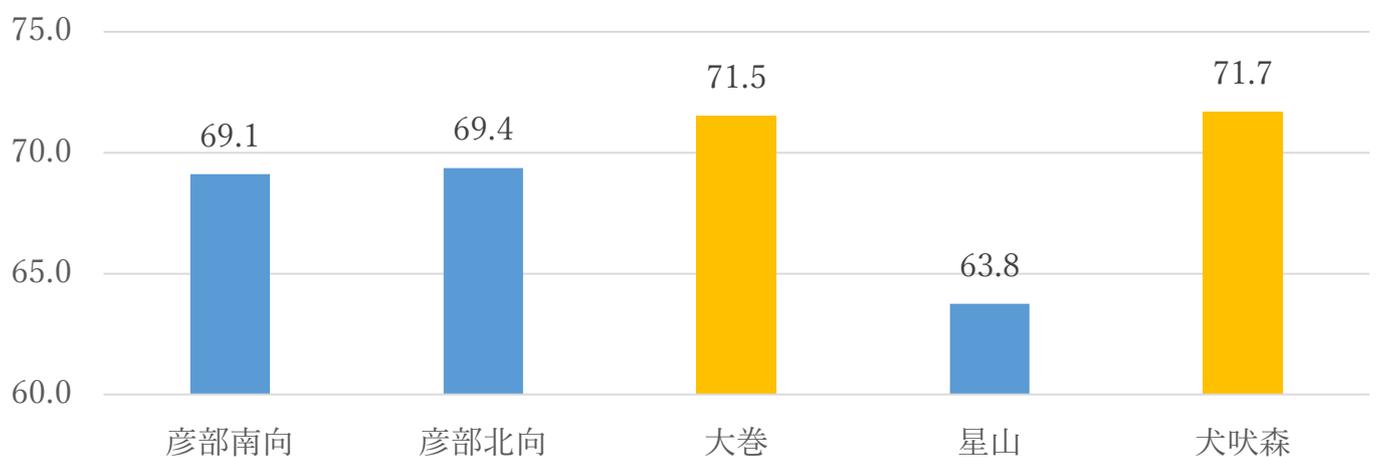


図17-7 基幹的農業従事者平均年齢（佐比内）

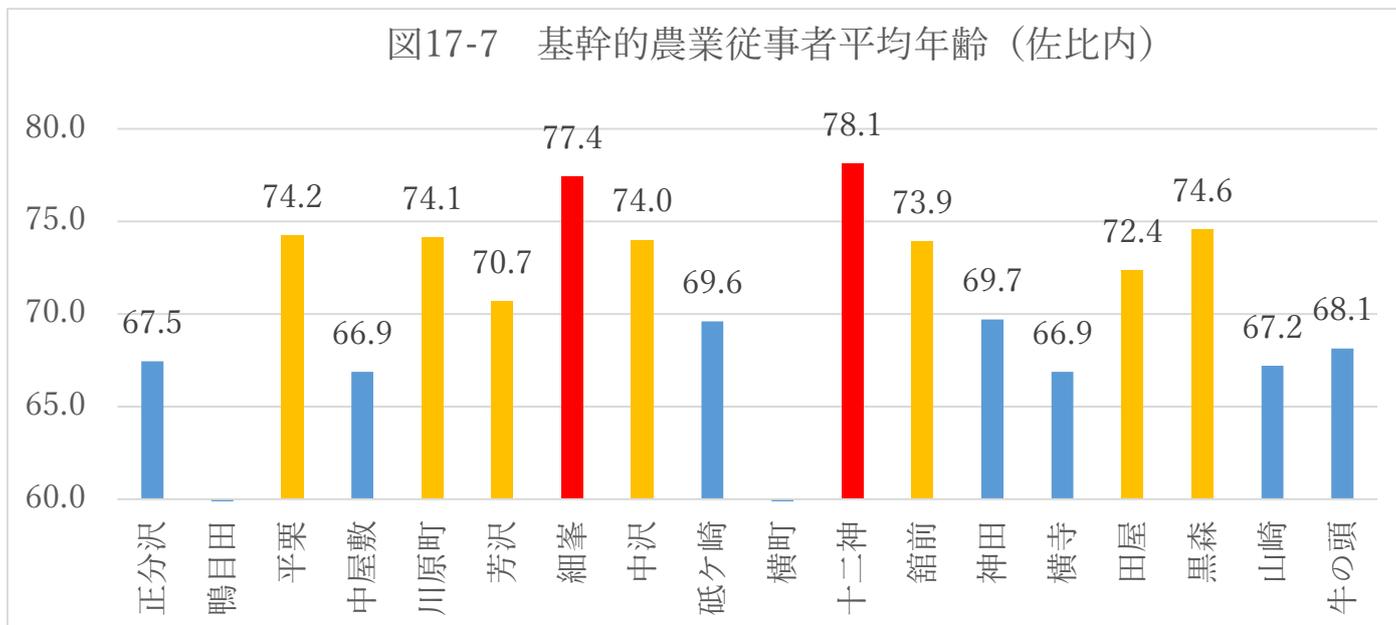


図17-8 基幹的農業従事者平均年齢（赤沢）

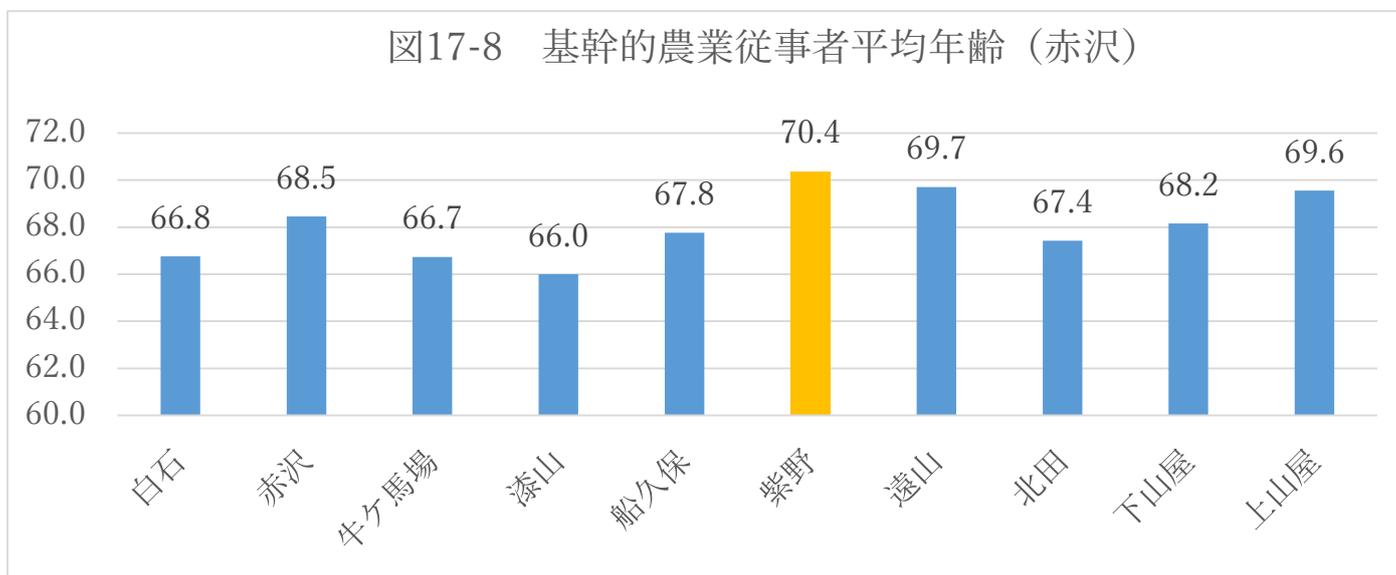
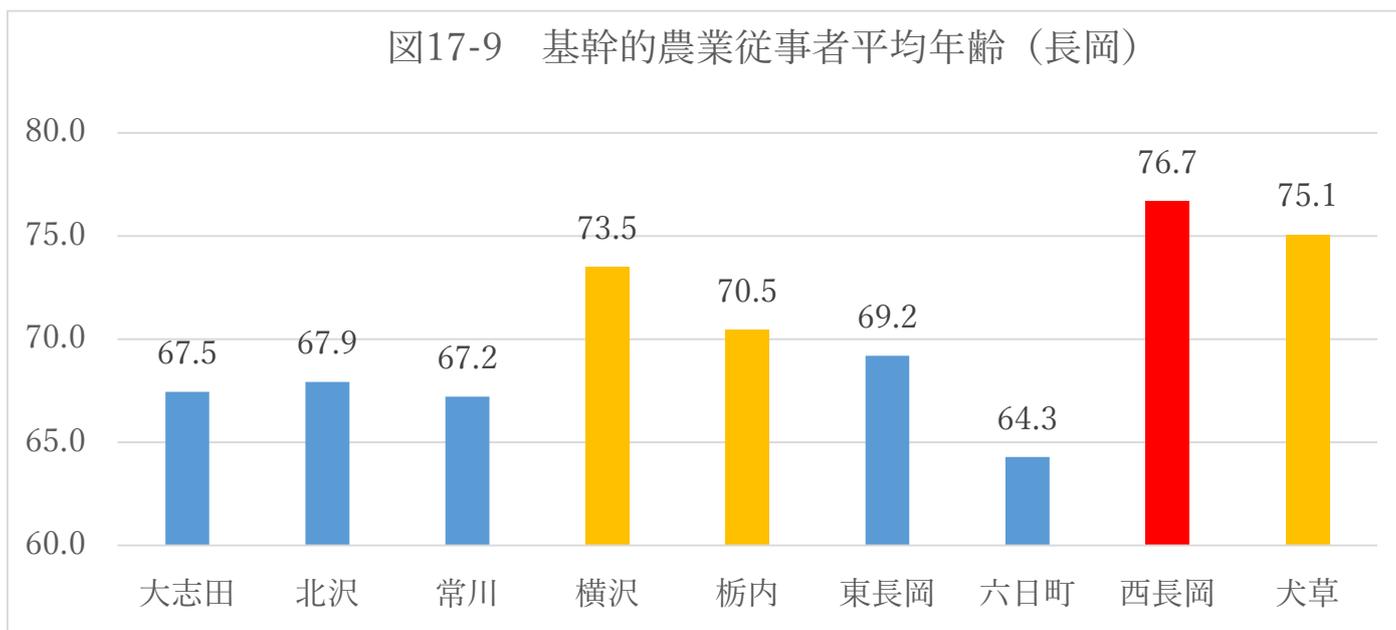


図17-9 基幹的農業従事者平均年齢（長岡）



産業政策監調査研究報告 第 28 号

2020 年農林業センサス紫波町農業集落別データブック

～2020 年農林業センサス集落別集計結果をグラフ化したデータブック～

執 筆 農村政策フェロー 小川勝弘

2024 年 6 月発行

発 行 岩手県紫波町 産業部 産業政策監

連絡先 〒028-3392 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目 3 番地 1

電話 019-672-2111 (代表)

紫波町ホームページ <https://www.town.shiwa.iwate.jp/>

本調査研究報告書の無断転用・使用はできません。本調査研究報告書の内容を使用する場合は、事前の許可が必要です。